

# たけたん すまいるブリッジ プロジェクト

## 竹田市架け橋プログラム推進事業



令和4年度～令和6年度 文部科学省委託  
幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業に係る  
竹田市「幼保小の円滑な接続」推進プログラム（幼保小の架け橋プログラム）報告書  
令和7年1月 竹田市教育委員会

## はじめに

竹田市の施策の目玉のひとつは、子育て支援拡充の実施と生み育てる環境の充実です。少子高齢化の中、子どもの健やかな成長に最適な環境を物心両面からサポートし、子育てしやすく、子どもがすすくと育っていくことを目標としています。

日本の教育においては、伝統的文化として4月の一斉型入学システムのため、幼稚園・保育所・こども園等が小学校という一つの教育施設に集約することによって、学習環境に大きな変化が生じます。個別最適な学びをめざすために学習指導要領で定められた授業に切り替えていくには、多くの困難や混乱が伴うことが考えられます。この時期に相応しい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人ひとりの多様性に配慮した上で、子どもの発達等の違いを理解し、その対応を丁寧に行う必要があります。

この生涯に亘る学びや生活の基盤を創る重要な時期に、幼保小の教職員が情報を共有し、協働して学びを深める取組を進めることによって、子どもに関わる大人が立場の違いを超えて連携・協働し、架け橋期に相応しいカリキュラムを策定し、改善していくことを目指してきました。

これまで、幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業に真摯に取り組んでこられた教職員の皆様、ご指導いただいた関係各位に心より感謝申し上げます。子どもの成長に携わる者として、本研究は大変ありがたいことであり、引き続き子どもの目標と大人の目標を確実に達成することを目指すと共に、今後この取組がさらに広がり、持続していくための指針となることを願っています。

令和7年1月

竹田市教育委員会

教育長 志賀 哲哉

## 目次

はじめに	
1. 研究概要（研究の経過および組織）	2
2. 竹田市架け橋期のカリキュラム（南部幼小モデルプラン）	3
3. カリキュラム実施に向けて	5
（1）作成の視点	
（2）実施に向けて	
（3）見直しの視点	
4. 年間指導計画	13
（1）年間指導計画（南部幼・南部小）	
（2）スタートカリキュラム（南部小）	
5. 幼保こ小合同研修会	17
○保育・授業参観シート	
○グループワークシート	
○研修会の様子および参加者感想	
6. 遊びや学びのプロセス	21
（1）幼：かえるごっこ	
（2）幼：しゃぼん玉あそび	
（3）幼：秋のお店屋さんごっこ	
（4）幼：南幼ソーランをしよう	
（5）小：わくわくどきどきしょうがっこう	
（6）小：きれいにさいてね わたしのはな	
（7）小：きせつとなかよし あき	
7. 幼小連携・交流活動	35
○幼小交流の計画	
○実践例	
○交流活動の様子	
8. 地域・家庭との連携	41
○学びのつながりシート	
おわりに（カリキュラム開発会議委員の声）	43

# 1. 研究概要

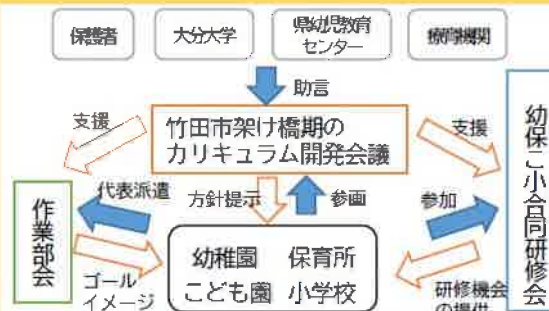
## 竹田市「幼保小の円滑な接続」推進事業（幼保小の架け橋プログラム）

### 【幼保小の円滑な連携の必要性】

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が策定されたが、具体的なカリキュラムの工夫や教育方法の改善あるいは幼保小の連携の手がかりとして十分機能していない。
- ・スタートカリキュラムとアプローチカリキュラムがバラバラに策定され、理念が共通していない。連携が行事の交流等にとどまっている。

### 【文科省「幼保小の架け橋プログラム」への参加】

- ・R3年度「公立小学校教諭等幼児教育施設派遣研修」の成果の活用
- ・竹田市架け橋期のカリキュラム開発会議の設置  
(教職員 有識者 保護者 市関係者等で構成)
- ・共有された理念による架け橋期のカリキュラム等の作成
- ・連携の充実（幼保小合同研修会 子どもの交流等）



### 事業推進のイメージ

	1年目（令和4年度）	2年目（令和5年度）	3年目（令和6年度）
	フェーズ1 基盤づくり	フェーズ2 検討・開発	フェーズ3 実施・検証
	フェーズ4 改善・発展サイクルの定着		
カリキュラム開発会議	<b>準備</b> * 構成員の選定と目指す方向性の共有 * 地域の実態の把握	<b>検討・開発</b> * 方針の検討・決定、開発への支援 * 国による架け橋期の教育の質保障の枠組みとの連携開始	<b>実施の検証</b> * 実施状況の把握・検証と支援 * 国による架け橋期の教育の質保障の枠組みとの連携推進
園・小学校	<b>接続を見通した教育課程編成・指導計画の作成</b> * 園・小学校での活動の共有 * 子どもの交流	<b>架け橋期のカリキュラムの検討・開発</b> * 共通の視点をもとに内容の検討・開発 * 人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の共通性の理解 * 子どもの交流の推進	<b>架け橋期のカリキュラムの実施・検証</b> * 園・小学校において教育課程編成・指導計画作成、実施、検証 * 人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の活用 * 子どもの交流の充実
	<b>各園・小学校での体制</b> * 連携窓口の明確化 * 自園・自校の先生への意識啓発と参画	<b>幼保小間の体制</b> * 幼保小の合同会議・研修会の設置 * 相互の教育の内容や方法に関する理解の共有	<b>幼保小の協働実施の体制</b> * 幼保小の合同会議・研修会の充実 * 相互の教育の内容や方法に関する理解の深化
市学校教育課 社会福祉課	<b>連携強化への支援</b> * 研修の実施（幼保小合同研修 先進地視察等） * 関係部局との連携 * 関係機関・関係団体との連携	<b>幼保小の協働実施の支援</b> * 研修の充実、研修教材の活用 * 実施上のニーズの把握と支援 * 園・小学校と関係機関・関係団体との連携のコーディネート	<b>持続的・発展的な取組を支える支援の定着</b> * 研修の改善・発展、研修教材の改善・発展 * 必要な支援策の改善・発展 * 園・小学校と関係機関・関係団体との連携のコーディネートの改善・発展

「子ども家庭センターと学校教育課の協働」による架け橋期の子ども達の発達支援事業

竹田市では「幼保小の架け橋プログラム」の手引きを基に、幼保小の教職員間での対話を重視し、協働して学びを深める取組を実施しています。「合同研修会」と「教育・保育実践の見える化」に注力し、5歳児の保育参観や小学1年生の授業公開、幼児教育理解のワークショップ等を含んだ研修会が行われ、職員間の連携が強化されました。園および小学校関係者双方から、スムーズな接続や教育の質向上の重要性が確認されました。

本資料は、竹田市3年間の取組であり、今後持続して行くための指針として作成しました。

# 2. 竹田市架け橋期のカリキュラム (南部幼小モデルプラン)

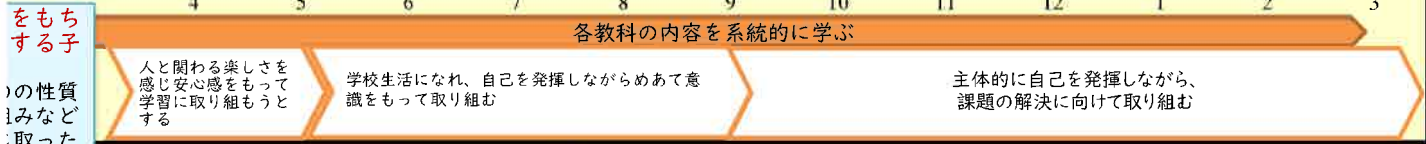
期待する子ども像	<b>竹田市教育ビジョン</b> 主体的に学び未来を創造する子ども ~将来の予測が困難な時代において、情報を活用しながら他者と協力し自ら学ぶ ◎重点目標：○情報活用能力 ○協働的な学び ○自分の考えを形成する力 ○主体的に学び続ける意欲 考えをもち表現する子 伝え合い認め
遊びや学びのプロセス	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 遊びや生活を通して総合的に学ぶ 好きな遊びを見つけ友だちと一緒に遊ぶ 友だちと思いや考えを出し合いながら試したり工夫したりしながら遊ぶ 共通の目的に向かって、互いの思いや考えを受け入れながら、自分たちで遊びを進めていく楽しさを味わう 共通の目的に向かって、工夫し合ったり認め合ったりしながら協同して遊ぶ楽しさや充実感を味わう
園で展開される主な活動／小学校の生活科を中心とした単元構成	<b>五領域〈健康・人間関係・環境・言葉・表現〉</b> 体を十分に動かして、いろいろな運動や遊びに進んで取り組む（戸外で、友だちと一緒にするなど） 友だちの話を聞き、互いの思いや考えを伝え合いながら、友だちと目的を共有し協同することを楽しむ（考える、伝え合う、工夫する、認め合う、協力する、見通しをもつ、折り合いをつける、ルールの共有など） 数量や図形、文字などに親しみ、遊びや生活の中で使う楽しさを感じる 身近な自然や動植物に興味や関心をもち、関わる（世話をする、遊びに取り入れる、仕組みに気づくなど） 絵本や物語などに親しみ、言葉やイメージを豊かにする（絵本、ことばあそびなど） 様々な出来事や素材に触れ感じたことや考えたことを表現して楽しむ（歌う、楽器を使う、かく、つくるなど） <b>固定器具や運動遊具に興味を持ち、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう</b> 【忍者ごっこ】 ☆健康な心と体 ☆自立心 <b>自分なりに考えたり、気づいたことを友だちと伝え合ったりしながら、試行錯誤して遊ぶことを楽しむ</b> 【シャボン玉あそび】 ☆思考力の芽生え ☆言葉による伝え合い <b>秋の自然物を遊びに取り入れ、友だちと考えを出し合い、工夫したり、協力したりしながら遊びを進め、実現していく楽しさを味わう</b> 【秋のお店屋さんごっこ】 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い ☆自然とのかかわり・生命尊厳 <b>共通の目的に向かって友だちと協力して遊びをすすめる中で、文字や数字に興味をもち、その必要性に気づき、遊びに取り入れて楽しむ</b> 【お正月のあそび】 ・ゆうじんやさんごっこ ・手作りかるた・すごろく 等 ☆数量・図形、標識や文字などへの関心・感覚 ☆協同性 <b>友だちとイメージを共有して一緒に遊ぶ楽しさを味わう</b> 【かえるごっこ】 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い <b>友だちとイメージを共有して一緒に作る楽しさを味わう</b> 【みんなの海づくり】 ☆協同性 ☆豊かな感性と表現 <b>友だちと一緒にいろいろな競技をする中で、自分の力を発揮し、友だちと考えを出し合い、工夫したり協力して遊ぶ楽しさを味わう</b> 【運動会ごっこ】 ☆協同性 ☆道徳性・規範意識の芽生え <b>自分らしさを発揮しながら、同じ目的に向かって友だちと協力し、やり遂げた達成感を味わう</b> 【表現遊び】 ・リズム・オペレッタ ・合奏・チャレンジあそび 等 ☆豊かな感性と表現 ☆協同性 ☆自立心 <b>共通のイメージを実現するために、友だちと考えを出し合い、互いに創意工夫しながら協力して作りあげた楽しさを味わう</b> 【鬼づくり】 ☆協同性 ☆思考力の芽生え <b>自分なりのめあてをもち、最後までやり遂げた満足感を味わう</b> 【チャレンジあそび】 ・なわとび ・フラフープ ・竹馬 ・こま回し ・固定遊具 ・一輪車 など ☆健康な心と体 ☆自立心 <b>動植物に関心をもち、進んで世話をする。(アサガオ、夏野菜、さつまいもなど)(カエル、虫など)</b> ☆自然とのかかわり生命尊厳 ☆豊かな感性と表現 ※地域の方との交流：地域の方々とふれあいを楽しむ ☆社会生活とのかかわり <b>【幼小交流活動】交流する中で小学生と親しみを持ち、一緒に活動することを楽しむ</b> 【お見知り遠足】 ☆健康な心と体 ☆社会生活とのかかわり (全校児童) ☆協同性 ☆言葉による伝え合い 【よろしくねの会】 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い 【みんなで七夕飾りを作ろう】 ☆自立心 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い 【幼小合同運動会】 ☆健康な心と体 ☆自立心 (全校児童) ☆協同性 ☆言葉による伝え合い 【秋祭りをしよう】 ☆自然と生命尊厳 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 【お楽しみ会をしよう】 ☆健康な心と体 ☆社会生活とのかかわり ☆言葉による伝え合い (5年生と) 【凧を作ってあそぼう】 ☆自立心 ☆社会生活とのかかわり ☆言葉による伝え合い 【学校ってどんなところ?】 ☆健康な心と体 ☆自立心 ☆社会生活とのかかわり (5年生と)
指導上の配慮事項	□活動を展開するのにふさわしい環境の構成(遊具・用具・素材の種類、数量、配置等) ◇子どもの興味・関心を引き出す導入の工夫 ◇見通しをもったり、振り返ったりできるように場を設ける ◇「どうしたい?」「どうする?」など、子どもの考えを引き出す言葉かけを行う ◇自分の思いを伝えたり、友だちの考えを聞いたりする場を設ける ◇見守る、一緒に活動する、共感するなど場に応じた言葉かけや援助を行う ◇友だちの姿から、良さに気づいたり、刺激し合ったりできるような言葉かけを行う
幼小の連携	【1学期】幼小交流活動事前・事後の打ち合わせ／互見保育・授業／南部幼小合同研修会／小学校授業公開・幼小合同研修会(ブロック) 【2学期】幼小交流活動事前・事後の打ち合わせ／南部幼小合同研修会／園公開保育
家庭や地域との連携	幼児教育と小学校教育のつながりや「架け橋期のカリキュラム」等についての理解の促進(保護者会、入園・入学説明会、学校運営協議会) 幼【遊びや学びのプロセス】【幼小学びのつながりシート】等発行(学期ごとに園保護者・学校・地域の園等へ) 小【架け橋期の取組】【幼小の 竹田市こども「せいかつTOP10」(幼児版)の活用 体力づくりプログラム(

**考え表現**  
 ○もの仕組みを感じたりする(基礎)  
 ○豊かや表現する技の基礎  
 ○経験とや考と、考とする(判断・表現)  
**伝え認め**  
 ○自分考え互いを(知基礎)  
 ○自ら考たりす(思の基礎)  
 ○友だ共の向か組む(人)  
**探究バ引組**  
 ○考するす(表礎)  
 ○たきり(学)しを味を自らえよに(学)

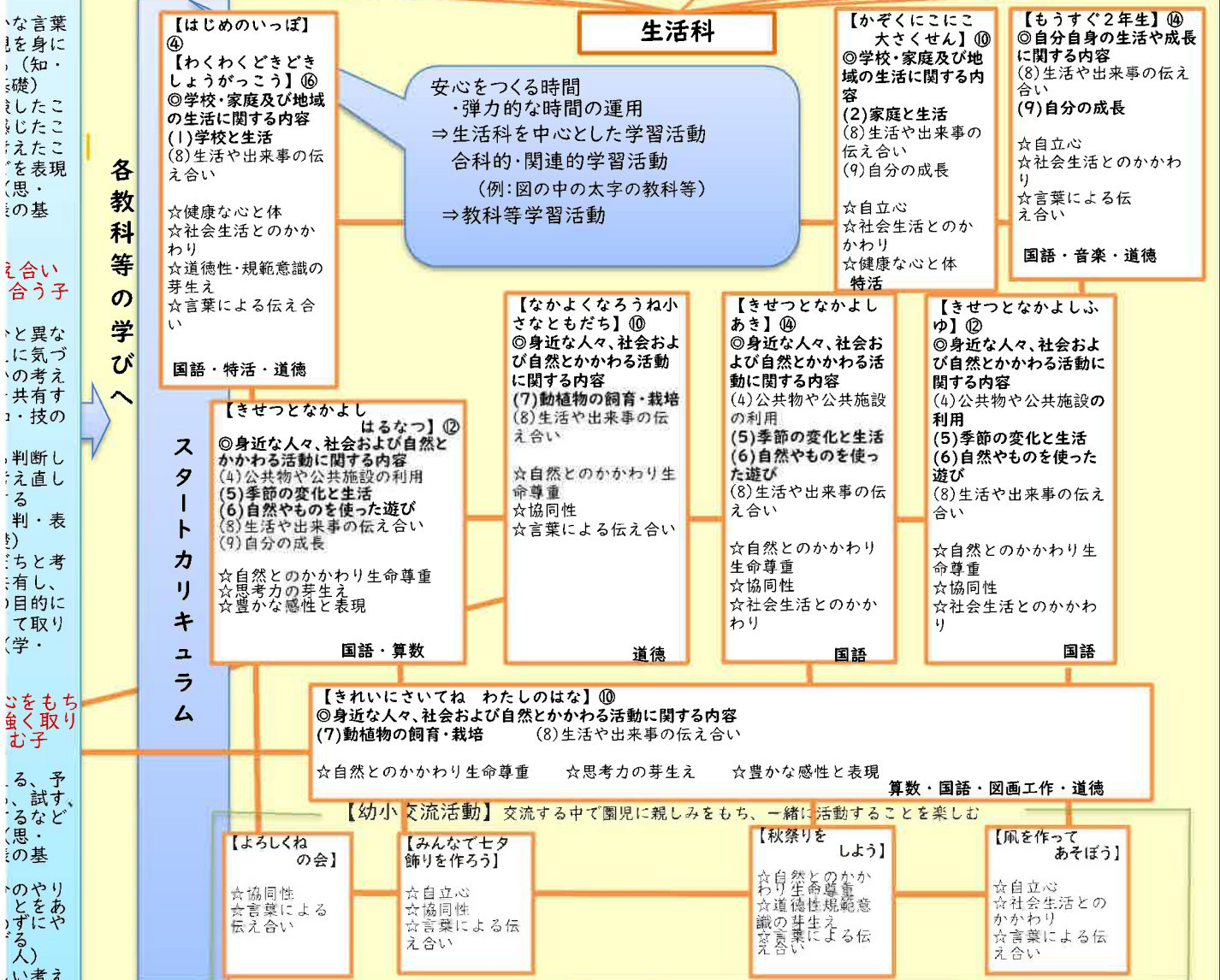
自分の考えを形成していくとともに主体的に学び続ける子どもを育成する～

合う子 探究心をもち粘り強く取り組む子

小学校1年生



国語	算数	音楽	図画工作	体育	道徳	特別活動
----	----	----	------	----	----	------



各教科等の学びへ

スタートカリキュラム

をもち  
する子

の性質  
みなど  
取った  
いたり  
知・技の

な言葉  
を身に  
(知・  
基礎)  
きたこ  
じたこ  
えたこ  
を表現  
(思・  
の基

を合い  
合う子

と異な  
に気づ  
の考え  
共有す  
・技の

判断し  
え直し  
る判・表  
ちと考  
有し、  
目的に  
て取り  
(学・

心をもち  
強く取り  
む子

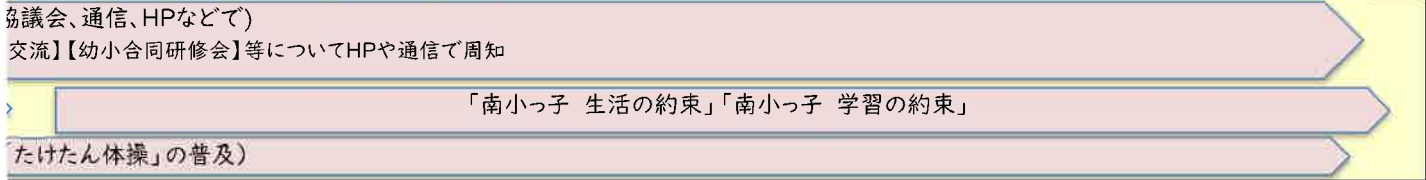
る、予  
、試す  
るなど  
(思・  
の基

のやを  
とずる  
人)

い考え  
出す喜  
わいな  
自分の考  
り良い  
する人)

- 【 】は単元名 ○数字は時間数 ◎・( )は内容 ☆は幼児教育からつながる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」
- 安心して学べる環境構成→・見通しをもってできる・視覚的に理解できる・協働的に学べる
  - ◇「スタートカリキュラム」の時期は安心して学習がスタートできるように、音楽や読み聞かせ等を1時間目に行う
  - ◇関わりを広げる支援→ペア・グループ・学級・学校全体へ ◇体験活動を取り入れる
  - ◇課題への出合わせ方、児童の意識の流れ、振り返りを大切に指指導計画
  - ◇「園ではどうしてた?」「どう思う?」「どうしたらいいと思う?」など経験の想起・思考を促し、交流し合う言葉かけを行う

【3学期】幼小交流活動事前・事後の打ち合わせ/子ども理解の会/「架け橋期のカリキュラム」検証会議



# 竹田市架け橋期のカリキュラム (作成の視点) ①②③④は竹田市共通してお

期待する子ども像	竹田市教育ビジョン 主体的に学び未来を創造する子ども ◎重点目標：○情報活用能力 ○ ① 市町村の教育ビジョンや現在の子どもの姿等か 考えをもち表現する子 伝え合い認め合												
遊びや学びのプロセス	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 遊びや生活を通して総合的に学ぶ ③「架け橋期に期待する子ども像」の育成に向けて、遊びのプロセスをどのように深めていくか												
園で展開される主な活動／小学校の生活科を中心とした単元構成	五領域〈健康・人間関係・環境・言葉・表現〉 体を十分に動かして、いろいろな運動や遊びに進んで取り組む（戸外で、友だちと一緒にするなど） 友だちの話を聞き、互いの思いや考えを伝え合いながら、友だちと目的を共有し協同することを楽しむ （考える、伝え合う、工夫する、認め合う、協力する、見通しをもつ、折り合いをつける、ルールの共有など） ④ ②のような姿、資質・能力を育むためには、どのような経験や体験が5歳児に必要なか 身近な自然や動植物に興味や関心をもち、関わる（世話をする、遊びに取り入れる、仕組みに気づくなど） 絵本や物語などに親しみ、言葉やイメージを豊かにする 様々な出来事や素材に触れ感じたことや考えたことを表現して楽しむ（歌う、楽器を使う、かく、つくるなど） <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%; padding: 5px;">                     固定器具や運動遊具に興味を持ち、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう                      【忍者ごっこ】                      ☆健康な心と体                      ☆自立心                 </td> <td style="width:25%; padding: 5px;">                     自分なりに考えたり、気づいたことを友だちと伝え合ったりしながら、試行錯誤して遊ぶことを楽しむ                      【シャボン玉遊び】                      ☆思考力の芽生え                      ☆言葉による伝え合い                 </td> <td style="width:25%; padding: 5px;">                     秋の自然物を遊びに取り入れ、友だちと考えを出し合い、工夫したり、協力したりしながら遊びを進め、実現していく楽しさを味わう                      【秋のお店屋さんごっこ】                      ☆協同性                      ☆言葉による伝え合い                      ☆自然とのかかわり・生命                 </td> <td style="width:25%; padding: 5px;">                     共通の目的に向かって友だちと協力して遊びをすすめる中で、文字や数字に興味をもち、その必要性に気づき、遊びに取り入れて楽しむ                      【お正月のあそび】                      ・ゆうびんやさんごっこ                      ・手作りかるた・すごろく                 </td> </tr> </table> ⑤ ④を踏まえ、ねらいに基づいた各園で展開される主な活動（幼小交流活動を含む） ＊【 】は遊び・活動例 ＊◇遊びの中で期待する「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（到達目標ではない） <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%; padding: 5px;">                     砂・水・泥の感触や違いに気づき、試したり、工夫したりしながら、友だちと一緒に遊びを楽しむ                      【砂場あそび】                      ☆思考力の芽生え ☆協同性                 </td> <td style="width:25%; padding: 5px;">                     し合い、工夫したり協力して遊ぶ楽しさを味わう                      【運動会ごっこ】                      ☆協同性                      ☆道徳性・規範意識の芽生え                 </td> <td style="width:25%; padding: 5px;">                     わう                      【発表会】                      ・リズム・オペレッタ                      ・合奏・チャレンジあそび等                      ☆豊かな感性と表現                      ☆協同性                      ☆自立心                 </td> <td style="width:25%; padding: 5px;">                     互いに創意工夫しながら協力して作りあげる楽しさを味わう                      【鬼つくり】                      ☆協同性                      ☆思考力の芽生え                 </td> </tr> </table> 動植物に関心をもち、進んで世話をする。(アサガオ、夏野菜、さつまいもなど)(カエル、虫など) ☆自然とのかかわり生命尊重 ☆豊かな感性と表現 ※地域の方との交流：地域の方々とふれあいを楽しむ ☆社会生活とのかかわり 【幼小交流活動】 交流する中で1年生に親しみを持ち、一緒に活動することを楽しむ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%; padding: 5px;">                     【よろしくねの会】                      ☆協同性                      ☆言葉による伝え合い                 </td> <td style="width:25%; padding: 5px;">                     【みんなで七夕飾りを作ろう】                      ☆自立心                      ☆協同性                      ☆言葉による伝え合い                 </td> <td style="width:25%; padding: 5px;">                     【秋祭りしよう】                      ☆自然とのかかわり生命尊重                      ☆道徳性・規範意識の芽生え                      ☆言葉による伝え合い                 </td> <td style="width:25%; padding: 5px;">                     【風を作ってあそぼう】                      ☆自立心                      ☆社会生活とのかかわり                      ☆言葉による伝え合い                 </td> </tr> </table> 【 】は遊び・活動例 ☆遊びの中で期待する「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（到達目標ではない）	固定器具や運動遊具に興味を持ち、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう 【忍者ごっこ】 ☆健康な心と体 ☆自立心	自分なりに考えたり、気づいたことを友だちと伝え合ったりしながら、試行錯誤して遊ぶことを楽しむ 【シャボン玉遊び】 ☆思考力の芽生え ☆言葉による伝え合い	秋の自然物を遊びに取り入れ、友だちと考えを出し合い、工夫したり、協力したりしながら遊びを進め、実現していく楽しさを味わう 【秋のお店屋さんごっこ】 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い ☆自然とのかかわり・生命	共通の目的に向かって友だちと協力して遊びをすすめる中で、文字や数字に興味をもち、その必要性に気づき、遊びに取り入れて楽しむ 【お正月のあそび】 ・ゆうびんやさんごっこ ・手作りかるた・すごろく	砂・水・泥の感触や違いに気づき、試したり、工夫したりしながら、友だちと一緒に遊びを楽しむ 【砂場あそび】 ☆思考力の芽生え ☆協同性	し合い、工夫したり協力して遊ぶ楽しさを味わう 【運動会ごっこ】 ☆協同性 ☆道徳性・規範意識の芽生え	わう 【発表会】 ・リズム・オペレッタ ・合奏・チャレンジあそび等 ☆豊かな感性と表現 ☆協同性 ☆自立心	互いに創意工夫しながら協力して作りあげる楽しさを味わう 【鬼つくり】 ☆協同性 ☆思考力の芽生え	【よろしくねの会】 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い	【みんなで七夕飾りを作ろう】 ☆自立心 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い	【秋祭りしよう】 ☆自然とのかかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い	【風を作ってあそぼう】 ☆自立心 ☆社会生活とのかかわり ☆言葉による伝え合い
固定器具や運動遊具に興味を持ち、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう 【忍者ごっこ】 ☆健康な心と体 ☆自立心	自分なりに考えたり、気づいたことを友だちと伝え合ったりしながら、試行錯誤して遊ぶことを楽しむ 【シャボン玉遊び】 ☆思考力の芽生え ☆言葉による伝え合い	秋の自然物を遊びに取り入れ、友だちと考えを出し合い、工夫したり、協力したりしながら遊びを進め、実現していく楽しさを味わう 【秋のお店屋さんごっこ】 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い ☆自然とのかかわり・生命	共通の目的に向かって友だちと協力して遊びをすすめる中で、文字や数字に興味をもち、その必要性に気づき、遊びに取り入れて楽しむ 【お正月のあそび】 ・ゆうびんやさんごっこ ・手作りかるた・すごろく										
砂・水・泥の感触や違いに気づき、試したり、工夫したりしながら、友だちと一緒に遊びを楽しむ 【砂場あそび】 ☆思考力の芽生え ☆協同性	し合い、工夫したり協力して遊ぶ楽しさを味わう 【運動会ごっこ】 ☆協同性 ☆道徳性・規範意識の芽生え	わう 【発表会】 ・リズム・オペレッタ ・合奏・チャレンジあそび等 ☆豊かな感性と表現 ☆協同性 ☆自立心	互いに創意工夫しながら協力して作りあげる楽しさを味わう 【鬼つくり】 ☆協同性 ☆思考力の芽生え										
【よろしくねの会】 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い	【みんなで七夕飾りを作ろう】 ☆自立心 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い	【秋祭りしよう】 ☆自然とのかかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い	【風を作ってあそぼう】 ☆自立心 ☆社会生活とのかかわり ☆言葉による伝え合い										
指導上の配慮事項	□活動を展開 ◇子どもの興 ◇見通しをも □環境構成 ◇援助 ◇見守る、一 ⑥ 各園での指導上の配慮事項 □環境の構成 ◇保育者の援助等 ＊日頃の実践をもとに考える												
家庭や地域との連携	⑦ 家庭や地域との連携 ○幼児教育と小学校教育のつながりや「架け橋期カリキュラム」 ○園・小学校で共通して行うこと等 ○市全体で行う「体カづくりプログラム」(たけたん体操)の普及												

どのような資質・能力を育みたいか、子どもの姿を具体化する

○自分のこと  
たいこと  
きりめす  
り遂げる  
(学・人  
○新しい  
を生ま  
びがら  
えをよ  
の(学・人

ら設定した「架け橋期に期待する子ども像」を育成する～

う子 探究心をもち粘り強く取り組む子 小学校1年生

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

各教科の内容を系統的に学ぶ

③「架け橋期に期待する子ども像」の育成に向けて、学びのプロセスをどのように深めていくか

国語 算数 音楽 図画工作 体育 道徳 特別活動

生活科

【わくわくがいっぱいきょうから1年生】④  
【わくわくどきどきしょうがっこう】⑥  
◎学校・家庭及び地域の生活に関する内容  
(1)学校と生活  
(8)生活や出来事の伝え合い

安心をつくる時間  
・弾力的な時間の運用  
⇒生活科を中心とした学習活動  
合科的・関連的学習活動  
(例:図の中の太字の教科等)  
⇒教科等学習活動

【かぞくにここに大きくせん】⑩  
◎学校・家庭及び地域の生活に関する内容  
(2)家庭と生活  
(8)生活や出来事の伝え合い  
(9)自分の成長

【もうすぐ2年生】⑭  
◎自分自身の生活や成長に関する内容  
(8)生活や出来事の伝え合い  
(9)自分の成長

☆健康な心と体  
☆社会生活とのかかわり  
☆道徳性・規範意識の芽生え

☆自立心  
☆社会生活とのかかわり  
☆健康な心と体

☆自立心  
☆社会生活とのかかわり  
☆言葉による伝え合い

【なかよくなるうね 小さなともだち】⑩

【きせつとなかよしあき】⑭

【きせつとなかよしゆめ】⑭

各教科等の学びへ

⑤各小学校1年生の生活科を中心とした単元構成 (1年生と交流する場合は幼小交流活動を含む)

- \*【単元名】 ◎主たる内容・(数字)内容
- \*☆幼児期からつながる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」
- \*太字の教科名=合科的・関連的指導を行う教科
- \*「スタートカリキュラム」の位置づけ(実施時期等)

リ  
キ  
ュ  
ラ  
ム  
☆自然とのかかわり生命尊重  
☆思考力の芽生え  
☆豊かな感性と表現 国語・算数

☆自然とのかかわり生命尊重  
☆協同性  
☆社会生活とのかかわり 国語

☆協同性  
☆社会生活とのかかわり 国語

【きれいにさいてね わたしのはな】⑩  
◎身近な人々、社会および自然とかわる活動に関する内容  
(7)動植物の飼育・栽培 (8)生活や出来事の伝え合い

☆自然とのかかわり生命尊重 ☆思考力の芽生え ☆豊かな感性と表現 算数・国語・図画工作・道徳

【幼小交流活動】 交流する中で園児に親しみを持ち、一緒に活動することを楽しむ

【よろしくねの会】  
☆協同性  
☆言葉による伝え合い

【みんなで七夕飾りを作ろう】  
☆自立心  
☆協同性  
☆言葉による伝え合い

【秋祭りをしよう】  
☆自然とのかかわり生命尊重  
☆協同性  
☆道徳性規範意識の芽生え  
☆言葉による伝え合い

【凧を作ってあそぼう】  
☆自立心  
☆社会生活とのかかわり  
☆言葉による伝え合い

【 】は単元名 ○数字は時間数 ◎・( )は内容 ☆は幼児教育からつながる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

⑥各小学校での指導上の配慮事項

- 環境づくり ◇教師の指導等
- \*日頃の実践をもとに考える

について、どのように理解を図るか

【竹田市共通】

約束

### 3. カリキュラム実施に向けて

「幼保小の架け橋プログラム」・  
「架け橋期のカリキュラム」の実施に向けて  
～南部幼小モデル校・園から  
竹田市全体の取組へ～



1

### 「架け橋期のカリキュラム開発会議」の設置

「『竹田市架け橋期のカリキュラム』開発会議」(教育長参加)

【構成員】18名

- ・モデル校 校長・教諭
- ・モデル園 副園長・教諭
- ・こども園代表 園長(市町村幼児教育アドバイザー)
- ・保育所代表 所長(市町村幼児教育アドバイザー)
- ・私立幼稚園代表 園長
- ・大分大学教育学部 准教授
- ・大分県教育庁幼児教育センター 2名  
\*うち1名「架け橋期のコーディネーター」
- ・作業療法士(「体づくりプログラム」を行うため) 2名
- ・保護者代表(園・小学校各1名) 2名
- ・社会福祉課(課長を含む) 2名
- ・学校教育課(課長を含む) 2名



担当部局どうしの連携

竹田市幼児教育アドバイザーの活用

2

### 「架け橋期のカリキュラム開発作業部会」の設置

「『竹田市架け橋期のカリキュラム』開発作業部会」

\*主としてモデル校・園が作業

【構成員】場合によっては、校・園に分かれて作業

- ・モデル校  
校長(園長兼務)・教頭(副園長兼務)・教務・1年生担任
- ・モデル園 全員
- ・県教育庁幼児教育センター  
(架け橋期のコーディネーター)
- ・学校教育課指導主事

\*拡大作業部会の場合

- 【構成員】
- ・開発会議委員の幼児教育施設の長 3名
  - ・モデル校園代表 1名
  - ・県教育庁幼児教育センター 2名
  - ・学校教育課(課長を含む)
  - ・社会福祉課

⇒作業部会の途中経過を委員の大分大学教育学部麻生教授に報告し、指導・助言を得る



3

### 架け橋期のカリキュラムの作成までに (南部幼小モデル校・園)

1. 事例をとる

2. 遊びや学びのプロセスを見取る

3. 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに資質・能力等を見取る

見える化

互いの理解

4. 互いのつながりを考える

4



# 架け橋期のカリキュラムの作成について

(南部幼小モデル校・園中心に)

①②③④⇒竹田市で共通しておこなうもの  
「竹田市架け橋期のカリキュラム開発会議 作業部会」で作成したもの

⑤⑥⑦⇒各園・小学校で作成するもの  
現在していることを各園・小学校で見直し、共通理解を図りながら作成するもの

- 👉 P3 「竹田市架け橋期のカリキュラム(南部幼小モデルプラン)」
- 👉 P5 「竹田市架け橋期のカリキュラム(作成の視点)」

## ① 「架け橋期に期待する子ども像」(共通)

「架け橋期に期待する子ども像」を市町村の教育ビジョンや現在の子どもの姿等から設定する

主体的に学び未来を創造する子ども～将来の予測が困難な時代において、情報を活用しながら他者と協力し自分の考えを形成していくとともに主体的に学び続ける子どもを育成する～  
◎重点目標:○情報活用能力 ○協働的な学び ○自分の考えを形成する力 ○主体的に学び続ける意欲  
考えをもち表現する子 伝え合い認め合う子 探究心をもち粘り強く取り組む子

## 「架け橋期に期待する子ども像」をどのようにして設定したか

令和4年度竹田市学校教育ビジョン

【基本方針】主体的に学び、未来を創造する子どもの育成

【重点目標】

将来の予測が困難な時代において、情報を活用しながら他者と協力し自分の考えを形成していくとともに主体的に学び続ける子どもを育成する

- 情報活用能力
- 協働的な学び
- 自分の考えを形成する力
- 主体的に学び続ける意欲



架け橋期に ○どのような姿を期待するのか  
○どのような資質・能力を育むといいのか

## 「架け橋期に期待する子ども像」をどのようにして設定したか

令和4年度「幼保こ小合同研修会」(ブロック別・全教職員参加)

【目的】幼児教育と小学校教育の連携と接続・「架け橋プログラム」の理解

【内容】・小学校1年生の授業公開

・講義・演習「幼児教育と小学校教育の連携と接続の推進について  
～『架け橋プログラム』の実施に向けて～」

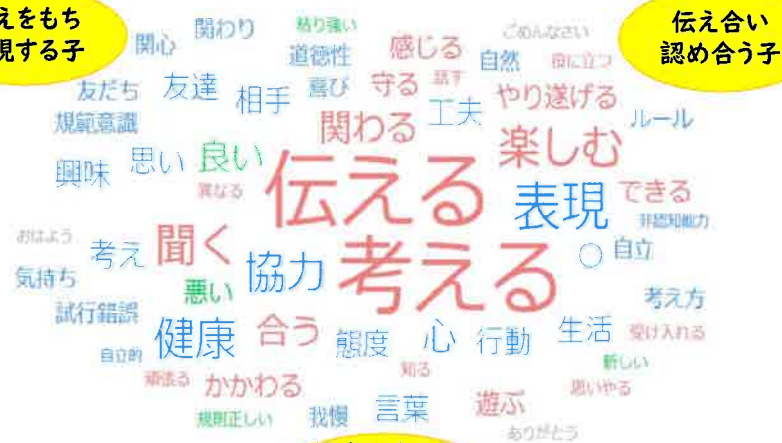
👉 P17

研修会を踏まえ、竹田市の教育ビジョンや現在の子どもの姿等をもとに、「架け橋期に期待する子ども像」について、各小学校・園からアンケートをとる

教育委員会がとりまとめる

カリキュラム開発会議(架け橋協議会等)で協議・決定

考えをもち  
表現する子



伝え合い  
認め合う子

探究心をもち  
粘り強く  
取り組む子

## ② 「架け橋期に期待する子ども像」の 具体化（共通）

「架け橋期に期待する子ども像」に向けて、  
**幼児期の終わりまでにどのような資質・能力を育みたいか、子どもの姿を具体化する**  
 「考えをもち表現する子」  
 「伝え合い認め合う子」  
 「探究心をもち粘り強く取り組む子」

考えをもち  
表現する子

○ものの性質や仕組みなどを感じ取りたり気づいたりする（知・技の基礎）  
 ○豊かな言葉や表現を身につける（知・技の基礎）  
 ○経験したことを感じたことなどを表現する（思・判・表の基礎）

伝え合い  
認め合う子

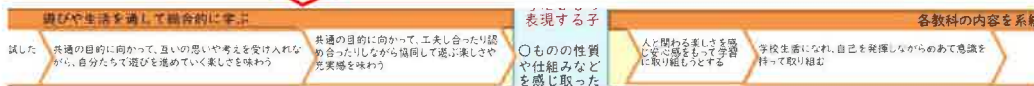
○自分と異なる考えに気づき互いの考えなどを共有する（知・技の基礎）  
 ○自ら判断したり考え直したりする（思・判・表の基礎）  
 ○友だちと考

## ③遊びや学びのプロセス（共通）

「架け橋期に期待する子ども像」の育成に向けて、  
 遊びや学びのプロセスをどのように深めていくのか

## ④5歳児に必要な経験や体験（共通）

②のような子どもたちを育てるには、5歳児には  
 どのような経験や体験が必要なのか



- 体を十分に動かして、いろいろな運動や遊びに楽しんで取り組む（戸外で、友だちと一緒にするなど）
- 友だちの話や聞き、互いの思いや考えを伝え合いながら、友だちと目的を共有し協働することを楽しむ（考える、伝え合う、工夫する、認め合う、協力する、見直しをもつ、折り合いをつける、ルールの共有など）
- 数字や図形、文字などに親しみ、遊びや生活の中で使う楽しさを感じる
- 身近な自然や動植物に興味や関心をもち、関わる（世話をする、遊びに取り入れる、仕組みに気づくなど）
- 絵本や物語などに親しみ、言葉やイメージを豊かにする
- 様々な出来事や素材に触れ感じたことや考えたことを表現して楽しむ（歌う、楽器を使う、かく、つくるなど）

### ⑤各園で展開される主な活動(各園で)

④を踏まえ、ねらいに基づいた各園で展開される  
主な活動(幼小交流活動を含む)

\*【 】は遊び・活動例

\*◇遊びの中で期待する「幼児の終わりまでに育ってほしい姿」(到達目標ではない)

<p>固定器具や運動遊具に興味を持ち、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう</p> <p>【忍者ごっこ】 ☆健康な心と体 ☆自立心</p>	<p>自分なりに考えたり、気づいたことを友だちと伝え合ったりしながら、試行錯誤して遊ぶことを楽しむ</p> <p>【シャボン玉遊び】 ☆思考力の芽生え ☆言葉による伝え合い</p>	<p>秋の自然物を遊びに取り入れ、友だちと考えを出し合い、工夫したり、協力したりしながら遊びを進め、実現していく楽しさを味わう</p> <p>【秋のお店屋さんごっこ】 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い ☆自然とのかかわり・生命尊重</p>	<p>共通の目的に向かって友だちと協力して遊びをすすめる中で、文字や数字に興味を持ち、その必要性に気づき、遊びに取り入れて楽しむ</p> <p>【お正月のあそび】 ・ゆうびんやさんごっこ ・手作りかるた・すごろく等 ☆数直線・図形・標識や文字などへの関心・感覚 ☆発音</p>
--	--	--	--

友だちとイメージを共有

### ⑤1年生の生活科を中心とした単元構成(各小学校で)

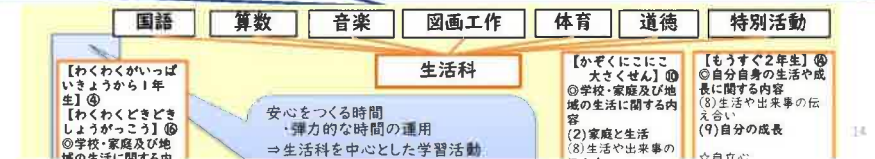
(1年生と交流する場合は幼小交流活動を含む)

\*【単元名】◎主たる内容・(数字)内容 ⇒ 共通

\*☆幼児期からつながる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

\*太字の教科名=合科的・関連的指導を行う教科

\*「スタートカリキュラム」の位置づけ(実施時期等)



### ⑥指導上の配慮事項(各園・小学校で)

○園 保育者の援助・環境の構成等

○小 教師の指導・環境づくり等

\*日頃の実践をもとに考える

\*「期待する子ども(像)」の育成に向けてどうすればいいかも考える

各園

各小学校

<p>□活動を展開するのにふさわしい環境の構成(器具・用具・素材の種類・数量・配置等)</p> <p>◇子どもの興味・関心を引き出す導入の工夫</p> <p>◇見通しをもったり、振り返りたりできるように場を設ける</p> <p>◇見守る、一様に活動する、共感するなど場に応じた言葉かけや援助を行う</p>	<p>□安心して学べる環境構成⇒見通しをもってできる・視覚的に理解できる・協</p> <p>◇「スタートカリキュラム」の時期は安心して学習がスタートできるように、音楽</p> <p>◇関わりを広げる支援⇒ペア・グループ・学級・学校全体へ ◇体験活動を</p> <p>◇課題への出合わせ方、児童の意識の流れ、振り返りを大切に指導計画</p> <p>◇「園ではどうしてた?」「どう思う?」「どうしたらいいと思う?」など経験の想</p>
--	---

### ⑦家庭や地域との連携(各園・小学校で)

○幼児教育と小学校教育のつながりや「架け橋期のカリキュラム」について、どのように理解を図るか

○園・小学校で共通して行うこと

○市全体で行う「体力づくりプログラム」(たけたん体操)の普及⇒共通

<p>幼児教育と小学校教育のつながり、「架け橋期のカリキュラム」等についての理解(保護者会、入園・入学説明会、学校運営協議会、通</p> <p>竹田市こども「せいかつTOP10」(幼児版)の活用</p>	<p>「南小っ子 生活の約束」</p>
<p>体力づくりプログラム(「たけたん体操」)の普及</p>	

## 架け橋期のカリキュラムの評価・改善 (南部幼小モデル校・園にて)

### 「竹田市架け橋期のカリキュラム」(南部幼小モデルプラン)の 検証

#### 南部小学校・幼稚園の公開授業・保育

#### 及び幼小合同研修会(R5年6月・11月)

- ・「期待する子ども像」に沿った授業・保育の検証 🍌 P17
- ・「竹田市架け橋期のカリキュラム(南部幼小モデルプラン)」改訂版の発行 🍌 P3
- ・遊びや学びのプロセスシート発行 🍌 P21  
(南部幼稚園・小学校の実践からプロセスと資質・能力を見取ったもの)
- ・幼小「学びのつながり」シート(南部幼稚園)発行(協働) 🍌 P41  
⇒「学びのつながり」の見える化, 小学校・家庭・地域への理解促進へ



18

## 架け橋期のカリキュラムの評価・改善 (南部幼小モデル校・園にて)

### 南部幼稚園・小学校の教育課程の見直し・作成

#### ○南部幼稚園教育課程案の見直し

- ・項目の検討 ・教育課程案作成 🍌 P13

#### ○南部小学校教育課程案(1年)の見直し

- ・単元配列表(1年)の付加・修正 🍌 P14
- ・スタートカリキュラムの見直し(幼小で) 🍌 P15
- ・幼小交流活動計画の頁作成 🍌 P35

↓  
評価・改善を継続

## 架け橋期のカリキュラムの作成に向けて (市内全校・園にて)

### ブロック別研修会の実施

### 各園・小学校の教育課程・指導計画等の作成

#### ○各園カリキュラムの作成

- ・施設長等研修会(拡大作業部会)の実施
- ・モデル案をもとに自園のカリキュラムを見直し, 作成

#### ○各小学校カリキュラムの作成

- ・モデル案をもとに自校のカリキュラムを見直し, 作成

↓  
互いのカリキュラムの交流・幼小交流活動の計画・位置づけ等  
⇒「架け橋期のカリキュラム」の各校・園版作成 (ブロック別)

# 見直しの視点

## 見直しの視点①

園で展開される主な活動について

- ・プロセスや必要な体験に沿ったものになっているか?
- ・期待する子ども像に向かっていくものになっているか(資質・能力が育まれるようなものになっているか)?

## 見直しの視点②

園・小どちらも「期待する子ども(像)を育てるために必要な「指導上の配慮事項」は他にはないか?

## 見直しの視点③

幼小の連携についても記入した方がいいのではないかと項目の追加

### 竹田市架け橋期のカリキュラム (南部幼小モデルプラン)

期待する子ども像	竹田市教育ビジョン	主体的に学び未来を創造する子ども	～希望の子が困難な状況において、習慣を活用しながら自分自身の考えを形成していく子どもに主体的に学び続ける子	◎豊かな想像力 ◎協働的学習 ◎自分の考えを形成する力 ◎主体的に学び続ける意欲
遊びや学びのプロセス	遊びや生活を通して総合的に学ぶ	遊びや生活を通して総合的に学ぶ	遊びや生活を通して総合的に学ぶ	遊びや生活を通して総合的に学ぶ
園で展開される主な活動 / 小学校の生活科を中心とした単元構成	<p><b>五領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)</b></p> <p>体を十分に動かして、いろいろな運動や遊びを通して取り込む(戸外で、友だちと一緒にするなど)</p> <p>友だちの話を聞き、互いの思いや考えを伝え合いながら、友だちと目的を共有し協働することを楽しむ(考えを、伝え合う、工夫する、認め合う、協力する、見通しをつける、折り合いをつける、ルールの共有など)</p> <p>数量や図形、文字などに親しみ、遊びや生活の中で使う楽しさを感じる</p> <p>身近な自然や動植物に興味や関心をもち、関わる(世話をする、遊びに取り入れる、仕度みにつくなど)</p> <p>絵本や物語などに親しみ、言葉やイメージを豊かにする(絵本、ことばあそびなど)</p> <p>様々な出来事や営みに触れ感じたことや考えたことを表現して楽しむ(歌う、楽器を使う、かく、つくるなど)</p>	<p>【はじめるいっしょ】 【わくわくどきどきしようがっつ】 ◎学校・家庭及び地域の生活に関する内容 (1)学校と生活 (2)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p>	<p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p>	<p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p>
指導上の配慮事項	<p>活動を進めるのにふさわしい環境の構成(遊具・用具・素材の種類、数量、配置等)</p> <p>◎子どもの興味・関心を引き出す導入の工夫</p> <p>◎見通しをもったり、振り返りできるように場を設ける</p> <p>◎「どうしたい?」「どうする?」など、子どもの考えを引き出す言葉かけを行う</p> <p>◎自分の思いを伝えたり、友だちの考えを聞いたりする場を設ける</p> <p>◎見守り、一緒に活動する、共感するなど場に応じた言葉かけや援助を行う</p> <p>◎友だちの姿から、長さに気づいたり、判断し合ったりできるように言葉かけを行う</p>	<p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p>	<p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p>	<p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p>
幼小の連携	<p>【1学期】幼小交流活動事前・事後の打ち合わせ/互見保育・授業/校区幼小合同研修会/小学校授業公開/幼小合同研修会(アロップ)</p> <p>【2学期】幼小交流活動事前・事後の打ち合わせ/互見保育・授業/校区幼小合同研修会/園公開保育/幼小合同研修会(アロップ)</p> <p>【3学期】幼小交流活動事前・事後の打ち合わせ/互見保育・授業/幼小合同研修会</p>	<p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p>	<p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p>	<p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p>
家庭や地域との連携	<p>幼児教育と小学校教育のつながりや「架け橋期のカリキュラム」等についての理解の促進(保護者会、入園・入学説明会、学校運営協議会、通信、HPなどで)</p> <p>幼(遊びや学びのプロセス)【幼小のつながりシート】等発行(学期ごとに園保護者・学校・地域の関係へ) 小【架け橋期の取組】【幼小の交流】【幼小合同研修会】等についてHPや通信で周知</p>	<p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p>	<p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p>	<p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>【おはようおはよう】 ◎身近な人々、社会および自然とのかかわる活動に関する内容 (7)動物の飼育・観察 (8)生活や出来事の伝え合い</p>

## 見直しの視点①

小学校の生活科を中心とした単元構成について

- ・幼児期からつながる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」
- ・合科的・関連的指導等の見直し

## 見直しの視点④

「家庭や地域との連携」の取組は他にはないか?

# 4. 年間指導計画 (南部幼稚園 5歳児)

## 令和6年度 竹田市立南部幼稚園 年間指導計画

園の教育目標：心豊かでたくましく生きる子どもの育成		めざす園児像：かんがえる子 やさしい子 たくましい子				育みたい資質能力
架け橋期に期待する子ども像(竹田市)		★考えをもち表現する子 ★伝え合い認め合う子 ★探究心をもち粘り強く取り組む子				考えをもち表現する子 ○ものの性質や仕組みなどを感じ取ったり気づいたりする。 (知・技の基礎) ○豊かな言葉や表現を身につける。 (知・技の基礎) ○経験したことや感じたこと、考えたことなどを表現する。(思・判・表の基礎)
領域 ・健康 ・人間関係 ・環境 ・言葉 ・表現	◎体を十分に動かして、いろいろな運動や遊びに楽しんで取り組む(戸外で、友だちと一緒にするなど) ◎友だちの話を聞き、互いの思いや考えを伝え合いながら、友だちと目的を共有し協同することを楽しむ(考える、伝え合う、工夫する、認め合う、協力する、見通しをもつ、折り合いをつける、ルールの共有など) ◎数量や図形、文字などに親しみ、遊びや生活の中で使う楽しさを感じる ◎身近な自然や動植物に興味や関心をもち、関わる(世話をする、遊びに取り入れる、仕組みに気づくなど) ◎絵本や物語などに親しみ、言葉やイメージを豊かにする(絵本、ことばあそびなど) ◎様々な出来事や素材に触れ感じたことや考えたことを表現して楽しむ(歌う、楽器を使う、かく、つくるなど)					
月	I期(4月 5月)	II期(6月 7月 8月)	III期(9月 10月 11月 12月)	IV期(1月 2月 3月)		
ねらいと内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい生活や環境に慣れ、教師や友だちに親しみをもち、安心して過ごす</li> <li>・教師や友だちにすすんで挨拶や返事をする</li> <li>・教師や友だちと一緒に簡単な歌やリズムを楽しむ</li> <li>・身近な自然や動植物に興味や関心をもち、触れたり、遊んだり、世話をしたりする</li> <li>・教師や友だちと食べることを楽しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な自然や事象に関心をもち、よく見たり、考えたり、遊びに取り入れたいりする</li> <li>・朝顔の生長に関心をもち、進んで世話をする</li> <li>・身近な動植物に親しみ、進んで世話をする</li> <li>・身近な自然や事象に関心をもち、疑問に思ったことを試したり、調べたりする</li> <li>・芋苗植えを通して、地域の方々とのふれあいを楽しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な自然や事象を見たり触れたりして、考えたり愛着をもったりする</li> <li>・植物の栽培に関心をもち、成長を楽しみに世話をする</li> <li>・季節の変化に気づき、収穫を喜んだり、自然物を使っているような遊びをしたりする。</li> <li>・地域の方々や芋の収穫を通して触れ合い、親しみをもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校入学への期待や喜びをもち、行事や活動を通して自分の成長を感じ身近な人やものに感謝の気持ちをもつ</li> <li>・自分の生活にかかわりの深い人連りに感謝の気持ちをもつ</li> <li>・冬の事象に興味をもち、それを取り入れて遊んだり、植物の成長の様子などから春の訪れに気づいたりする</li> <li>・小学校入学への期待をもち、話を注意して聞いたり、活動に頑張ったりする</li> <li>・友だちと遊びや生活を進めていく中で、クラスの一員としての自覚をもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人が自分らしさを大切にし、互いを認め合いながら共通の目的に向かって遊びを進め、安心感や安定感を味わう</li> <li>・友だちとの会話を楽しみ、気持ちの通い合う心地よさを味わう</li> <li>・簡単な文字や数などに興味をもち、ゆうびんやさんごっこを楽しんだり、日常生活に取り入れて使ったりする</li> <li>・自分たちで遊び方を考えたり、ルールを決めたりして、みんなで楽しむ</li> <li>・トラブルや疑問、困った事などを、自分たちで解決していこうとする</li> <li>・日本の伝統文化に親しみ、生活の中に取り入れて遊ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分と異なる考えに気づき互いの考えなどを共有する</li> <li>(知・技の基礎) ○自ら判断したり考え直したりする</li> <li>(思・判・表の基礎) ○友だちと考えを共有し、共通の目的に向かって取り組む(学・人)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の身の回りのことを自分でしようとする</li> <li>・衣服の着脱、食事、片づけ、手洗いなどの生活に必要な活動を自分でする</li> <li>・幼稚園における生活の仕方が分かり、見通しを持って行動する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○梅雨期や夏の健康的な過ごし方を知る</li> <li>・梅雨期や夏の生活の仕方が分かり、自分で汗の始末や衣服の調節、水分補給をする</li> <li>・戸外遊びに参加し、全身を使ってダイナミックに遊びを楽しむとともに、適切な休息の取り方に気づく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活のきまりを守り、健康な生活の習慣を身に付ける</li> <li>・病気の予防に関心をもち、健康な生活に必要な生活習慣を身に付ける</li> <li>・災害時などの行動の仕方が分かり、先生や友だちと一緒に機敏に避難する</li> <li>・自分たちで生活の場を整えながら見通しをもって行動する</li> <li>・必要に応じて手洗いや汗の始末や水分補給をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活の見通しをもち、進んで行動できるようになる</li> <li>・体と食べ物との関係を知り、何でも食べようとする</li> <li>・遊びや生活にけじめをもち、自分で考えて行動する</li> <li>・園生活の中でやっつけたい事や思いのことを自分で考え、場面に応じた行動をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○探究心をもち粘り強く取り組む子</li> </ul>	
○ねらいと内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○園生活に必要な決まりがあることを知り、守ろうとする</li> <li>・友だちと遊んだり、生活したりする中で、決まりの大切さに気づく</li> <li>・危険な場所や遊び方が分かり、安全に気をつけて道具や用具を正しく使う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遊びや生活の中で必要なルールを、自分たちで決めて守ろうとする</li> <li>・遊びの中での思いや感情のいき違いを通して、相手の気持ちを分かろうとする</li> <li>・遊びや生活の中で、困ったことや気づいたことを出し合い、ルールや約束ごとを決める</li> <li>・いろいろな道具や用具に関心をもち、望ましい使い方を知る</li> <li>・進んで片付けをしたり、当番活動に意欲をもって取り組んだりする</li> <li>・食事の大切さを知り、嫌いな物でも食べてみようとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな活動に取り組む中で、自分の力を十分に発揮し、満足感や達成感を味わう</li> <li>・運動あそびに意欲的に取り組み、友だちと体を動かして遊ぶ心地よさを味わう</li> <li>・自分なりのめあてに向かって、友だちと刺激し合いながら、なわとびやフライングなどのチャレンジあそびに取り組む</li> <li>・友だちとやり方を教え合ったり、できるようになったことを一緒に喜んだりする</li> <li>・自分の思いや考えたことをすすんで話す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○難しいことにも自信をもって取り組み、やり逃げようとする</li> <li>・寒さに負けず十分に体を動かして、いろいろな運動やあそびに取り組む</li> <li>・自分なりのめあてをもち、粘り強くなわとびや持久走に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○考える、予想する、試す、工夫するなどする(思・判・表の基礎) ○自分のやりたいうことをあきらめずにやり進める(学・人)</li> <li>○新しい考えを生み出す喜びを味わいながら自分の考えをより良いものにする(学・人)</li> </ul>	
予想される主な活動	砂場あそび ままごと 大型積木 ブロック 忍者ごっこ こいのぼり×りかエル、ツマグロビョウモンなどの飼育 朝顔、ミニトマトの栽培 よろしくの会(1年生との交流) 等	砂、水、泥あそび 箱、段ボールあそび かえるごっこ みんなの海づくり ジャボン玉あそび プールあそび 七夕飾りづくり(1年生との交流) 等	運動会ごっこ 秋のお店屋さんごっこ チャレンジあそび(なわとび、フライング、こままわしなど) 表現あそび(合奏、オペレッタなど) パンジー、ヒヤシンスなどの栽培 秋あそび祭り(1年生との交流) 等	お正月のあそび(ゆうびんやさんごっこ、手作りかるた、手作りすごろくなど) 鬼つくり 氷つくり 氷つくり(1年生との交流) 等		

# (南部小学校 第1学年)

令和6年度 単元一覧表 第1学年

【架け橋期の期待する子ども像】	考えをもち表現する子	伝え合い認め合う子	探究心をもち粘り強く取り組む子
-----------------	------------	-----------	-----------------

は、教科横断的な指導の関係 ▶ は、プログラミング教育 ■ 赤字は、道徳の内容項目を表す

	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
国語	きこえるよ よろしくね たのしくかこう なんていうのかな こえをどけよう もじまかこう あいうえおのうた あいうえおのことばをあつ めよう	あめですよ ふたごばた みんなにはなそう ぶんをつくらう <span style="color: green;">■</span> どんことどん はまつかおう さとうとしお へまつかおう	きいてつたえよう おことねっ ことばあそび あひるのあくび のびすおん どうやってあままるのか ないしやといしゃ こんことしたよ	おおきなかぶ としよかんはどんなところ ことばあそびうたをつくらう かたかなをみつけよう えにっきまかこう	あそびあそび/き はなしたいなききたいな かぞえうた かいがら かんののはなし ○おはなしまよもう ガラダげんき	かたかなまかこう 一ねんせいのはんだな なにに見えるかな かいがら ほうげんしあよ ○ふねのせつめいをよもう いろいろなふし	「のりものカード」をつく ろう まどめでよぶことば まきなまよかをはなそう ことばであそぼう おもいでしてかこう	○こえを出してよもう おとうとねずみチロ みみずのたいそう むかしばなしをたのしもう おはなしまかこう かたかなのかたち ○ちがいをかんがえよう 子どもをまもるどうぶつた ち	ことばをあつめよう 小学校のことばしようかい しよう ○まきなまよをつたえよ う スイミー	かたちのでているかん 一年かんのおもいでブック しよ					
書写	もじをかくしせい かきやすいろちかた はんびつてかいてみよう	くひらがなのかきかた ○「まがり」「おれ」 ○かくじゅんじよ	くひらがなのかきかた ○「まがり」「おれ」 ○「むすび」	くひらがなのかきかた ○もじのかたち○にている けれどちがうひらがな	くひらがなのかきかた ○ひらがなのひよう ○よこがき①	くひらがなのかきかた ○「まがり」「はね」「はら い」と「おれ」「まがり」	くひらがなのかきかた ○「まがり」「はね」「はら い」「おれ」「まがり」	くひらがなのかきかた ○「まがり」「はね」「はら い」「おれ」「まがり」	くひらがなのかきかた ○「まがり」「はね」「はら い」「おれ」「まがり」	くひらがなのかきかた ○「まがり」「はね」「はら い」「おれ」「まがり」	くひらがなのかきかた ○「まがり」「はね」「はら い」「おれ」「まがり」	くひらがなのかきかた ○「まがり」「はね」「はら い」「おれ」「まがり」			
算数	1. なかまづくりと かず	2. なんば んのめ	3. あわせて いくつ ふえ るといくつ	4. のこりは いくつ ちが いはいくつ	5. どちらが ながい	6. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. どちらが ながい	11. たしざん	12. かけざん	13. ひきざん	どんな けいさん になるのかな? けいさんびらみっど	14. おおき かず	15. どちら がひろ	16. なん じぶんぶ ん <span style="color: green;">■</span>	17. たし ざんとひ きざん	18. かたちづくり
生活	はじめのいっばい わくわくどきどきしょうがっ こう <span style="color: green;">■</span> ☆健康な心と体 ☆社会生活とのかかわり ☆協調性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 【幼小交流活動 よろしくね の会】	きせつとなかよし ばる なつ <span style="color: red;">■</span> 0生 ☆自然とのかかわり生命専書 ☆思考力の芽生え ☆豊かな感性と表現 【幼小交流活動 みんなで七夕飾りをつくらう】	なかくなろうね 小さなともだち <span style="color: red;">■</span> 0生 ☆自然とのかかわり生命専書 ☆協調性 ☆言葉による伝え合い	きせつとなかよし あき <span style="color: red;">■</span> 0生 ☆自然とのかかわり生命専書 ☆協調性 ☆社会生活とのかかわり 【幼小交流活動 秋遊び祭りしよう】	さわいさいて <span style="color: red;">■</span> わたしのはな <span style="color: red;">■</span> 0生 ☆自然とのかかわり生命専書 ☆思考力の芽生え	かぞく <span style="color: red;">■</span> に <span style="color: red;">■</span> こだいさくせん ☆自立心 ☆社会生活とのかかわり ☆健康な心と体	きせつとなかよし ふゆ <span style="color: red;">■</span> 0生 ☆自然とのかかわり生命専書 ☆協調性 ☆社会生活とのかかわり 【幼小交流活動 風をつかって遊ぼう】	もうすぐ 2年生 ☆自立心 ☆社会生活とのかかわり ☆言葉による伝え合い							
音楽	うたってうたいて みんなでおんがく	はくとりズム <span style="color: green;">■</span> にゅばんのうた みんなのうた	どれみとなかよし	こんには <span style="color: red;">■</span> 調整ハーモ ニカ	わた の も り あ が り	ねいろとつよさ	ねこの鳴き 声であそぼ う	おんがくのながれ	みんなのおんがく	おとのス ケッチ					
図工	●好きなもの いっぱい ●おしえて みんなの 好きなもの	●ねんどと なかよし ●好きなもの いろいろ あるね	●ならべて あつめて ●チョコッキン パンで かざろう	●さわって まぜて き もちいい ●ひかりの くのに な かまたち	●スタンプべったん ●あそぼうよ、パクパ クさん	●こすりだしから うま れたよ ●うまきボックス	●いろんなともだち はなしだす ●だいすき！ わくわく ペーパー	●ふわっと ぎゅっと おはながみの え ●おしよせします！ にっくりニュース	●くしゃくしゃ だいへ んしん ●ふわっ ふわっ ゴー ン	●つくって へんしん ●できたらいいな こ んなこと	●はこはこをくみ あわせて ●ようこそ あたらしい いねんせい				
体育	団体座墊を使った運動 走の運動遊び 体ほぐしの運動遊び	多様な動きを作る運動遊び 鬼遊び ボールゲーム	水の中を移動する 運動遊び もぐる・浮く運動 遊び	リズム遊び 表現遊び 走の運動遊び	走の運動遊び 多様な動きをつくる運動遊び ボールゲーム	跳ぶの運動遊び 跳び箱を使った運動 遊び 鉄棒の運動遊び	跳ぶの運動遊び 跳び箱を使った運動 遊び 鉄棒の運動遊び	跳ぶの運動遊び 跳び箱を使った運動 遊び 鉄棒の運動遊び	跳ぶの運動遊び 跳び箱を使った運動 遊び 鉄棒の運動遊び	跳ぶの運動遊び 跳び箱を使った運動 遊び 鉄棒の運動遊び	跳ぶの運動遊び 跳び箱を使った運動 遊び 鉄棒の運動遊び				
道徳	1. みんなでたのびく <span style="color: red;">■</span> 5 2. あいさつげんきに 3. みんなでまもる <span style="color: red;">■</span> 0	4. がっこつたけん 5. あおんごう 6. いっしょにするよ 7. みんななんにうたっている <span style="color: red;">■</span> 0	8. おんごうひらり <span style="color: red;">■</span> 0 9. がっこつたけん 10. かばちのつる	11. きんのおの 12. ルールがないとどう なるの <span style="color: red;">■</span> 0	13. まちたんけん 14. ちゃんどのたつじん 15. ぼく、もちま <span style="color: red;">■</span> 0 16. ぼくはいかない <span style="color: red;">■</span> 0	17. そうじのじかん 18. ぶうたのやくめ 19. やさいむらのこども 20. うばきぶくろ	21. すてきなことば <span style="color: red;">■</span> 0 22. もみじが <span style="color: red;">■</span> 0 23. はしのうえのおおかみ <span style="color: red;">■</span> 0 24. おつさまがみている	25. ワールドデザイナー 26. だいじな物事のもの	27. ニマさんのことえあわ せ 28. つじかいとおおかみ <span style="color: red;">■</span> 0	29. ぼくにもあるかな <span style="color: red;">■</span> 0 30. ーにち 十ぶん 31. ぎんの しずく 32. 二のの こり <span style="color: red;">■</span> 0	33. ひしゅくぼし 34. もうすぐ二ねんせい <span style="color: red;">■</span> 0				
特活	安全な登下校 さまりよい学校生活 <span style="color: red;">■</span> 0 楽しい給食	当番や係の仕事 健康で安全な生活 基本的な生活習慣	学校図書館の活用 当番・係活動の充実 <span style="color: red;">■</span> 0 学校生活作り	「準備ができて お楽しみ」 夏休みの生活	学級組織づくり 基本的な生活習慣 運動会への参加	学級の紛争解決 <span style="color: red;">■</span> 0 見直しへの提案 災害から身を守る	音楽祭への参加 学校図書館の活用 係・当番活動の充実	学級組織づくり 冬休みの生活 見直しへの提案 自分の役割の自覚	学級の紛争解決 <span style="color: red;">■</span> 0 より良い人間関係 自分の役割の自覚	卒業式への参加 「準備ができて お楽しみ」 来年度に向けて					

# 「スタートカリキュラム」計画・実施の留意点

安心

成長

自立

安心をつくる時間・弾力的な時間の運用から、生活科を中心とした学習活動, 合科的・関連的学習活動の工夫へ, 教科等中心の学習活動の工夫へと移行していく。

○はじめの時期は安心して学習がスタートできるように, 音楽や読み聞かせ, 園で慣れ親しんだ体操等を1時間目におこなう。  
○見通しをもってできる・視覚的に理解できる・協働的に学べるように安心して学べる環境構成をおこなう。

○ペア・グループ・学級・学校全体へと関わりを広げる支援をおこなう。

○体験活動を取り入れる。

○課題への出合わせ方, 児童の意識の流れ, 振り返りを大切に指し導計画を立てる。

○「園ではどうしてた?」「どう思う?」「どうしたらいいと思う?」など経験の想起・思考を促し, 交流し合う言葉かけをおこなう。

\*おおむね5週間をめやすとするが, 子どもの状況に応じて計画を変更する。

\*「スタートカリキュラム」の実施状況について, 園とも共有し, 適宜見直しをおこなう。

## \*例として第1週目から3週目までを掲載

令和6年度 南部小学校スタートカリキュラム週案

第1週

テーマ	はじめまして 小学校
週のねらい	○心をほぐし, 安心して過ごすことができる。 ○自分でできることをふやすことができる。
重点課題	①話す聞く 話の聞き方がわかる。 ②きまり・机やロッカーの使い方がわかる。 ③かかわる・隣の人やグループの人と話したり, 体を動かしたりすることができる。

月日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
曜日					
予定	入学式				
朝の会		・朝の会のしかた ・健康観察のしかた	・朝の会 ・健康観察	・朝の会 ・健康観察	・朝の会 ・健康観察
1時間め	学 ・入学式の流れを知る。 学 ・名前を呼ばれたら返事をすることを知る。 学 ・トイレやスリッパの使い方を覚える。	音 ・友だちと歌いながら, 手遊びをしたり, 身体を動かしたりして楽しく遊ぶ。(かかわり作り) 音 ・トイレやスリッパの使い方を覚える。	音 ・友だちと歌いながら, 手遊びをしたり, 身体を動かしたりして楽しく遊ぶ。(かかわり作り) 音 ・トイレやスリッパの使い方を覚える。	体 カエルの体操 学 ・聴きたい音楽の日の歌(選曲) 学 ・チャイムの放送の役割を知る。	体 カエルの体操 音 ・どんなうたがあるかな 音 ・こいのぼり など 歌 手拍子
2時間め	行 ・入学式に参加する。	学 ・自分の机・ロッカーの使い方を覚える。 学 ・用具提出物の出し方を覚える。 学 ・用具提出物を出してみる	国 ・よろしくお ・自己紹介について知 ・好きなものを出し合 ・伝えたい好きなものを ・クレヨン の使い方を覚える。	国 ・よろしくお ・自己紹介について知 る。ペアで自己紹介 の練習をする。 国 ・全体で自己紹介 の練習をする。	国 ・立ち方, 正しい座 り方ができる。 国 ・給食の持ち方を確 認し, 初めてのる前 を書く。
中休み					
3時間め	生 ・6年生のお兄さん お姉さんと遊ぼう。 生 ・適切な筆圧で線を書 き, 進捗に慣れる。 生 ・適切な筆圧で線を書 き, 進捗に慣れる。	国 ・進捗の仕方 プリ の配り方を知る。 国 ・字を書く時の姿勢や 鉛筆の持ち方を知る。 国 ・適切な筆圧で線を書 き, 進捗に慣れる。	国 ・好きなものいっばい ・自分の好きなもの をかき 国 ・友だちの好きなも のを鑑賞する。	道 みんなでのしく 道 進んでいく。道づ いていない人まがけ。 道 進んでいくためのま まを確認する。	生 わくわくときどきし ょうがっこう 生 ・校舎外で見た場 所, 人について話し 合う。 生 ・探検する計画, 物 探を確認する。 生 ・教師の引率の下, みんなで探検する。
4時間め	学 ・明日の予定を知る。 学 ・登校時に気を付け ることを知る。 学 ・期末からランドセルや 荷物を入れることを知	学 ・お便りや荷物のし まい方を覚える。 学 ・” 学 ・”	学 ・お便りや荷物のし まい方を覚える。 学 ・” 学 ・”	生 わくわくときどきし ょうがっこう 生 ・” 生 ・” 生 ・園での経験を出し 合う	生 わくわくときどきし ょうがっこう 生 ・” 生 ・” 生 ・振り返りをする。
きゆうしよく		給食の準備の仕方を見る 給食の食べ方 給食の片づけ方	給食の準備の仕方を見る 給食の食べ方 給食の片づけ方	給食の準備の仕方を見る 給食の食べ方 給食の片づけ方	給食の準備の仕方を見る 給食の食べ方 給食の片づけ方
ひるやすみ					
そうじ		・ゴミ拾い 学 ・掃りの準備 ・掃りの会 学 ・下校の仕方を確認 する	・ゴミ拾い 学 ・掃りの準備 ・掃りの会 学 ・下校の仕方を確認 する	掃除の仕方を知る 学 ・掃除をする。 学 ・” 学 ・振り返りをする。	掃除の仕方を知る 生 ・学校探検でみつけた ことを絵に表す。 生 ・” 生 ・池園にまどめる。
合科的関連 的な内容	・お見知り満足で行われる自己紹介にむけて...①国語:自己紹介の仕方や話す声の大きさなどについて学習する。②国 画工作:クレヨンの使い方を学び,好きなものの絵をかかせる。 ・道徳:学校のきまりは,みんなが楽しく安全に過ごすためのものであること知らせる。 (生活科の「はじめのいっばい」と関連づけている) ・算数の準備に時間がかかることを想定し,時間に余裕を持ちながら行う。				
教師の支援 かわり	・提出物・トイレ・給食の利用・給食等 対応と進めるので きまりをわかりやすく提示し統一する。(進い進められるようにする。) ・5つの保幼から来るので, 足休みは遊べる範囲を決めて集団で遊べるようにし 顔見知りを作れるように働きかける。 ・個の人を意図させ, 居場所づくりをする。				
時数	国語 算数 生活 音楽 園画工作	3.7 0.0 5.0 2.0 1.3	体育 道徳 学級活動 学校行事	0.7 1.0 8.7 1.0	



令和6年度 南部小学校スタートカリキュラム通案

第2週

テーマ	みんなとともだち
週のねらい	○友だちや先生と仲良くなる。○教室や利用施設のきまりを意識してすごすことができる。○楽しかったことや困ったことを伝えることができる。
重点課題	①話す聞く、話の聞き方(グー・ビタ・ピン)を意識して話を聞くことができる。②きまり:授業中のきまりを意識して過ごすことができる。③かかわる:他幼保の子や先生たちと話したり、体を動かすことができる。

月日 曜日	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
予定			遠足		
朝の会	朝の会 健康観察	朝の会 健康観察	朝の会 健康観察	朝の会 健康観察	朝の会 健康観察
1時間め	音 カエルの体操 歌 歌って動いてみんな 音 サンダーボードの 音 テーマ・チェック	音 カエルの体操 歌 よろしくね 音 声の大きさ 音 全体で自己紹介の 練習をする。	学 満足の話をする。 (不安をとりのぞく) 学 自己紹介の練習を する。	学 聞きたいお休みの 日にしたこと(退席 時週のためて(退席 め) 学 みんなで遊ぼう	音 歌って動いてみんな で音楽 音 校歌 音 ひらいたひらいた 音 かもつれっしや 音 わらべうた
2時間め	国 遠足での自己紹介 について知る。 国 自己紹介の練習を する。「よろしくね」 国 全体で自己紹介 の練習をする。	算 算数の準備の仕方 を知る。 算 くらべたことあるかな 算 多いのはどちらかをき きえる 算 比べた結果を話し合 う	行 なかまづくりと数 たりるかな 場面 把握 算 歌一線 で比べる 算 ブロックを使って比 べる	算 なかまづくりと数 たりるかな 場面 把握 算 歌一線 で比べる 算 ブロックを使って比 べる	国 たたしにかこう 国 じをかしくせい 国 ひらがなプリントの やり方を知る。 国 ひらがなの練習を する。
中休み					
3時間め	国 国語の準備の仕方 を知る。 国 きこえるよ 国 色々な読み方を知 る	生 わくわくどきどきし ょうがっこう 生 校舎内で見た場 所、人について話し 合う。 生 探検する計画、約 束を確認する。 生 教師の引率の下、 みんなで探検する。 生 振り返りをする。	行	国 なんていうのかな 国 さあ はじめよう 国 ひととつながること ば 国 場面把握と伝え合 い	生 わくわくどきどきし ょうがっこう 生 もう一度見てみ たい 生 グループで探検す る計画を立てる。 生 探検をし、色々 とお話をする。 生 学校探検で話した 人を絵に表す。 生 振り返りをする。
4時間め	算 指を折って10まで数 える練習をする。 算 算の数のだけ仲間を あめ(算あわせゲーム) 算 や、文字の数のだけ仲間 をあめ(算あわせゲー ム)をする。	生	行	国 お見知り遠足の結 きかく。 国 楽しかった場面を 出し合う。 国 書いた絵を見せ合 う。	
きゆうしよく					
ひるやすみ					
集会 掃除	本格的な掃除	本格的な掃除		本格的な掃除	本格的な掃除
5時間め	国 学校探検で見つけた ことを伝えよう。 国 生活科「何を思った かな」食料 国 わかったこと、やっ てみたいことをまとめ る。	生 学校探検で見つけ たことを絵に表す。 生 生 地図にまとめる。 生	行	生 もう一度見てみた い人について振り返 ることができるお話し たい質問の仕方 生 練習する。 生	国 たたしにかこう 国 かいてみよう 国 練習 おれまがり に気を付けてなぞる。 国 ひらがなプリント
総合的関連 的な内容	・生活科と国語科・図画工作を関連させ、学校探検でわかったことを絵に表したり発表させる。 ・学校探検を地図にまとめることで、学校の様子を知り、安心して過ごせる場所であることを感じさせる。				
教師の支援 かかわり	・学校探検を中心に、自分たちが過ごす場所について親しみをもてるようにする。 ・音楽や体育では、ペア活動を増やし友だちと関わりが増えるような活動を意識し取り入れる。 ・廊から静へ活動を移行する時、手遊びや読み聞かせを行い、心を落ち着かせる。 ・登校してすぐにすることを黒板に掲示する。→視覚的な手立て				
時数	国語	7.3	体育	0.0	
	算数	3.0	道徳	0.0	
	生活	6.0	学級活動	1.0	
	音楽	2.3	学校行事	4.0	
	図画工作	1.0			

令和6年度 南部小学校スタートカリキュラム通案

第3週

テーマ	みんなとともだち
週のねらい	○友だちや先生と仲良くなる。○教室や利用施設のきまりを意識してすごすことができる。○楽しかったことや困ったことを伝えることができる。
重点課題	①話す聞く、話の聞き方(グー・ビタ・ピン)を意識して話を聞くことができる。②きまり:授業中のきまりを意識して過ごすことができる。③かかわる:他幼保の子や先生たちと話したり、体を動かすことができる。

月日 曜日	11日目	12日目	13日目	14日目	15日目
予定					
朝の会	朝の会 健康観察	朝の会 健康観察	朝の会 健康観察	朝の会 健康観察	朝の会 健康観察
1時間め	音 歌って動いてみんな で音楽 音 校歌 音 ひらいたひらいた 音 かもつれっしや 音 わらべうた	体 体操の仕方を知る。 体 道具の使い方を知 り、チャレンジする。 体 繰り返し	国 本がたたくさん 国 図書館の使い方を知る。 国 教師の読み聞か せを聞く 国 本を借りたり読ん だりする。	学 今週のめあて(週 始め) 学 グループ作り 学 グループの名前をき めめる。(話し合い活動)	音 歌って動いてみんな で音楽 音 校歌 音 かもつれっしや 音 じゃんけんぽん
2時間め	算 なかまづくりとかず 同じ数の仲間を探 そう 算 1〜5 数えよう 算 練習	算 なかまづくりとかず 数えよう 算 身の回りの物をか ぞえる。 算 5つのブロックを並 べる。	国 あいうえおのうた 国 ロの付け方に気を付 けてグループで発表 させる 国 ひらがなプリント	算 なかまづくりとかず 6はいくつといくつ 算 ブロックを使って5 の構成をつかむ 算 練習をする	算 なかまづくりとかず 6〜10数えよう 算 6〜10書いてみよ う
中休み					
3時間め	国 あいうえおのうた 国 色々な読み方で読み 文章に慣れる。 国 ひらがなプリント	国 あいうえおのうた 国 隣の人と練習 グループで練習 国 ひらがなプリント	生 もう一度見てみた いものや場所を確 認し、グループで探 検する計画を立て る。 生 探検をし、場合 によっては気になっ たことを質問する。 生 振り返りをする。	国 あいうえおのこと ばきあつめよう 国 「あ」のつく言葉集 め 国 ひらがな	国 あいうえおのこと ばきあつめよう 国 「い」のつく言葉集 め 国 ひらがな
4時間め	学 お仕事しよう 学 当番の仕事 学 係の仕事	道 あいさつでげんき に 道 いろいろなあいさ つをいってみよう 道	生	生 ふりかえろう 生 学校探検をして、 わかったこと、やっ てみたいことをまと める。 生	道 みんなでまもろう 道 学校のきまり (園のきまり) 道
きゆうしよく					
ひるやすみ					
そうじ	本格的な掃除	本格的な掃除	本格的な掃除	本格的な掃除	本格的な掃除
5時間め	国 学校探検で話した人 を伝えよう。 国 生活科「お話し たい」食料 国 わかったこと、やっ てみたいことをまと める。	国 ひらがなプリント 国 ひらがなプリント 国 読み聞かせ	生 学校探検で見たも のや場所を絵に表 す。 生 ふりかえろう。 生	体 体のバランスをと る体づくり運動を する。 体 かけっこをする(5 0m走) 体 ふりかえり	国 (書き) 国 もじをかしくせい 国 かきやすいもちか た 国 えんぴつでかいて みよう
総合的関連 的な内容	・2回目の学校探検は自主性を高めるためにグループごとに行う。(児童の実態によっては、2年生と行うことも考えられる)人に視点を置き話を聞くことで、小学校には色々な先生がいること、困ったときは相談できることを体験させる。地図を埋めていくことで子どもの達成感・安心感を育む。 ・算数では、学校探検でとった写真を出し学校に楽しみを持たせ要に關心を持たせる。 ・道徳:学校探検や学校生活で、学校のきまりがあることに気付いているので、普段の生活と関連させて検察を行う。 ・友だちと話すことを意識し、ペアやグループ活動を組む。 ・学校探検では、グループでの学習を主とし、グループ学習に取り組む。その際、支援の必要な子には配慮をする。 ・全体での発表も増やし、発表の仕方(手の上げ方、声の大きさ)を意識させる。 ・係や当番活動を入れることで、集団の中での役割を持たせて居場所づくりをしていく。				
教師の支援 かかわり	・学校探検では、グループでの学習を主とし、グループ学習に取り組む。その際、支援の必要な子には配慮をする。 ・全体での発表も増やし、発表の仕方(手の上げ方、声の大きさ)を意識させる。 ・係や当番活動を入れることで、集団の中での役割を持たせて居場所づくりをしていく。				
時数	国語	9.0	体育	2.0	
	算数	4.0	道徳	2.0	
	生活	4.0	学級活動	2.0	
	音楽	2.0	学校行事	0.0	
	図画工作	0.0			

## 5. 幼保こ小合同研修会

### 保育・授業参観及び事後研

#### 保育参観・事後研では

参観シート 園・校名( )名前( )

参観する際のお願い

- \*できるだけ姿勢を低くして、参観してください。
- \*子どもには話しかけず、話しかけられた場合のみ応じてください。
- \*写真撮影はご遠慮ください。

#### 【参観シートについて】

- \*子どもの様子、保育者の援助、環境の構成などをよく見て、付箋に記入してください。
  - 例のように、横向き、横書きで書く
  - 1つの項目を1枚の付箋に記入
  - カードの下部に所属と名前を記入

\*このシートは、参観後の研修会でも使います。記入後、忘れずにお持ちください。

#### ◎黄色のカード⇒子どもの姿

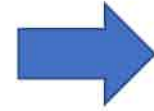
主体的、よいなあ、夢中になっているなあ、おもしろいなあなど感じた子どもの姿  
【例】  
「小学校みたいや」と場を教室に見立て、学校で見つけたものや自分でイメージしたものを工夫してつくっていく姿

大分県幼児教育センター 武津

#### ◎ピンクのカード⇒保育者の環境の構成や援助

よいなあ、この環境の構成や援助が子どもの姿につながったのでは?と思うことを記入  
【例】  
体験入学の後、子どもたちの感想や思いを出し合う場を設け、就学を楽しみにする気持ちを共有したことが、「学校ごっこ」(遊び・活動)につながった。

大分県幼児教育センター 武津

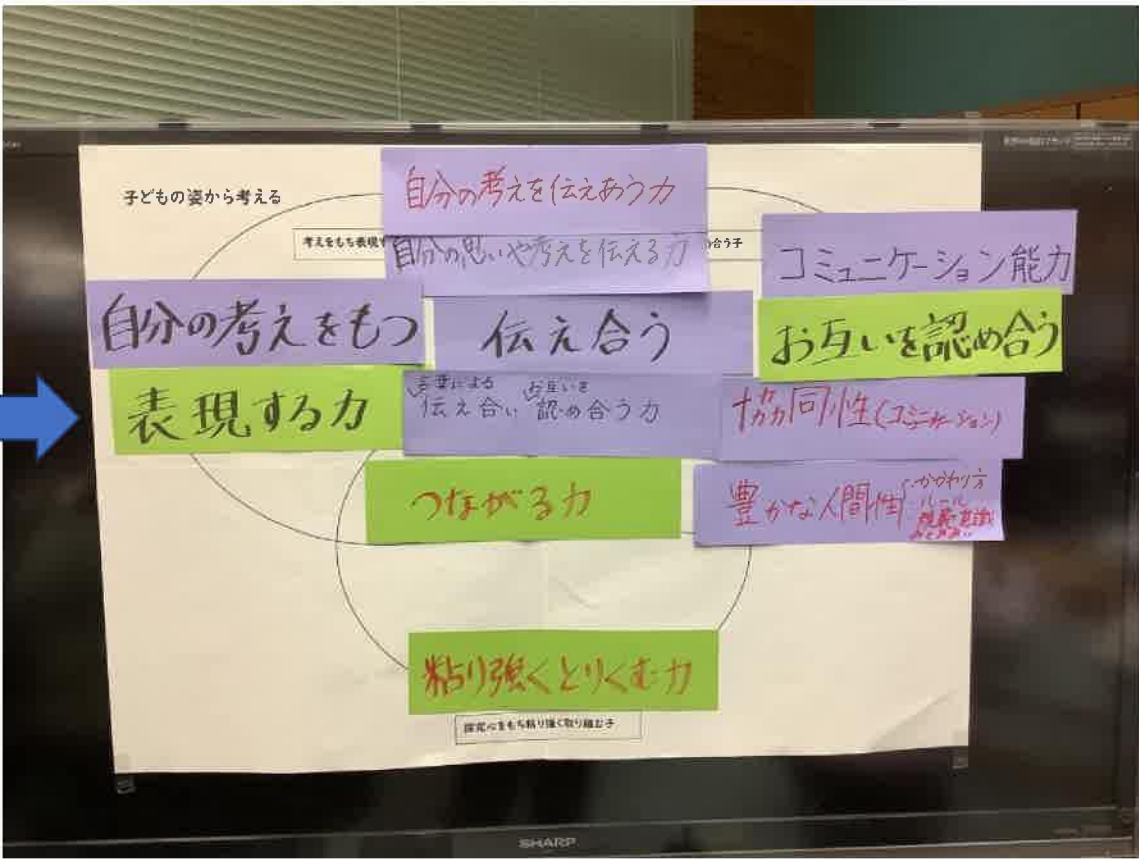
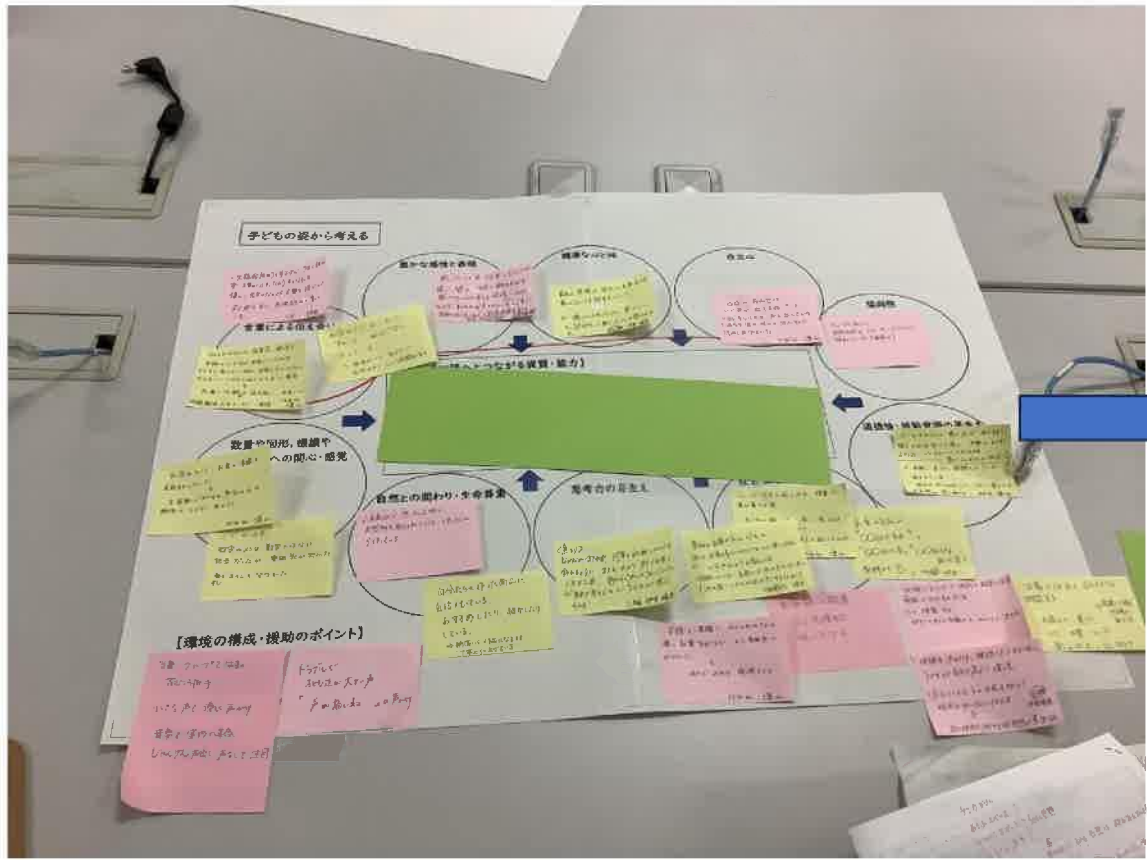


☆互いの教育の理解

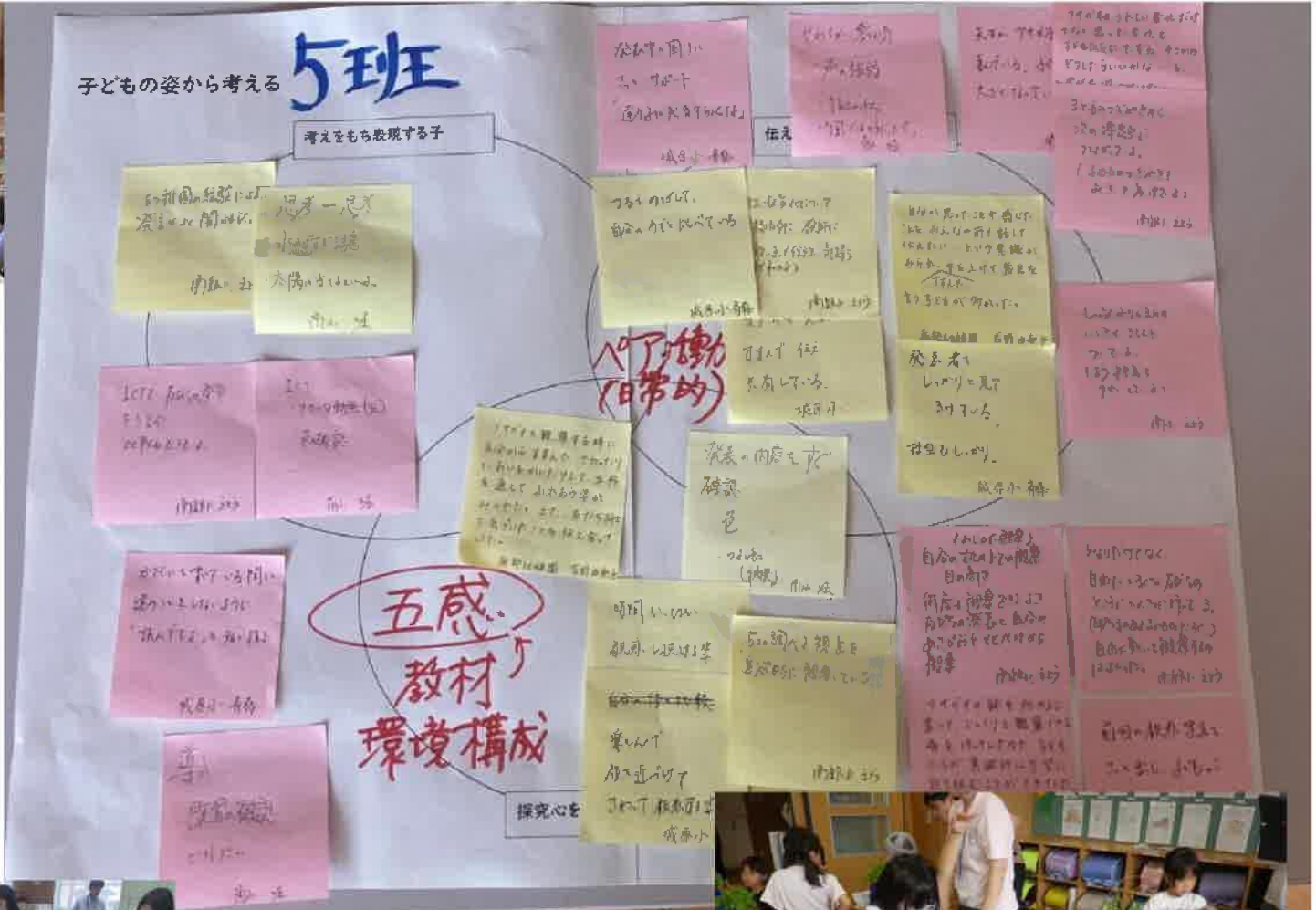
☆「期待する子ども像」の検証



保育参観の見取りから「子どもの姿」と「環境構成や保育者の援助」を明らかにし、小学校につながる資質・能力をグループで協議していく。



# 小学校参観・事後研では



## 授業参観カード

校・園・所名( ) 名前( )

\*子どもの様子、教師の指導・環境づくりなどをよく見て、付箋に記入してください。事後の協議で使用します。

- 例のように、横向き、横書きで記入
- 1つの項目を1枚の付箋に記入
- 一番下に校・園・所名、名前を記入

### ◎黄色のカード⇒子どもの姿

子どもが主体的に学んでいると感じた姿を記入

【例】  
気付いたことを自分から進んで友達に伝えていた。

県幼児教育センター 武津

### ◎ピンクのカード⇒教師の指導・環境づくり

教師の指導・環境づくりで効果的だと思われることを記入

【例】  
「5つの調べるカード」により、観察の視点を明らかにしたことで、子どもたちの気づきが広がった。

県幼児教育センター 武津



授業参観の見取りから「子どもの姿」と「指導」について、明らかにし、育てている資質・能力をグループで協議していく。



今回、初めて公開授業、研究協議に参加させていただきました。小学1年生の子どもが友達の話の聞くことができている姿に感心しました。今回の南部幼小のカリキュラムを元に、今の保育（あそび）を再度職員で考えてみる機会を作っていこうと思います。（保育所）

架け橋期にねられたカリキュラムを組めば、1年生でも、考えを持ち表現でき、伝え合い、認め合い、探究心を持ち、粘り強く取り組めると実感した。自分の学級でも「五感」を意識して、様々なことに実践していきたい。（小学校）

授業の中で自分たちの経験を振り返った発言をいかに引き出せるか、子どもたちも「知ってる！経験してる！」と自信を持って伝えられる事がよく分かる温かい授業でした。（小学校）

「校区でつながる機会を早く持ちたいな」「子どもを中心に話をしていくとどんなものが生まれるかな」となんだかワクワクしてきました。良い学びをさせてもらいました。（小学校）

幼稚園で行っていることや幼稚園で体験したこと、学んだことを授業に取り入れてくださっており、子どもたちが生き生きと学習している姿、主体的に活動する姿が見られて、素晴らしい授業でした。私も幼稚園の保育について見直したいと思いました。また、グループワークでは小学校の先生方と実りある協議ができ、今後も続けていきたいと思いました。（幼稚園）

## 合同研修会

授業を通して、子どもたちが安心して学びに向かっていること、表現し伝え合おうとしているところ、とても勉強になりました。協議では保育園の先生ともお話できて、子どもを見る視点についてなど、たくさん知ることができました。（小学校）

今まで、「園は園」「小学校は小学校」という意識がどこかにありました。でも、今日の授業やワークショップを通して、子どもにとってはつながりがあるので、そのつながりを最大限活かしていきたいと思いました。（小学校）

幼保こ小のつながりや継続的な学びを見ることができました。子どもたちの気持ちや考えがたくさん出てきて、とても良い授業だと思いました。スタートカリキュラムだけでなく、2年間というスパンで考えられるよう学びを仕組んで行く必要があると感じました。（小学校）

子どもの体験、発言から課題をつくるのがやはり大事だなと思いました。（小学校）

## 参加者感想

幼児期のプログラムをどのように小学校につなげていくのかという新しい学びがありました。参加してよかったです。（行政関係者）

年長児がいないのですが、架け橋プログラムにつながるような保育の活動に取り組んでいきたいです。（保育園）

今まで以上に幼保小が連携や協働しやすい環境を作っていただけのこと、とてもありがたいと感じています。（保育園）

子どもを真ん中にして、まずは学校種を超えて、教職員、関係者がつながることの大切さを改めて感じました。（小学校）

生活科の授業を見て、幼児教育に近いと感じ、幼小の連携・接続を感じられる提案授業でした。また一つ小学校を知ることができ、日々の保育につなげることができそうです。架け橋期のコーディネーターのお話もわかりやすく、架け橋期のカリキュラム作成の流れを確認でき、整理ができた気がします（保育所）

昨年度まで園にいた子どもたちののびのびとした姿を見て安心しました。小学校の先生と意見交換でき、勉強になりました。（こども園）

公開授業での先生の言葉かけにより、子どもが生き生きと活動する姿がとても印象的でした。ワークショップで小学校の先生と幼児教育施設の先生が普段どうしているかという話をしていて、つながりを生む良い時間だったと思います。今日学びを活かして進めていきます。（行政関係者）

# 遊びのプロセス 幼①

## 竹田市立南部幼稚園 6月上旬(6月8日~14日) 「かえるごっこ」

【ねらい】友だちとイメージを共有して一緒に遊ぶ楽しさを味わう。

【内容】クラスみんなまで同じイメージをもち、自分の思いを出しながら、遊びを創り出していくことを楽しむ。

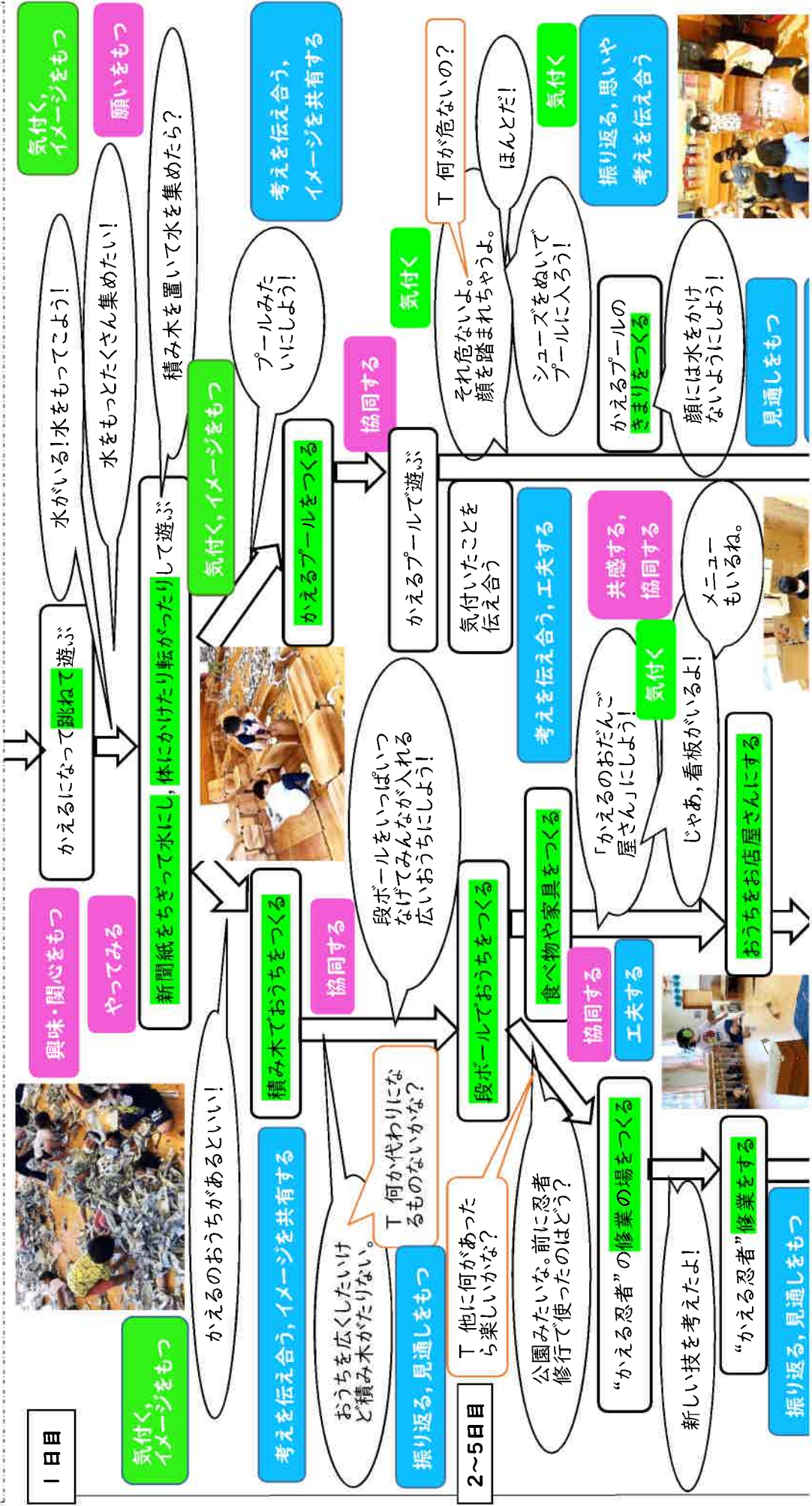
【遊びのプロセス】 \*遊びの中で育てられている資質・能力を次のように表している

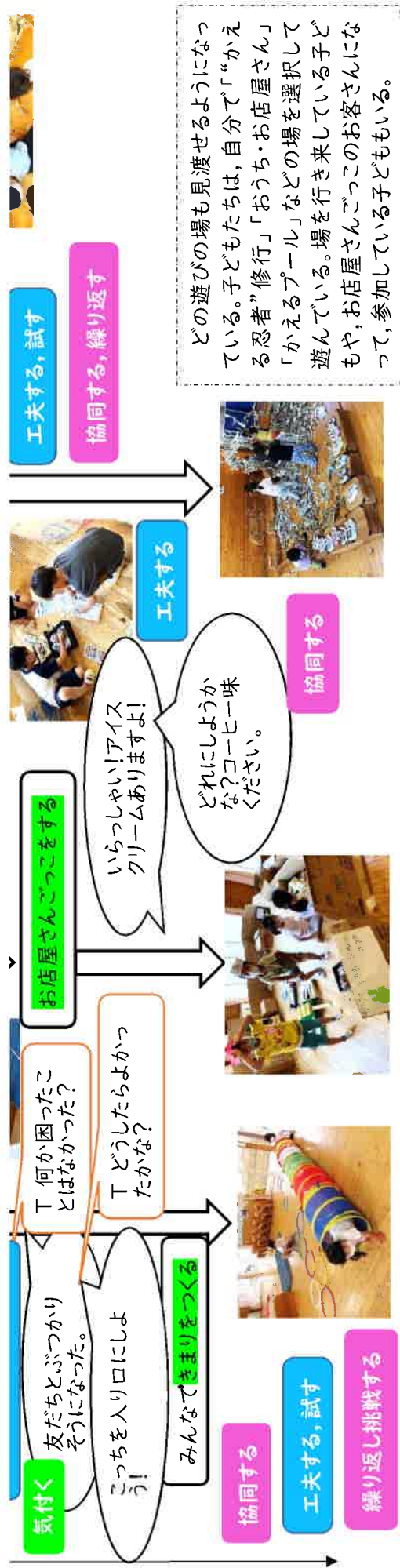
知識・技能の基礎 知識・技能の基礎

思考力・判断力・表現力の基礎

学びに向かう力・人間性等

子どもたちは、園庭で見つけたかえるを図鑑などで調べて、飼育し、触れたり餌をあげたりしながら、毎日様子を観察している。保育者は、かえるを飼育して気付いたことを出し合ったり、かえるが出てくる絵本(紙芝居)や歌、体操を保育に取り入れたりして、子どもたちのかえるへの興味・関心を支えている。





どの遊びの場も見渡せるようになっている。子どもたちは、自分で「“かえる忍者”修行」「おうち・お屋さん」「かえるプール」などの場を選択して遊んでいる。場を行き来している子どもや、お屋さんごっこのお客さんになって、参加している子どももいる。

□ 子どもの思いが実現できるような道具（新聞紙・大型積み木・段ボール箱など）や場の準備、使いたいときに自分たちで出して遊べるような道具の配置、状況に応じたタイミングでの素材や道具の提示を行う。

◇ かえるの興味をもち、友だちとイメージを共有して楽しめるような共通の経験をさせる場を設定する。

◇ かえるの飼育で気付いたことを共有する場 ・かえるがでてくる絵本の読み聞かせ、かえるの歌を歌う、かえるの体操等の経験 等

◇ 遊びが発展していくように、様子をしながら言葉をかけたり、子どものつばやきや気付きに共感したりして、周りに広げる。

◇ 共通の目的を意識して遊びを進められるように、振り返りの場をもち、思いや困りを出し合い、みんなで共有したり、相談したりするように促す。

**【本活動・遊びで着目したい「幼児期の終わりに育ってほしい姿」】**

自立心

協同性

言葉による伝え合い

道徳性・規範意識の芽生え

友だちと一緒にかえるになりきって遊ぶ中で、「かえるプール」「かえるのおうち」という共通のイメージをもつ。互いの願い、考えなどを共有し、「もっと～したら」「～してみたらどうか」と考えを伝え合う中で、その実現に向けて、イメージが広がり、工夫したり、協力したりして、楽しんでいる。

「～してみたい」という自分のイメージや願い、遊びの中で気付いたことや困りなどを言葉にして伝え合う中で、相手の話を聞いて理解したり、共感したりしている。言葉にして伝え合うことで、協同性につながり、一緒に遊ぶ楽しさが増している。

**【小学校以降へつながる資質・能力】**

<p>《知識・技能の基礎》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かえるの生態を、図鑑などで調べて理解する。</li> <li>新聞紙や段ボールなど、いろいろな素材の性質に気づき、イメージに合わせてつくる。</li> <li>用具の使い方を知り、使って体を動かす。</li> </ul>	<p>《思考力・判断力・表現力の基礎》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試したり工夫したりする。</li> <li>友だちの考えに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさを知る。</li> <li>自分なりの表現をする。</li> <li>活動を振り返り、次への見通しをもつ。</li> </ul>	<p>《学びに向かう力・人間性等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好奇心をもち、主体的に遊ぶ。</li> <li>目的を共有し、話し合ったり、時には折り合いをつけたりして協力する。</li> </ul>
---	---	---

## 遊びのプロセス 幼②

## 竹田市立南部幼稚園 6月中旬(6月15日～20日)「シャボン玉あそび」

【ねらい】自分なりに考えたり、気づいたことを友だちと伝え合ったりしながら、試行錯誤して遊ぶことを楽しむ。

【内容】友だちと一緒に、シャボン玉液作りや、シャボン玉遊び用の道具作りをして楽しむ。

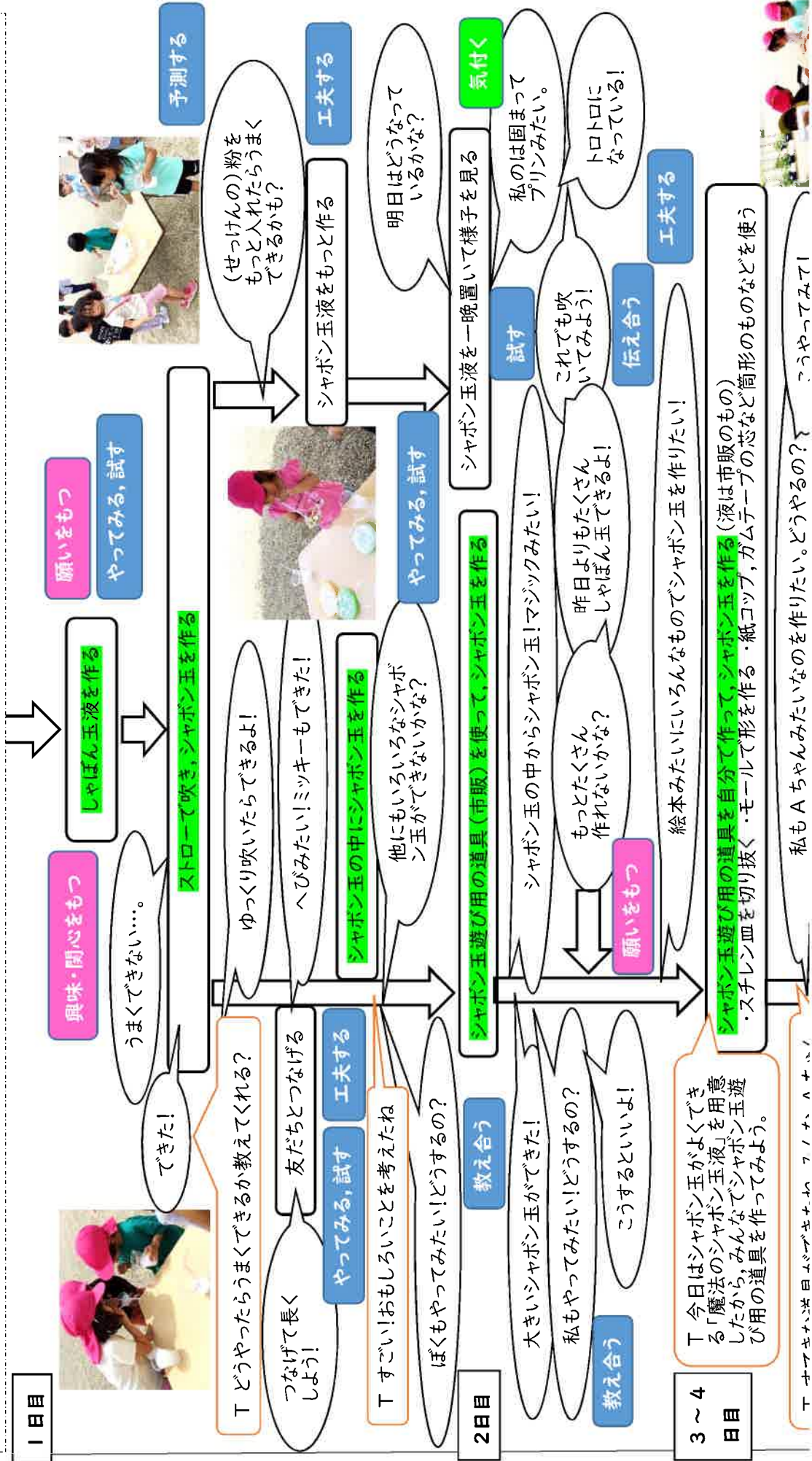
【遊びのプロセス】 \*遊びの中で育まれている資質・能力を次のように表している

知識・技能の基礎 知識・技能の基礎

思考力・判断力・表現力の基礎


学びに向かう力・人間性等

子どもたちは、絵本「しゃぼんだま」を見て、シャボン玉液が自分でも作ることができると知り、「やってみよう」「できるかなあ」と興味をもち、「本当にできるかやってみよう」「わーい!実験!実験!実験!実験!」とシャボン玉作りへの関心を高めていった。



T シャボン玉遊びの道具作り





**予測する** ハートの形にしたらハートのシャボン玉ができるかな？

**教え合う**

あれ？丸になった…(何度も作ってみる)ハートじゃないんや…

**試す**

今度は四角にしてみよう！…あれ？また丸になった！

次は三角にしてみよう！…やっぱ丸になる！

**振り返る** 興奮・関心をもつ

見せて！見せて！すごい！私も作ろうっど！

トすごいことがわかったね！みんなにも教えてあげようよ！

シャボン玉って、絶対丸になるんやなあ。

**気付く**

振り返りの場面で、友だちの話から枠の形が変わっても、シャボン玉の形は変わらないことを知り、他の子どもたちも枠の形を変えて試す姿が見られた。その後も、自分で考えたり、友だちのものを参考にしたりしながら自分で作った道具を使い、何度もシャボン玉作りをおこなっていた。また、自分たちで作ったシャボン玉液でも試してみても、「あんまりできないなあ〜」「ちょっとならできないよ。」「鏡みたいにならないと、シャボン玉はできないかいなあ〜。」などと、つぶやく姿も見られた。

- 子どもの「やってみてみたい」という思いが実現できるように、材料や道具(石けん、砂糖、スチレン皿、モール、紙コップやガムテープ・トレットペーパーの芯など様々な大きさの筒状のものなど)の準備、使いたいときに自分たちで出して遊べるような配置・遊びの状況に応じたタイミングで素材や道具の提示を行う。
- ◇シャボン玉への興味をもち、友だちとイメージを共有して楽しめるような経験(シャボン玉の絵本や歌など)を設定する。
- ◇遊びが発展していくように、子どもの気付きや考えに共感して、まわりに広げていく。
- ◇試行錯誤する楽しさを味わうとともに思いを実現するために「どうしたらいいか」を子どもと一緒に考える。
- ◇共通の目的を意識して遊びを進められるように、振り返りの場では、作ったものを紹介したり、気付きや考えを出し合ったりして、みんなで共有するようにする。

□環境の構成・  
◇援助のポイント

**【本活動・遊びで着目したい「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」】**

**思考力の芽生え**

シャボン玉に不思議さや面白さを感じ、いろいろなシャボン玉を作ってみたいという願いをもち、自分なりに考えたり、予測したり、工夫したりしながら、シャボン玉の液作りや道具作りを行っている。繰り返し試す中で、シャボン玉を作る方法やシャボン玉の性質に気付くなど、科学的思考力が芽生えている。

**言葉による伝え合い**

シャボン玉遊びをする中で、感じたり考えたりしたことを言葉にする、自分のわからないことや知りたいことを尋ねる、シャボン玉や道具の作り方を友だちに説明するなどして活動が共有されている。自分の気付きや考えを友だちに伝えようとすることで、自分の考えがまとまったり、深まったりするようになり、思考力の芽生えも育まれている。

**協同性**

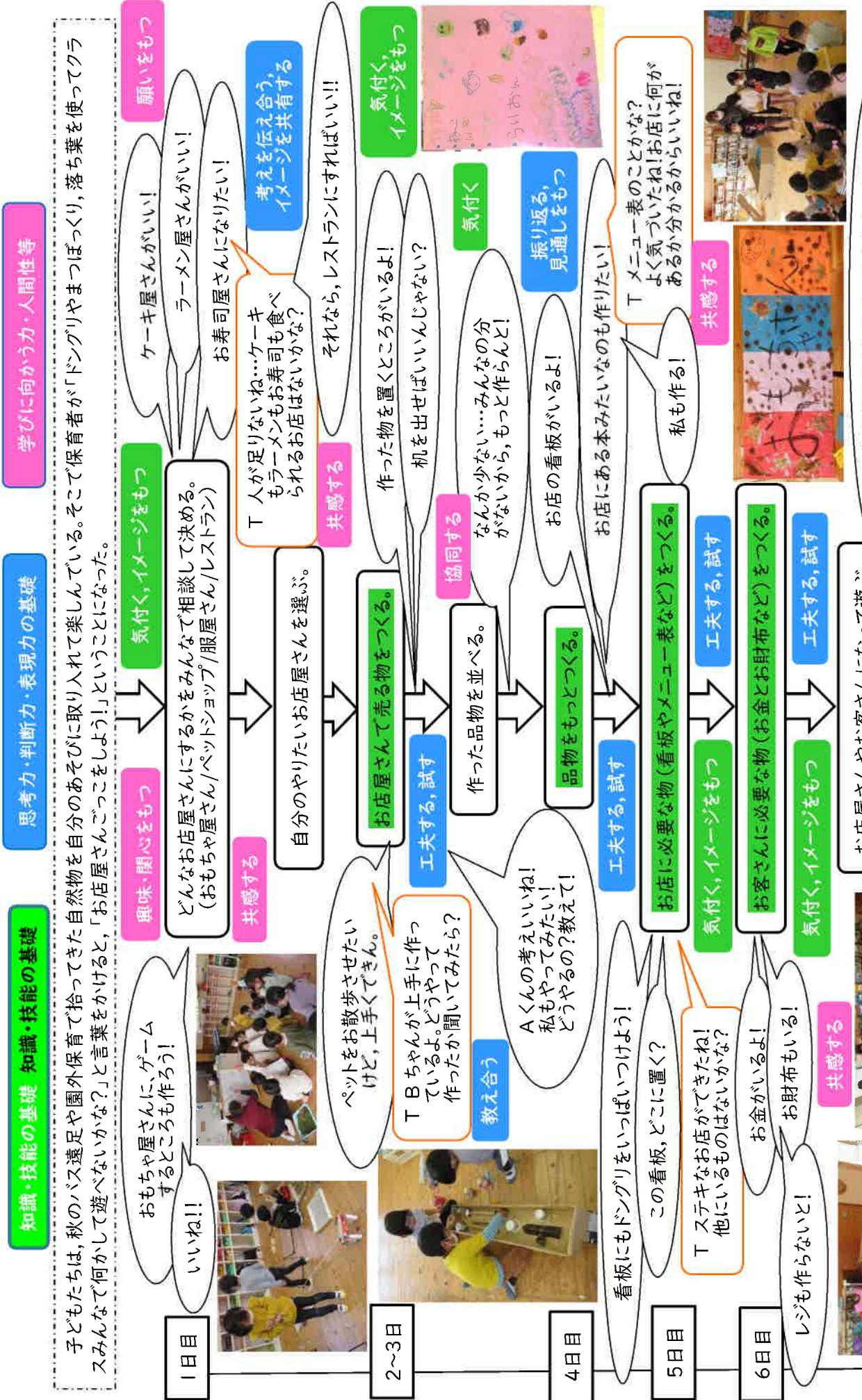
**【小学校以降へつながる資質・能力】**

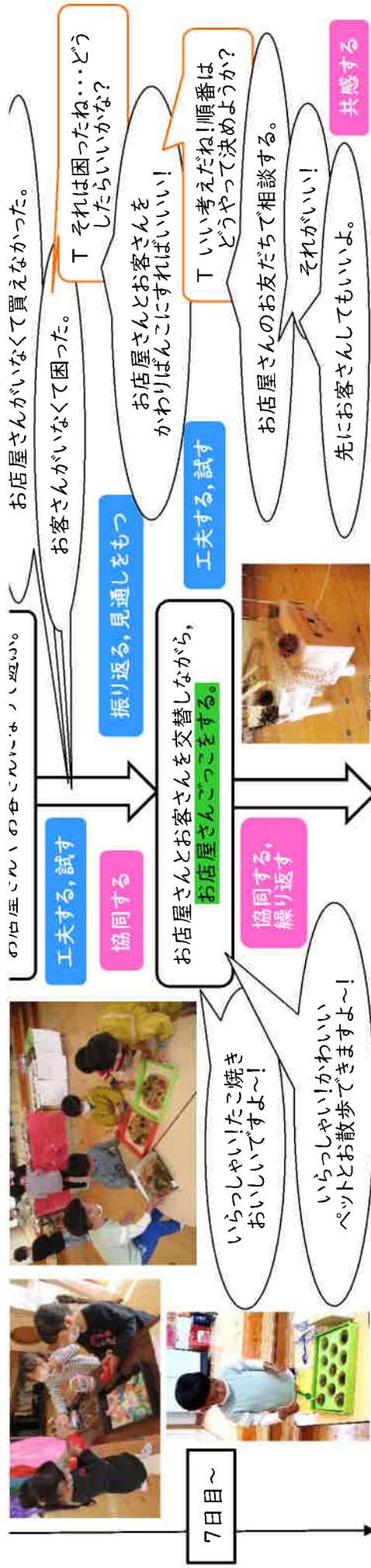
<p>《知識・技能の基礎》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石けんと砂糖を使ったシャボン玉液の作り方が分かる。</li> <li>・シャボン玉の性質に気づき、法則性が見える。</li> <li>・いろいろな道具を使って、シャボン玉を作る。</li> </ul>	<p>《思考力・判断力・表現力の基礎》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなやり方を試したり、工夫したりする。</li> <li>・予想したり比較したりする。</li> <li>・友だちの気付きや考えに触れ、自分の遊びに取り入れる。</li> </ul>	<p>《学びに向かう力・人間性等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好奇心や探求心をもつ。</li> <li>・何度もやってみる。</li> <li>・うまくいかなくてもあきらめずにする。</li> </ul>
--	--	---

# 遊びのプロセス 幼③

## 竹田市立南部幼稚園 11月上旬(11月2日~15日) 「秋のお店屋さんごっこ」

【ねらい】秋の自然物を使って遊びに取り入れ、友だちと考えを出し合い、工夫したり協力したりしながら、遊びを進めていく楽しさを味わう。  
 【内容】秋の自然物を使って、友だちと一緒に「お店屋さんごっこ」を楽しむ。  
 【遊びのプロセス】\*遊びの中で育てられている資質・能力を次のように表している





お店屋さんがいなくて困った。  
お客さんがいなくて困った。

T それは困ったね... どうしたらいいかな?

お店屋さんとお客さんかわりばんこにすればいい!

T いい考えだね! 順番はどうやって決めようか?

お店さんのお友だちで相談する。

それがいい!

先にお客さんしてもいいよ。

共感する

□ 環境の構成

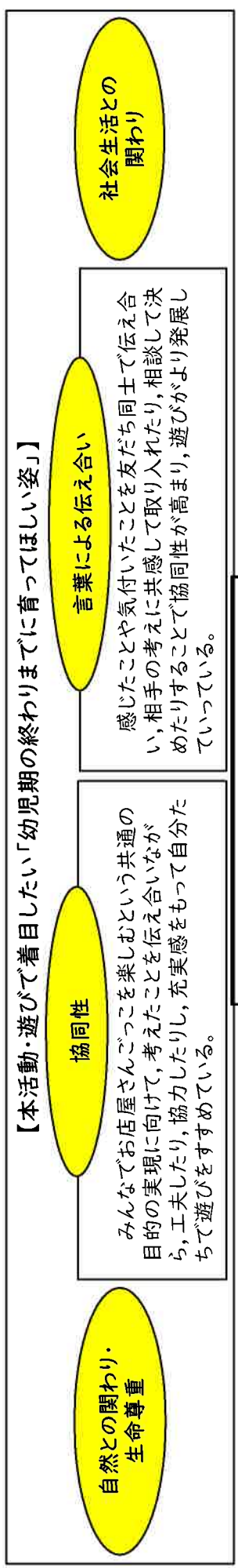
◇ 援助のポイント

□ お店屋さんや秋の自然物に関する絵本を読み聞かせたり、絵本コーナーに設置して自由に見たり読んだりすることができるようにする。

□ 子どもたちが遊びやすいように、拾ってきたドングリを茹でたり、落ち葉を新聞紙に挟んで押し葉にしたりするなどの下準備をする。また、子どもたちの発想が豊かになるように十分な量を用意するとともに、使いやすいように種類ごとに分けて配置する。

□ ドングリやまつぼっくりなどの自然物や、空き箱などの廃材、セロテープなどの道具を使い、子どもが自由に遊ぶように配置するとともに、子どもが発展していくように、様子をしながら声をかけたり、子どもの思いや気持ちに共感したりして、周りに広げる。

◇ 共通の目的を意識して遊びを進められるように、振り返りの場では、作った物を紹介したり、気持ちや考えを出し合ったりして、みんなで共有できるようにする。また、困りに対しては、「どうしたらいいか」をみんなで考えたり相談したりするように促し、解決策を子どもと一緒に考える。



【小学校以降へつながる資質・能力】

《知識・技能の基礎》	《思考力・判断力・表現力の基礎》	《学びに向かう力・人間性等》
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お店屋さんごっくに必要な物に気付く。</li> <li>・お店屋さんごっくに必要な物を作るために、いろいろな素材の性質や道具をうまく使い、自分のイメージを実現させていく。</li> <li>・お店屋さんとお客さんのやり取りを楽しみながら、関わり方に気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試したり工夫したりする。</li> <li>・自分なりの表現をする。</li> <li>・友だちの考えに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさを知る。</li> <li>・活動を振り返り、次への見直しをもったり、遊びをよりよくするためにどうしたらいいかを考えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好奇心や探求心もち、主体的に遊ぶ。</li> <li>・目的を共有し、話し合ったり、時には折り合いをつけたりして協力する。</li> <li>・友だちのよさに気付き、自分も取り入れて遊ぶ。</li> </ul>

# 遊びのプロセス 幼④ 竹田市立南部幼稚園 12月上旬(12月5日~15日) 表現あそび「南幼ソーランをしよう！」

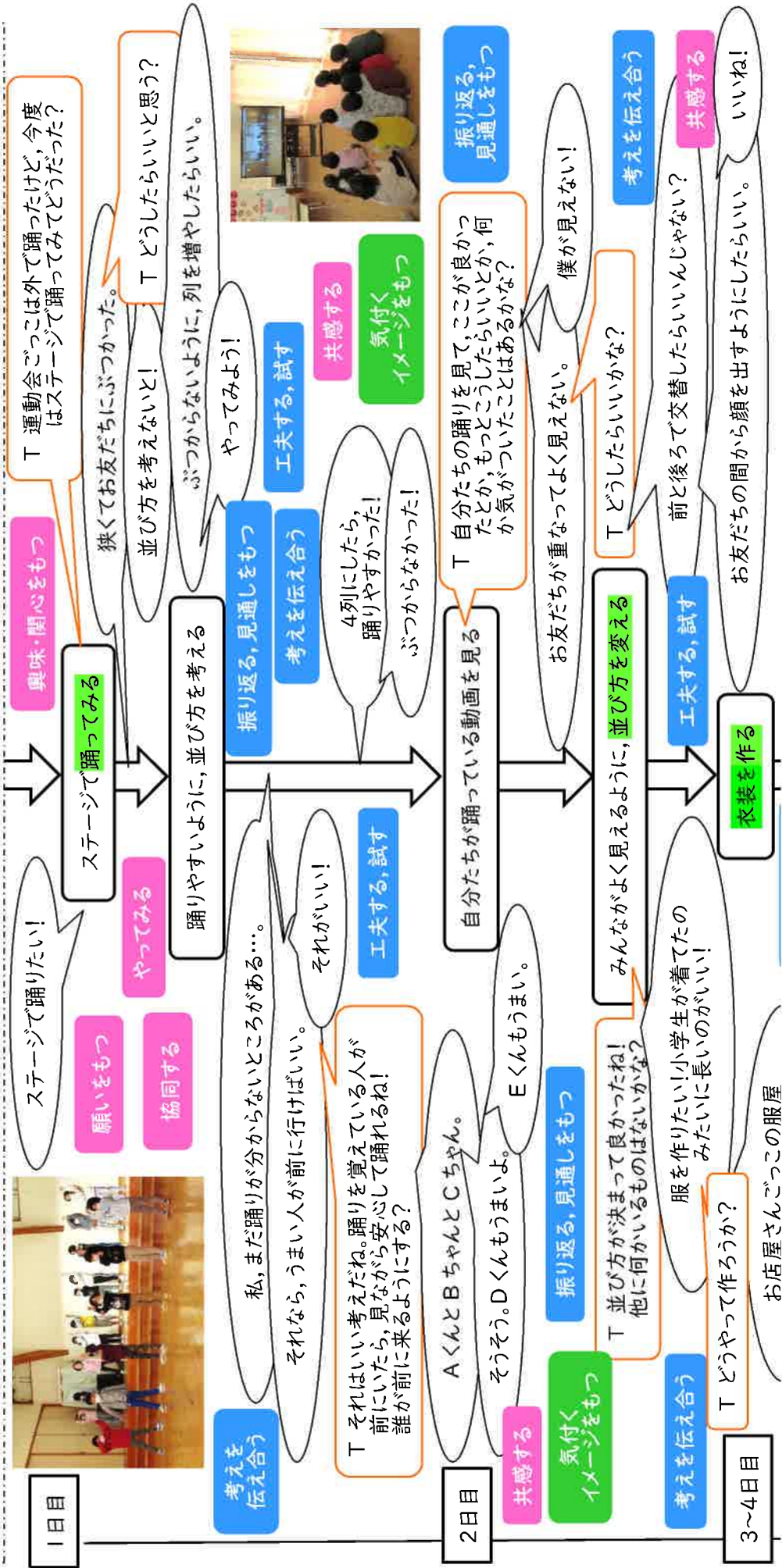
【ねらい】共通の目的に向かって考えを出し合い、工夫して表現することを楽しむ、みんなで創りあげていく充実感を味わう。

【内容】発表会に向けて、踊りの内容や見せ方を自分たちで考え、工夫しながら、クラス全員で表現あそびを楽しむ。

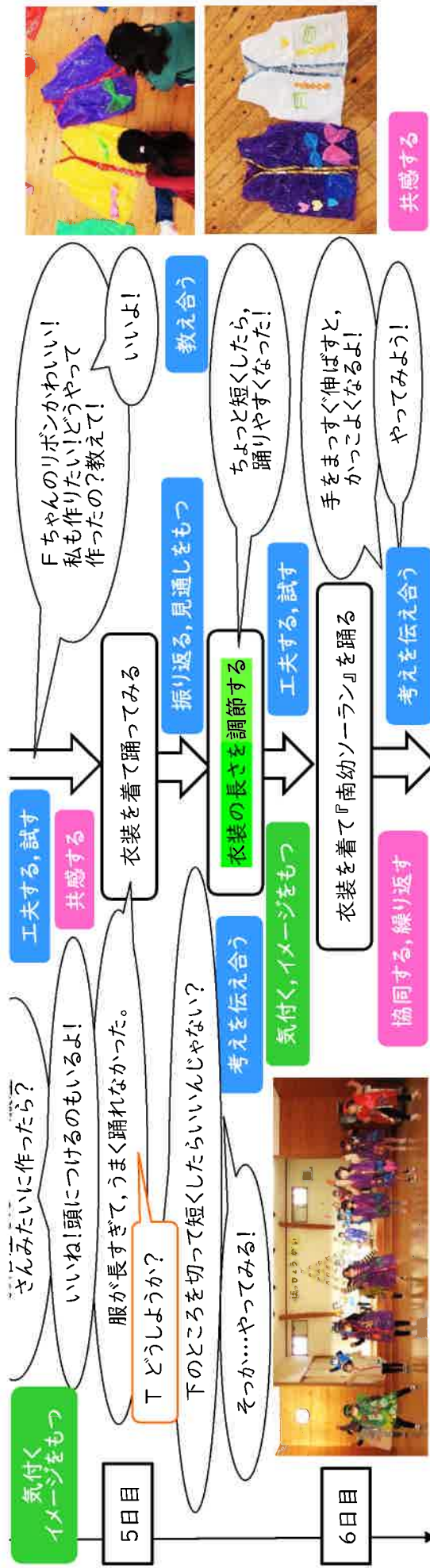
【遊びのプロセス】\*遊びの中で育まれている資質・能力を次のように表している



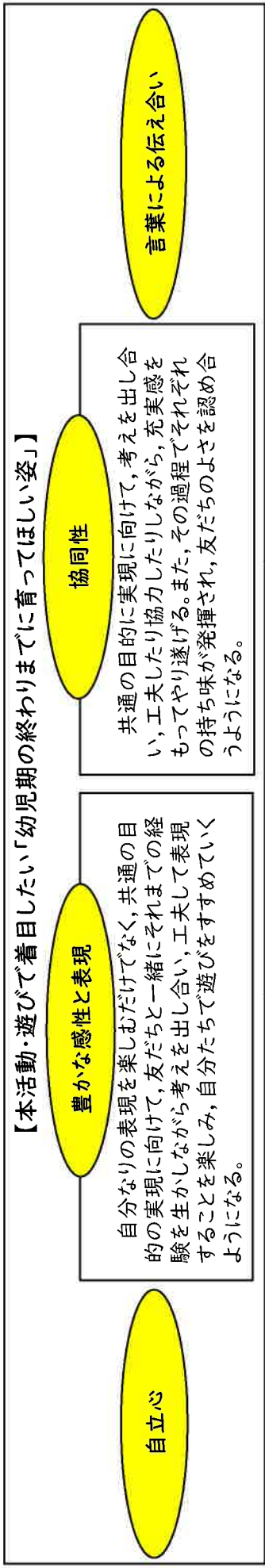
9月の幼小合同運動会に参加した子どもたちは、小学生の全校リズム『南小ソラン』に憧れをもち、自分たちも「踊りたい!」という願いをもった。保育者が小学校からCDを借りてくると、毎日自分たちで曲をかけ、友だち同士で教え合いながら夢中になって踊る姿が見られた。また『運動会ごっこ』でも、『南幼ソラン』としてプログラムに取り入れ、クラス全員で楽しんだ。11月になり、発表会に向けての表現あそびを楽しむ中で、子どもたちは『「南幼ソラン」をおうちの人の人に見てもらいたい!』というさらなる願いをもち、発表会のプログラムにも取り入れることになった。



お店屋さんごっこの服屋



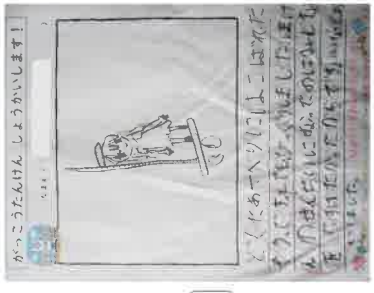
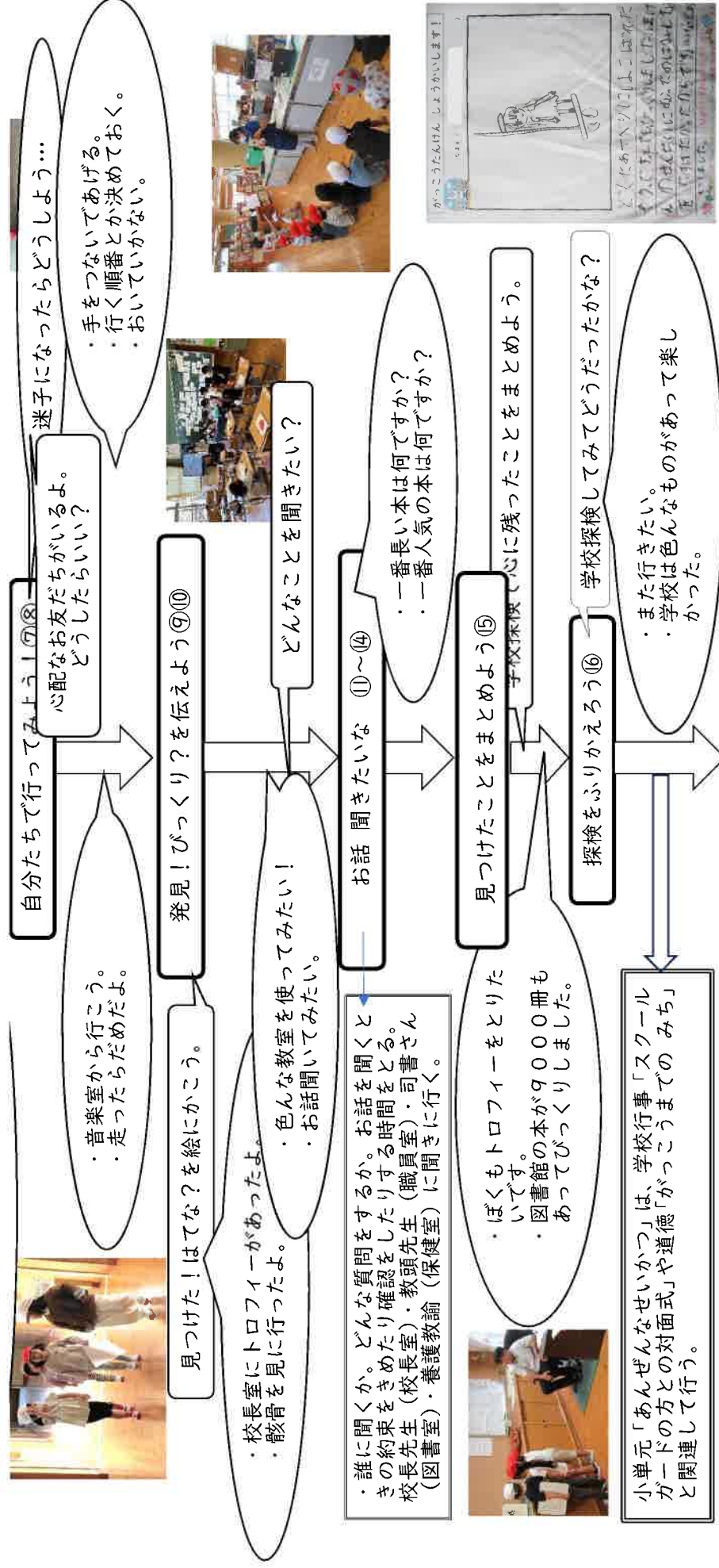
- 環境の構成
- ◇援助のポイント
- 子どもたちが興味をもった『南小ソラーンの CD と CD デッキを用意し、自分たちで曲をかけてくり返し楽しむことができるようにする。』
  - タブレットや大型提示装置を活用し、自分たちの姿を客観的に見ることで、もっと良くなるためにどうしたらいいかを考えられるようにする。
  - 普段から多様な素材や道具に触れられるよう、また、使いたい時に自分たちで出して遊べるように配置しておくとともに、子どもの要望や状況に応じたタイミンングで必要な素材や道具を提示する。
  - ◇子どもたちがこれまでの自分の経験をもとに考えたり、工夫したりすることができるよう、タイミンングを見て声をかけるようにする。
  - ◇保育者から働きかけるのではなく、振り返りの場をもち、子どもたちの困りや気づきからどうしたらいいかをみながら考えるようにする。



**【小学校以降へつながる資質・能力】**

<p>《知識・技能の基礎》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表会のプログラムとして、みんなの踊りがお客さんによく見えるようにするにはどうしたらいいか、もっとかっこよく踊るためにどうしたらいいかに気付き。</li> <li>踊りに必要な衣装を自分たちで作る、必要に応じて調整する。</li> </ul>	<p>《思考力・判断力・表現力等の基礎》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>気付いたことを自分なりの言葉で表現し、伝える。</li> <li>これまで経験してきたことを活用し、もっと良くなるためにどうしたらいいかを考え工夫する。</li> <li>友だちの気づきや考えを自分も取り入れ、遊びをさらに発展させたり、新しい考えを導き出したたりする。</li> </ul>	<p>《学びに向かう力・人間性等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好奇心をもち、主体的に遊ぶ。</li> <li>目的を共有し、話し合ったり、時には折り合いをつけたりして協力をする。</li> <li>友だちの気づきや考えに共感したり、友だちのよさに気づき、認めたりする。</li> </ul>
--	---	---





グループで行く学校探検では、自分たちだけで行くことへの不安な声が出されたが、「どうしたらいいかな?」と問い返すことで、自分たちでよい方法を考え出していた。不安な気持ちだった子どもも、助けてくれるという気持ちが分かって安心して探検できた。子どもどうしのつながりも芽生えた。

◇園の様子を交流し、「小学校はどうかかな?」と問うことで興味・関心を抱かせるようにする。また、安心感をもって探検できるように、園での過ごし方や約束を交流してから、小学校での新しいきままりを確認していく。小学校も園の延長であることに気づかせる。  
◇全体での探検では、見たものがわかるように教師が撮っておく。グループ活動では、それぞれが選んで探検したり、見てきたものに違いがあるもので、自分たちでタブレットを使って写真を撮らせ。事後の振り返りでは、映像を使い共有していく。  
◇振り返りを毎時間行い感想やもつとやってみよう?C:先生たちにお話聞いてみたかった。T:じゃあ、お話聞きたい! (例: T: もっとやってみよう? C: 行きたい!)

指導上の留意点

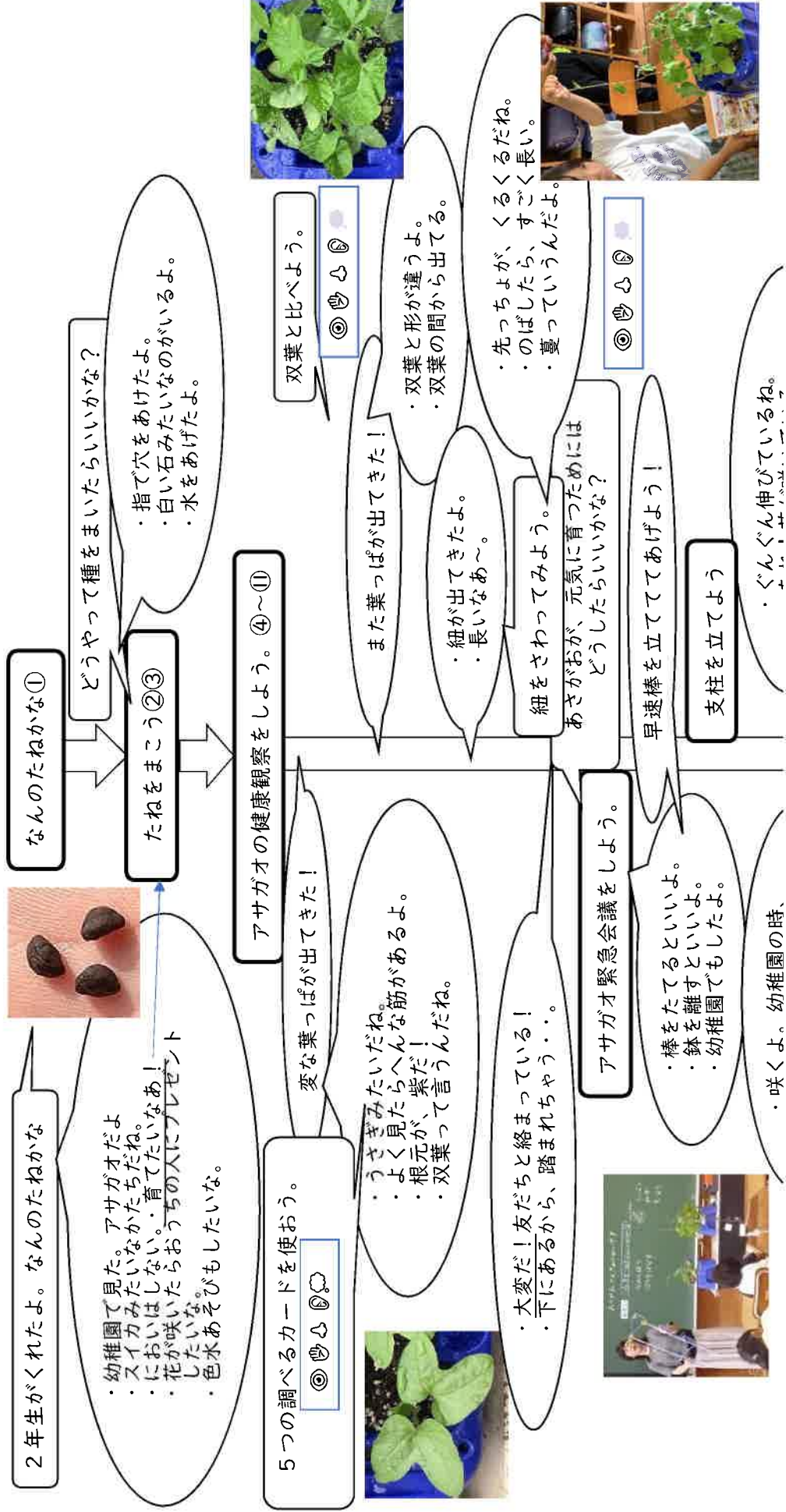
<p>本単元を通じて資質・能力</p>	<p>《知識・技能》 学校を探索する活動を通して、学校生活は様々な人や施設と関わっていること、学校生活でのきままりやマナーを守ると気持ちよく過ごせることがわかるようにする。</p>	<p>《思考力・判断力・表現力等》 学校を探索する活動を通して、学校の様子や学校生活を支えている人々や友だち、通学路の様子やその安全を守るようになっている。</p>	<p>《学びに向かう力・人間性等》 学校を探索する活動を通して、楽しく安心して学校生活をした、より安全な登下校をしたりできるようにする。</p>	<p>今後の学習とのつながり ○2年生 生活 「まちが大好きたんけんたい」 ○3年生 社会 「わたしたちの町と市」</p>
---------------------	--	--	--	---

# 学びのプロセス～小②～

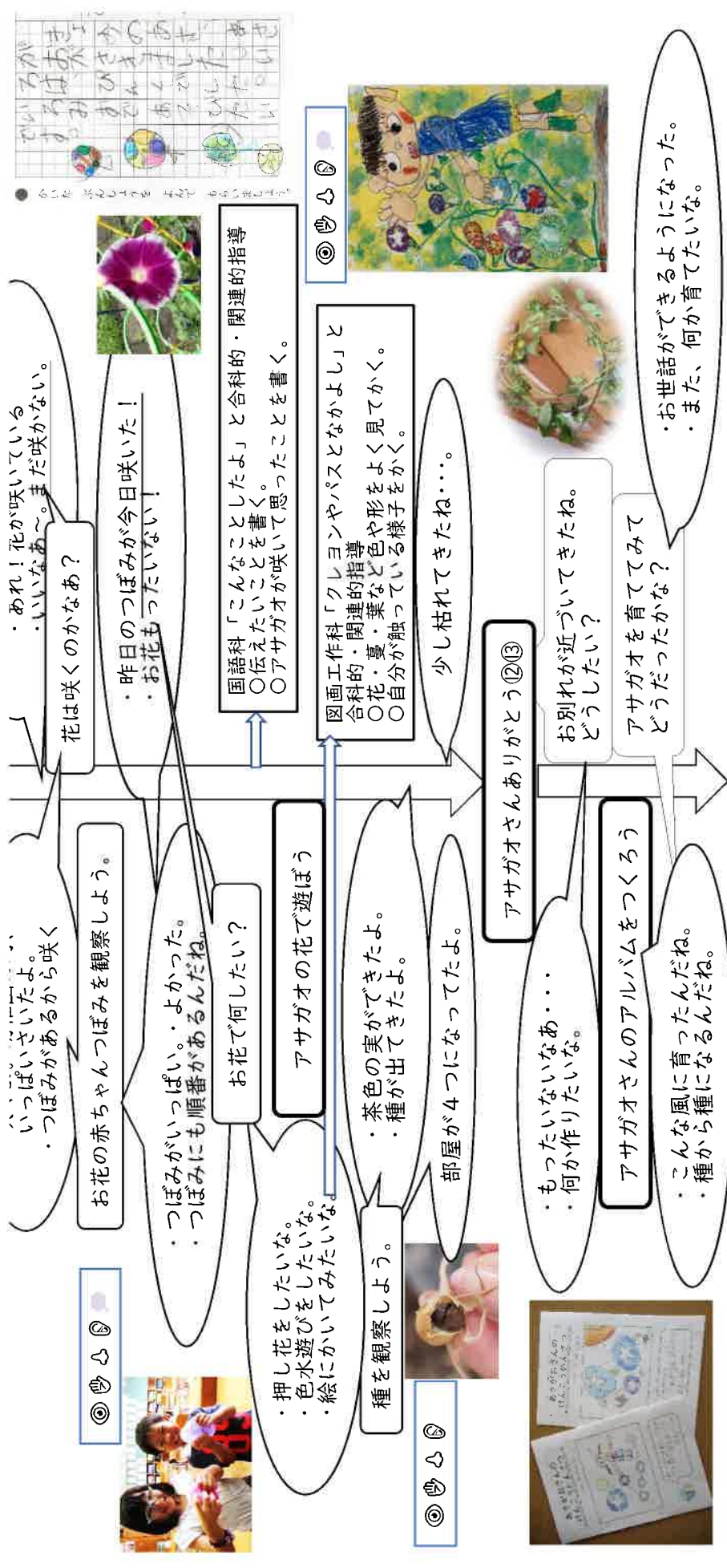
## 竹田市立南部小学校 1年生 5～8月 単元名「きれいにさいてね わたしのはな」(13時間)

単元目標	アサガオを育てる活動を通して、植物が育つ場所、植物の変化や成長の様子に関する働きかけができて、育てている植物に合った世話の仕方や、植物が自分と同じように生命をもっていきながら成長していることに気づき、育つへの親しみをもち、大切にすることができている。		
内容	身近な人々・社会及び自然にかかわる活動に関する内容 自分自身の生活や成長に関する内容 (7) 「動植物の飼育・栽培」 (8) 生活や出来事の伝え合い		
幼児教育からのつながり	自然との関わり・生命尊重	言葉による伝え合い	自立心
			思考力の芽生え

### 【学びのプロセス】\*○数字は、何時間目かを表す







◎ 少 凸 ⑤

国語科「こんなこととしたよ」と合科的・関連的指導  
○伝えたいことを書く  
○アサガオが咲いて思ったことを書く。



少し枯れてきたね...



アサガオさんありがとう②③



お別れが近づいてきたね。  
どうしたい?  
アサガオを育ててみて  
どうだったかな?  
お世話ができるようになった。  
また、何か育てたいな。

アサガオに名前を付けた時から、小さな友達のようにお世話を始めた。毎日水をやりながら、手定規を使って生長を喜んで、健康観察で見つけた葉や、つぼみなどの成長の様子を確かめたりしていた。なによりも、最後まで大切に育てている様子が見られた。

◇ 子どもの気付きから課題を設定  
→ 子どもの困りや不思議を課題にする  
→ その後の観察に生かす (例: C「つぼみにも色々ある。」 T「どれが一番に咲きそう?」 C「アイスクリームの上の部分が開いていっているよ」 「色が少しずつ出ているからこの順番!」、次の日 C「これ、もう咲くと思うよ! ソフトクリームだもん!」 など )  
◇ 子どものゴールイメージから図工「アサガオの絵をかこう」や国語「こんなこととしたよ (作文)」など合科的・関連的な指導を展開する。  
◇ 園や家庭で育てた経験を思い出させる時間を設ける。  
◇ 授業時間だけでなく、遊び込めるように色水遊び等を休み時間でもできるように準備をしておく。(自由遊びのイメージ)

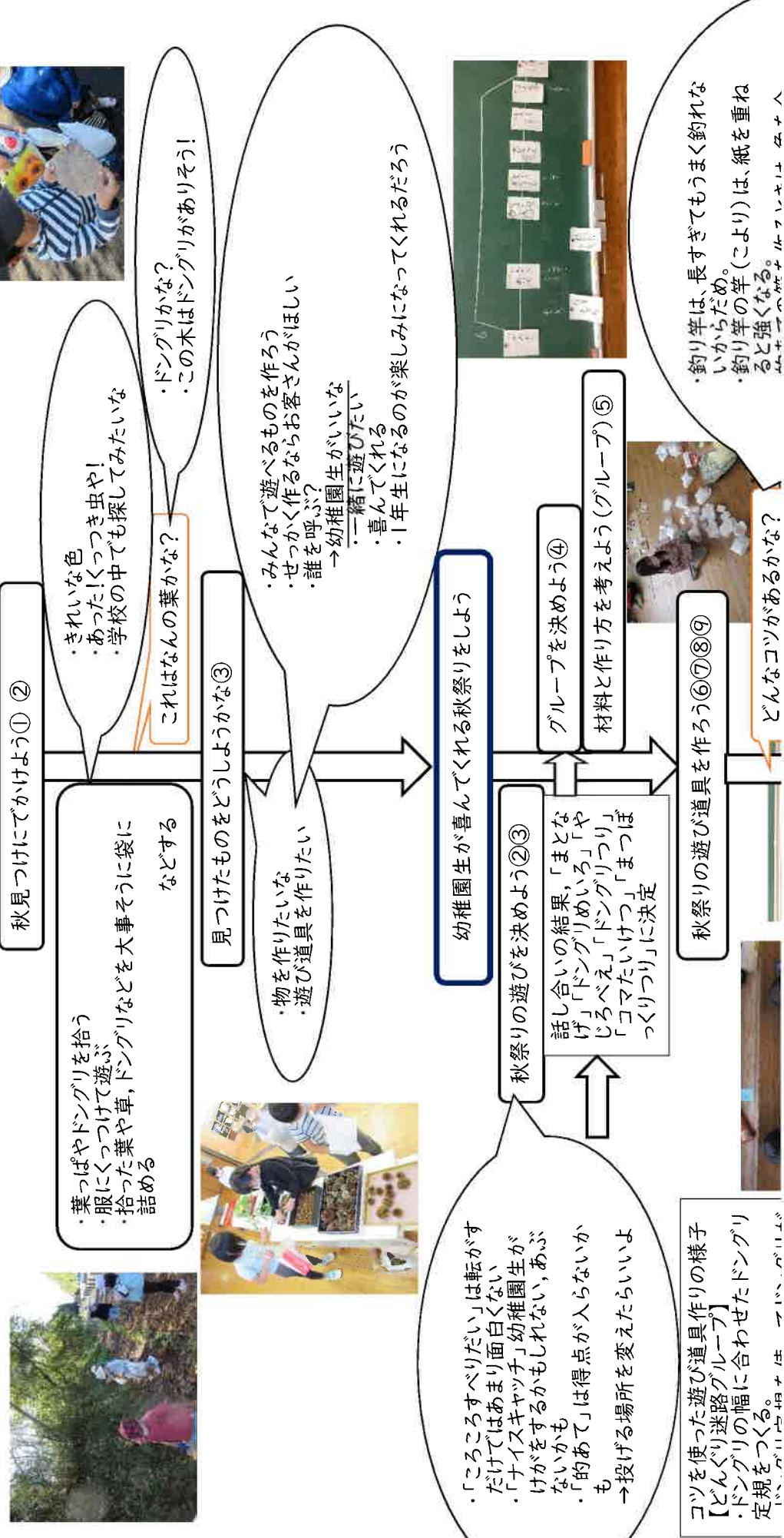
指導上の留意点

<p>本単元を通じた資質・能力</p>	<p>《知識・技能》 アサガオを育てる活動を通して、育てている植物に合った世話の仕方や、植物が自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気付いている。</p>	<p>《思考力・判断力・表現力等》 アサガオを育てる活動を通して、植物が育つ場所、植物の変化や成長の様子に関心をもった働きかけている。</p>	<p>《学びに向かう力・人間性等》 アサガオを育てる活動を通して、植物への親しみをもち、大切にしようとしている。</p>	<p>今後の学習とのつながり ○ 2年生 生活科 「めざせ野菜作り名人」 ○ 3年生 理科 &lt;植物の栽培&gt;</p>
---------------------	--	---	--	---

# 学びのプロセス～小③～竹田市立南部小学校 1年生 10月～11月 単元名「きせつと なかよし あき」(15時間)

単元目標	秋の自然を語感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見つけてことや、それらを使って遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりすることができ、自然や生活の様子の変化、自然のおもしろさや不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことなどについて気づき、季節を取り入れて遊びや生活を楽しく作り出すことができるようにする。
内容	身近な人々、社会及び自然にかかわる活動に関する内容 (4) 公共物や公共施設の利用 (5) 季節の変化と生活 (6) 自然物を使った遊び 自分自身の生活や成長に関する内容 (8) 生活や出来事の伝え合い
幼児教育からのつながり	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: yellow;">自然との関わり・生命尊重</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: yellow;">協同性</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: yellow;">社会生活とのかかわり</div> </div>

【学びのプロセス】\*○数字は、何時間目かを表す



- トンソリ定規を使ってトンソリが通る道をつくる
- 通り道に沿って、壁をつくる。
- 行き止まりやトンネル、お化けの部屋にするために、屋根を作った暗闇にするなど工夫をし始める。
- スタートやゴールを書き添えてあげたらわかりやすくなるからと作りだす。



交流会の様子と秋祭りのまとめ

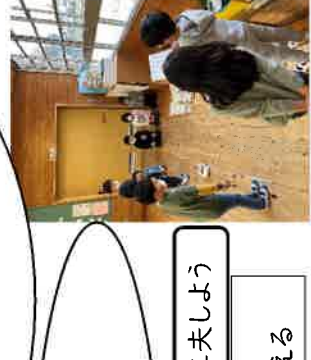


自分たちで遊んでみよう⑩⑪⑫⑬

遊ぶとき、どんなことに気を付けたらいいかな？

遊びのルールをつくろう(グループ)

- ・町めく(の)相を作るときは、月を台わせるときにきれいに作れる。
- ・ドングリごまは、持つ棒の長さを短くするとよくなる。
- ・道が狭かったらドングリが通らない。→ドングリの大きさの道をつくる。



幼稚園生が楽しめるようにルールをつくろう

- ・わかりやすい方がいい
- ・けんかにならないように など

作ったおもちゃで遊んで、もっと楽しく遊べるように工夫しよう

- ・お店屋さんとお客さんに分かれてやってみる
- ・やってみて、変えた方がいいところを見つけて伝える



・「やじろべえ」は勝敗が決まらないうから、30秒できたら合格にしよう。

・「まどあて」は担当も決めた方がいいね。得点を数える人と、やり方を教える人に分かれよう。

秋祭りをしよう(幼小交流)⑭⑮\*活動の計画等は、交流活動資料を参照

長い時間をかけての活動だったが、「幼稚園生が喜んでくれる秋祭りをしよう」というめあてのもと、子どもたちは自分たちで話し合い、工夫し、遊びを創り出そうとしていた。単元の振り返りでは、「作るのが楽しかった。」「幼稚園生が楽しかった。」「ルールの説明を考えるのが難しかった。」「いろんな秋が見つけた。」といった感想が出された。どの子ども、大変なこともあったがお客さんが喜んでくれたことが自信につながっている様子が見られた。

- 指導上の留意点**
- ◇自然の中で遊んだり、自然のものをたくさん見つけたりできるように、適した場所に、「秋見つけ」に出かける。
  - ◇自然物を使って遊ぶ活動ができるように、見つけてきたものがよくわかるように展示したり、作るのに十分な時間を保障したりする。
  - ◇「秋祭り」の遊びを決める際は、思考ツールを用い、話し合いにいかせるように配慮する。
  - ◇同じ遊び道具を作るグループで活動できるように配慮する。
  - ◇道具を使うときは、安全に気を付けるように指導する。
  - ◇作り方のヒントになるように、参考資料を用意しておく。

<p><b>本単元を通じた育つ資質・能力</b></p>	<p>《知識・技能》 秋の自然の中で遊んだり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によつて生活の様子が変わること、自然遊びの面白さや自然の不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことに気付いている。</p>	<p>《思考力・判断力・表現力》 秋の自然の中で遊んだり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見つけて、遊びや遊びに使うものを工夫してつくっている。</p>	<p>《学びに向かう力・人間性等》 秋の自然の中で遊んだり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、季節を生活に取り入れ、みんなと遊びを創り出そうとしている。</p>	<p><b>今後の学習とのつながり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「きせつと なかよし ふゆ」</li> <li>○2年生 生活科 「作ってためして」</li> <li>○3年生 理科 「しぜんのかんざつ」</li> </ul>
------------------------------	---	--	---	---

## 7. 幼小連携・交流活動

### R6年度 幼小連携 全体計画

#### 【ねらい】

- ◎園と小学校との連携を深めることにより、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図る。
- 園児と小学生が交流活動を通して、互いに親しみをもつとともに、次のような姿が見られるようにことを期待する。
  - ・園児は小学校への期待や憧れの気持ちをもったり、自分たちの遊びにいかしたりする。
  - ・小学生は園児への思いやりの気持ちをもったり、相手のことを考えながら自分の力を発揮したりする。
- 園と小学校の教職員間で、保育参観や授業参観、合同の研修会等をもつことにより、子どもの実態や指導のあり方など互いの教育についての理解を深め、教育活動の改善・充実を図る。

#### 【年間活動計画】

月	交流内容【交流児】	研修計画【教職員】
4月	お見知り遠足 【5年生と幼稚園児】	
5月	交流活動 【1年生と幼稚園児】	第1回幼小合同研修(全教職員) (架け橋プログラムの意義・カリキュラム確認) 交流活動計画・ふり返り(幼・小1 担任間)
6月		中学校校区ブロック別研修① 第1回 互見保育・互見授業
7月	交流活動 【1年生と幼稚園児】	交流活動計画・ふり返り(幼・小1 担任間)
8月		
9月	運動会合同練習【全校児童】 幼小合同運動会【全校児童】	
10月		第2回幼小合同研修(全教職員) (互見保育・互見授業ふり返り・2学期以降の計画)
11月	交流活動 【1年生と幼稚園児】	交流活動計画・ふり返り(幼・小1 担任間) 第2回 互見保育・互見授業 中学校校区ブロック別研修②
12月	交流活動 【5年生と幼稚園児】	交流活動計画・ふり返り(幼・小5 担任間)
1月	交流活動 【1年生と幼稚園児】	交流活動計画・ふり返り(幼・小1 担任間)
2月	入学説明会 【5年生と入学予定児】	第3回幼小合同研修会(全教職員) (架け橋期カリキュラム検証、交流活動まとめ)
3月		子ども理解の会(全教職員)

### R6年度 南部幼小交流活動年間計画

幼稚園のねらい	交流する中で小学生に親しみをもち、一緒に活動することを楽しむ。
小学校のねらい	交流する中で園児に親しみをもち、一緒に活動することができる。

月	交流内容【交流児】	幼稚園のねらい	小学校のねらい
4月	お見知り遠足 【5年生と幼稚園児】	小学生とゲームをして遊んだり、5年生と一緒に手をつないで遠足に行ったりすることを通して、小学生に親しみを感じる。	幼稚園児の自己紹介を聞いたり一緒に遊ぶ、一緒に手をつないで遠足に行ったりすることを通して、園児に親しみをもつことができる。
5月	よろしくねの会 【1年生と幼稚園児】	1年生や1年生の先生を知り、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。	近くにいる幼稚園児を意識して遊んだりかかわったりすることができる。
7月	みんなで七夕飾りをつくろう 【1年生と幼稚園児】	自分で考えたり、小学生と一緒に作ったりすることを楽しみ、きれいな七夕飾りができたことへの達成感を感じる。	一緒に七夕飾りを作って飾ることを通して、共に作ったという達成感を味わうことができる。
9月	運動会合同練習【全校児童・幼稚園児】 幼小合同運動会【全校児童・幼稚園児】	小学生と一緒に応援合戦をしたり、互いの競技を応援しあったりすることで、小学生に憧れをもち、意欲的に取り組もうとする。	幼稚園児と応援合戦をしたり、競技を見たり応援したりすることで、頑張りを認め合うことができる。
11月	秋祭りをしよう 【1年生と幼稚園児】	1年生の作った遊具で遊ぶ楽しさを味わい、秋の自然物でいろいろな遊びができることに気づく。	秋見つけで集めた材料を使った遊び道具を使って、一緒に遊んだり遊びを工夫したりする。
12月	お楽しみ会をしよう 【5年生と幼稚園児】	5年生と遊んだり話したりすることを通して、親しみや憧れの気持ちをもつ。	幼稚園児と遊んだり話したりすることを通して、関わりを深め思いやりの気持ちをもつことができる。
1月	凧をつくってあそぼう 【1年生と幼稚園児】	自分で考えたり、互いに手伝ったりして凧を作り、凧が空に上がったことへの達成感を感じる。	グループでお互いに手伝ったり、話し合ったりしながら凧を作り、凧を飛ばすことができる。
2月	学校って どんなところ？ 【5年生と入学予定児】	5年生と一緒に遊んだり、学校探検をしたりすることで、小学生になることへの期待や小学校生活への意欲を高める。	入学予定児と一緒に遊んだり、学校探検をしたりすることで、最高学年としての意識や来年度への意欲をもつことができる。

#### ＜留意事項＞

- \*事前事後の打ち合わせを行い、ねらいの確認や振り返り等を行うことで次の交流にいかす。
- \*特別な配慮を必要とする子どもへの適切な支援について共通理解を図る。

活動名	「あきあそびまつり」をしよう！		2023年12月20日(水) 1年教室
	幼稚園児		1年生
ねらい	(共通):◎一緒に活動することに意欲を持ち、秋の自然物を使ったあそびを楽しむ。 ◎交流する中で1年生に親しみを持ち、一緒に活動することを楽しむ。		
教育課程上のつながり	【Ⅲ期(9~12月)の内容】: ○小学生と触れ合い、親しみを感じる。 ○季節の変化に気づき、収穫を喜んだり、自然物を使っていろいろな遊びをしたりする。	1学期の内容:「きせつと なかよし あき」 『生活』:11月)	
この活動で育てたい姿	◆自分たちが考えたあそび以外にも、秋の自然物でいろいろなあそびができることに気づく。【知・技の基礎】 ◆1年生の話を聞き、ルールを守ったり、時には自分の気持ちを調整したりしながらあそびを楽しむ。【思・判・表の基礎】 ◆意欲的に遊ぶ中で、1年生に親しみや憧れの気持ちをもつ。【学び・人間性等】	◆みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片づけ、掃除、整理整頓をしている。【知・技】 ◆園児の様子を意識して、伝える方法や言葉を選んでいる。【思・判・表】 ◆おもちゃの楽しさを伝えたいという思いもち、すすんで触れ合い交流しようとしている。【主体的】	
時間	幼稚園児への援助	子どもの姿	1年生への援助
はじめの会をする(ドリームホール)【担当:釘宮】			
9:35	●1年生と一緒に楽しく過ごすことを伝え、安心して活動に参加できるようにする。 ●靴や荷物を置く場所を伝える。 (靴は靴箱下段、荷物はドリームホールのベンチ側に置く)	○ステージに向かって並ぶ。 ○元気よく挨拶をする。 ○今日の活動についての話を聞く。	●「幼稚園児に楽しんでもらう」という活動のめあての確認をする。 ●それぞれのグループごとに遊びの紹介をする。
秋遊び祭りを行う(1年教室、ワークスペース、学習室)【担当:釘宮】			
【秋の遊び祭りの場】 ○6つのグループ ①どんぐりごま②どんぐり迷路 ③どんぐり人形ペンダント ④どんぐり滑り台 ⑤秋のお弁当 ⑥つかみどり ⑦コロコロボックス ⑧キャッチぱっくり ⑨どんぐりコプター に分かれて順番にまわる。 ○グループで簡単に遊びのルールを聞く。 ○遊ぶ。 ○前半グループ後半グループに分かれてする。その間、何度でも遊べる。		【それぞれのグループのルール】 ①どんぐりごま→バトル場で友だちと闘うことができる。 ②どんぐり迷路→スタートからゴールに行けた人の勝ち ③どんぐり人形・ペンダント →買いに来てくれた人にわたす。 ④どんぐり滑り台→一番遠くまで転がったひとが勝ち。 ⑤あきのお弁当 →買いにきてくれた人にわたす。 ⑥つかみどり→たくさんつかめた人の勝ち。 ⑦コロコロボックス→どんぐりを入れて、下までたどりついたらゴール。 ⑧キャッチぱっくり→足で踏んでまっぱっくりをキャッチできたらオッケイ。 ⑨どんぐりコプター →3回投げた点が高い人の勝ち 今回は、前半後半に分かれてお世話をします。片方のグループは一緒に遊びます。遊び場に行ったら、カードにシールを貼ってもらう。	
9:45	●緊張や不安でできない子には、教師が寄り添い、ルールにはこだわらずさわたり遊んだりできるようにする。 ●様子を見守り、必要に応じて声をかけるようにする。	○ルールを説明する。 ○遊ぶ。 ○自由に何度もチャレンジする。	●ルールを説明する。場合によっては、やって見せる。 ●わかったかを確認して一緒に遊ぶ。 ●ルールはあるが、あまりこだわらず楽しんでもらうことを心がけるように促す。 ●幼稚園生に声をかける姿を褒めて認めるとともに、幼稚園児が困っていたら、教えてあげるように促す。

10:00	●ドリームホールで水分補給と休憩をとるように伝える。	○前半が終わったら、休憩を入れる。	●教室で水分補給と休憩をとるように伝える。
10:05	●すすんで遊びに取り組む姿を褒めて認め、気持ちよさを味わえるようにする。 ●教師を頼ろうとする子どもには、友だちの遊び方を見ることを伝え、どうしたらいいかを一緒に考えるようにする。	○幼稚園生→また遊んでいいことを伝える。 小学生→後半グループと交代する。 ○見本やルールを聞きながら、自分たちで遊ぶ。 ○友だち同士で「こうするといいい」と話しながら遊びを楽しむ。	●後半グループと交代する。 ●すすんで幼稚園生とかかわる姿を褒めて認め、気持ちよさを味わえるようにする。 ●困っている幼稚園児がいたら、「どうしたの」と聞き、何に困っているのかを言語化させる。そして教師に伝えたり手助けをしたりする。
振り返りをする。(ドリームホール) 【担当:釘宮・吉野】			
10:20	●子どもの言葉に共感するとともに、うまく話せない時は教師が思いを代弁して伝えるようにする。 ●また小学校にくることを伝え、次回の交流に期待をもてるようにする。	○感想を話したい人は前に並び、楽しかったことや気づいたことなどを話す。(1年生→幼稚園児) ○話している人の目を見て話を聞く。また、話が終わったら拍手をする。 ○次回の交流に期待を持つ。	●子どもの言葉に共感するとともに、うまく話せないときは代弁して伝えるようにする。 ●思ったこと、伝え合いでよかったことの2つの振り返りをするをつたえる。 ●入学説明会で授業を見に来ることや3学期にも交流会があることを伝え、次回に期待がもてるようにする。
10:35		○さよならをする。 ○見送り	

【環境設定】

◀幼稚園生が用意する物▶

- シューズ
- 名札
- 水筒
- あそびのカード

◀小学生が用意する物▶

- シューズ
- 名札
- 水筒
- 遊びの道具→設置済み



# 事前に計画を一緒に立てる

南都幼稚園・南都小学校交流活動計画

## 風をつくってあそぼう！ (幼小交流活動)

活動名	「風をつくってあそぼう！」		1月26日(木)
ねらい	共通	◎一緒に活動することに意欲を持ち、風づくりや風あげを楽しむ。	
ねらい	幼稚園児	◎交流する中で1年生に親しみを持ち、一緒に活動することを楽しむ。	
ねらい	1年生	◎交流する中で幼稚園児に親しみを持ち、一緒に活動することを楽しむ。	
教育課程上のつながり	幼稚園児	【IV期(1~3月)の内容】:◎日本の伝統文化に親しみ、生活の中に取り入れて遊ぶ。 …目的に向かって取り組む活動(1月):「風作り」(お正月あそび)	
教育課程上のつながり	1年生	【生活科】:「きせつと なかよし ふゆ」…「きたがせと あそぼう」(1~2月)	
この活動で育てたい姿	幼稚園児	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分なりに考えたり、友だちや1年生とやり方を教え合ったりしながら、風作りと風あげを楽しむ。</li> <li>●「風あげをして遊ぶ」という共通の目的をもち、気づいたことを伝え合ったり、一緒に作ったりしながら、友だちや1年生とのかわりを楽しむ。</li> <li>●友だちや1年生と一緒に遊ぶ中で、思ったことや気づいたことを自分なりの言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりする楽しさを味わう。</li> </ul>	
	1年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>●風の動きを予想したり、確かめたり、見直したりしながら、風を粘り強く作ったり遊んだりする。</li> <li>●「一緒に風をあそぶ」というめあてをもち、幼稚園児の様子を気にかけてやり方を教えたり手伝ったりする。</li> <li>●作ったり遊んだりする中で、思ったことや気づいたことを友だちや幼稚園児に伝えたり、話を聞いたりする。</li> </ul>	
時間	幼稚園児への援助	子どもの姿	1年生への援助
9:15	はじめの会をする。(ドリームホール) 【担当:小学校】		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1年生と一緒に楽しく過ごすことを伝え、安心して活動に参加できるようにする。</li> <li>●靴や荷物を置く場所を伝える。(靴は靴箱下段、荷物はドリームホールのベンチ側に置く。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ステージに向かって並ぶ。</li> <li>◎元気に挨拶をする。</li> <li>◎今日の活動についての話を聞き、興味を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幼稚園児と一緒に楽しく過ごすことを伝え、安心して活動に参加できるようにする。</li> </ul>
9:20	風の作り方について話を聞く。(ワークスペース) 【担当:幼稚園】		
	<p>【風の作り方】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 絵を描いたビニールに、セロハンテープで竹ひごを2本つける。</li> <li>② 風の左右に、小さい竹ヒゴをつけ、セロハンテープで固定し、つまようじで穴を開ける。</li> <li>③ 左右の穴に風糸を通して結ぶ。</li> <li>④ 風につけた風糸の中央部分と、持ち手のついた風糸を結ぶ。(教師が手伝う)</li> </ol>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大きな見本を提示して説明することで、見通しが持てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎見本を見ながら説明を聞き、出来上がった風をイメージする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大きな見本を提示して説明することで、見通しが持てるようにする。</li> </ul>
9:30	グループごとに風作りをする。(1年教室、ワークスペース、学習室) 【担当:小学校・幼稚園】		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各テーブルに見本を置き、見たり触ったりしながら作ることが出来るようにする。</li> <li>●分からないことがあったら、見本を見ながら一緒に考えたり、友だちや小学生にたずねてみるように促す。</li> <li>●子どもの姿に応じ、どうしてもうまくいかないところは、手を添えたり一緒に作ったりする。</li> <li>●最後に風糸同士を結び付けるところは、教師が援助する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎8グループに分け、グループごとに風作りをする。</li> <li>◎見本を見ながら、自分なりに考えたり、友だち同士で「こうするといいいよ」と話したりしながら製作する。</li> <li>◎分からないことがあったら、教師や小学生にたずねる。(幼稚園児)</li> <li>◎困っている幼稚園児に声をかけ、アドバイスをしたり手伝ったりする。(1年生)</li> <li>◎最後に風糸同士を結び付けるところは教師に手伝ってもらい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各テーブルに見本を置き、見たり触ったりしながら作ることが出来るようにする。</li> <li>●分からないことがあったら、見本を見ながら一緒に考えたり、友だちにたずねてみるように促す。</li> <li>●幼稚園児に声をかける姿を褒めて認めるとともに、幼稚園児が困っていたら、教えてあげるよう促す。</li> <li>●最後に風糸同士を結び付けるところは、教師が援助する。</li> </ul>
10:10	休憩をする。(1年教室、ワークスペース、学習室) 【担当:幼稚園】		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ドリームホールで水分補給と休憩をとるように伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎トイレに行ったり、水分補給をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教室で水分補給と休憩をとるように伝える。</li> </ul>

ねらい  
・教育課程上のつながり  
・この活動で育てたい姿  
等も一緒に確認

10:20	風あげの仕方について話を聞く。(ワークスペース) 【担当:幼稚園】		
	<p>【風あげの仕方】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① お友だちと距離をあけ、ぶつからないように気を付ける。(風があれば、走らなくてもあがることを伝える。)</li> <li>② 風糸は右手と左手を使ってしっかり持ち、手を離さないようにする。(持ち方・引き方を確認する。)</li> <li>③ 風が地面に落ちた時は、風を引っ張らずに、自分が動いて風糸を巻くようにする。</li> </ol>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●見本を提示しながら説明することで、見通しが持てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎見本を見ながら説明を聞き、風あげの仕方を見ながらイメージする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●見本を提示しながら説明することで、見通しが持てるようにする。</li> </ul>
10:25	風あげをする。(校庭) 【担当:小学校・幼稚園】		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分たちで考えて遊ぶ姿を見守り、必要に応じて声をかけるようにする。</li> <li>●子どもの言葉に共感することで思いを認め、気持ちよさを味わえるようにする。</li> <li>●様子を見守り、うまくあがらない時や風糸が絡まった時は、必要に応じて個別に援助をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自分なりに工夫したり、友だち同士で気づいたことを伝え合ったりしながら、風あげを楽しむ。</li> <li>◎風がうまくあがったことを喜び、友だちや教師に知らせる。</li> <li>◎思いうように風があがらなかったり、糸が絡まったりして、友だちや教師に援助を求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分たちで考えて遊ぶ姿を見守り、必要に応じて声をかけるようにする。</li> <li>●すでに幼稚園児とかかわる姿を褒めて認め、気持ちよさを味わえるようにする。</li> <li>●様子を見守り、うまくあがらない時や風糸が絡まった時は、必要に応じて個別に援助をする。</li> </ul>
10:50	振り返りをする。(ドリームホール) 【担当:小学校】		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもの言葉に共感するとともに、うまく話せない時は教師が思いを代弁して伝えるようにする。</li> <li>●小学生の話方に意欲を向けるように促す。</li> <li>●楽しかった交流会の思い出を共有し、就学へ期待を持てるように促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎感想を話したい人は前に並び、楽しかったことや気づいたことなどを、みんなの前で話す。(1年生→幼稚園児)</li> <li>◎話している人の目を見て話を聞く。また、話が終わったら拍手をする。</li> <li>◎1年間の交流会で楽しかったことを伝え合う。</li> <li>◎ごよならをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもの言葉に共感するとともに、自分の思いを話す姿を褒めて認め、気持ちよさを味わえるようにする。</li> <li>●思ったこと、伝え合いでよかったことの2つの振り返りをするように伝える。</li> <li>●楽しかった交流会の思い出を共有し、進めることへの期待を持てるようにする。</li> </ul>
11:00			

### 「幼稚園児が用意する物」

- シューズ
- 運動帽子
- 名札
- 水筒
- 絵を描いた風 (両端に両面テープをつける)

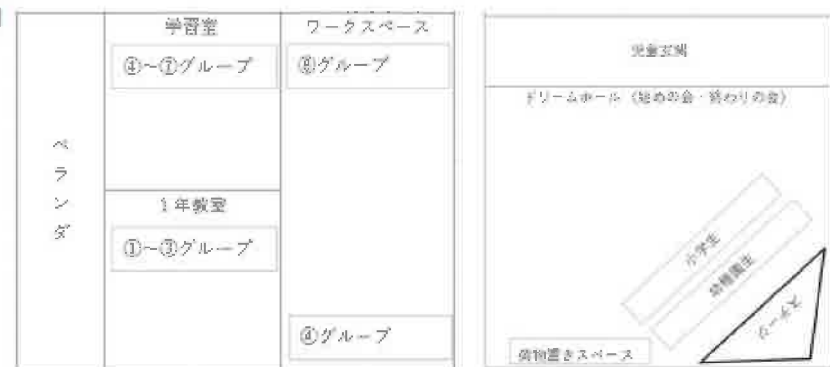
### 「小学生が用意する物」

- シューズ
- 運動帽子
- 名札
- 水筒
- 絵を描いた風 (両端に両面テープをつける)

### 「教師が用意する物」

- 風糸 (幼・小)
- 竹ひご (幼)
- つまようじ (幼)
- セロハンテープ (幼・小)
- 風の見本 (幼)
- 両面テープ (幼)

### 【環境設定】



事後の話し合いをもち、  
次の活動へつなげられるようにする

どんな子どもの姿が見られたか

子どもの姿から見取る①  
「育てたい姿は見られたか？」

写真や動画を  
手がかりに

活動名	「凧をつくってあそぼう！」		1月26日(木)
ねらい	共通	◎一緒に活動することに意欲を持ち、凧つくりや凧あげを楽しむ。	
	幼稚園児 1年生	◎交流する中で1年生に親しみをもち、一緒に活動することを楽しむ。 ◎交流する中で幼稚園児に親しみをもち、一緒に活動することを楽しむ。	
教育課程上のつながり	幼稚園児	【中期(1~3月)の内容】…日本の伝統文化に親しみ、生活の中に取り入れて遊ぶ …目的に向かって取り組む活動(1月):「凧作り」(お正月あそび)	
	1年生	【生活科】:『きせつと なかよし ふゆ』…『きたかぜと あそぼう』(1~2月)	
この活動で育てたい姿	幼稚園児	●自分なりに考えたり、友だちや1年生とやり方を教え合ったりしながら、凧作りと凧あげを楽しむ。 ●「凧あげをして遊ぶ」という共通の目的をもち、気づいたことを伝え合ったり、一緒に作ったりしながら、友だちや1年生とのかかわりを楽しむ。 ●友だちや1年生と一緒に遊ぶ中で、思ったことや気づいたことを自分なりの言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりする楽しさを味わう。	
	1年生	●風の動きを予想したり、確かめたり、見直したりしながら、凧を粘り強く作ったり遊んだりする。 ●「一緒に凧であそぶ」というめあてをもち、幼稚園児の様子を気にかけてながら作り方を教えたり手伝ったりする。 ●作ったり遊んだりする中で、思ったことや気づいたことを友だちや幼稚園児に伝えたり、話を聞いたりする。	

子どもの姿から見取る②  
「ねらいはどうだったか？」

改善点や今後どうするか

「凧をつくってあそぼう！」

事後の話し合い【振り返りと今後に向けて】

子どもの姿	子どもの姿から見取ったこと	「ねらい」について	今後に向けて	
園児	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎1年生の姿を見たり、友だち同士で作り方を話したりしながら、自分なりに何とかして作ろうとする姿が見られた。</li> <li>◎セロハンテープを交代で切ったり、貼る時に押さえてあげたりして、1年生や友だちと協力して作る姿が見られた。</li> <li>◎昨年と違って、見本を見ながら作るのではなく、友だちと話し合っ作って作る姿が多かった。</li> <li>◎凧の形を見て向きを考えたり、竹ひごやセロハンテープの数を数えて確認したりしながら作る姿が見られた。</li> <li>◎凧あげの時に、グラウンドは泥が跳ねるので、コンクリートのところでやってみるなど、自分たちなりに考えて遊んでいた。</li> <li>◎風が吹いてきたことを伝えるなど、1年生や園児同士で声をかけあって凧あげを楽しんでいた。</li> <li>◎約束を守って凧あげをしていたので、上手にあげている子どもが多かった。また、凧糸が絡まってしまう姿が昨年よりも少なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「先生ここ結べないので教えてください」と自分から頼んだり、自分で結ぼうとしたりする姿が見られた</li> <li>◎1年生に穴の開け場所を教える園児の姿を見て、「幼稚園生のほうがすごいね」と感心していた。</li> <li>◎「私の隣に座ってね」と同じ班に来た園児に声をかけて隣に座らせて、作業の途中途中に園児に目をやっていた。</li> <li>◎園児のそばに寄り添い、「ひごをもってあげようか」と声をかけて持ってあげていた。</li> <li>◎ひごをつけるときのテープの数が合っているかなど「1、2、3、4、5」と一緒に数えて確かめていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「先生ここ結べないので教えてください」と自分から頼んだり、自分で結ぼうとしたりする姿が見られた</li> <li>◎1年生に穴の開け場所を教える園児の姿を見て、「幼稚園生のほうがすごいね」と感心していた。</li> <li>◎「私の隣に座ってね」と同じ班に来た園児に声をかけて隣に座らせて、作業の途中途中に園児に目をやっていた。</li> <li>◎園児のそばに寄り添い、「ひごをもってあげようか」と声をかけて持ってあげていた。</li> <li>◎ひごをつけるときのテープの数が合っているかなど「1、2、3、4、5」と一緒に数えて確かめていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎各グループに置いている見本も、テープの位置が分かるように色を変えておくとい。(→来年度に向け修正済み)</li> <li>◎凧ひごの位置はかならずれていてもあがることのできだったので、子どもの主体性を大切にしておきたい。</li> </ul>
1年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆主として見られた「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」 …『自立心』『言葉による伝え合い』『思考力の芽生え』『社会生活とのかかわり』 『数量・図形、標識や文字などへの関心・感覚』</li> <li>◎【知識・技能の基礎】 …保育者の話をよく聞いたり、1年生や友だちの姿を見たりすることで、凧の作り方やあげ方が分かり、自分なりにやってみる姿が見られた</li> <li>◎【思考力・判断力・表現力の基礎】…自分で考えるだけでなく、1年生や友だちと話し合ったり、教え合ったりしながら楽しんでいた。</li> <li>◎【学びに向かう力・人間性等】…どの子も凧つくりや凧あげに興味をもち、意欲的に遊んでいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆幼児教育からつながる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」 …『自立心』『言葉による伝え合い』『社会生活とのかかわり』</li> <li>◎【知識・技能】…風が吹いてくると「いまだ!」と駆け出す子がいた。風と凧の関係に気付いていた。また、風が吹くと凧があがるのを見て、「なんにもしなくてもあがるんだよ」と話して楽しんでいた。</li> <li>◎【思考力・判断力・表現力】…困ったときには、「教えてください」と言いにきたり、園児の様子を見ながら作ってみたい粘り強く凧を作る姿が見られた。園児の様子を見ながら、手を貸すことができた。</li> <li>◎【学びに向かう力・人間性等】…最後に凧を飛ばすことを楽しみにして、最後まで凧を飛ばす姿が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎交流会も4回目になり、振り返りでは「小学生の〇〇くんが教えてくれてうれしかった!」と具体的に1年生の名前を出す姿が見られ、かかわりが深まってきたことが伺える。</li> <li>◎さよならをする時に小学生が「待ってるよ!」と言ってくれたことが嬉しくて、「はやく1年生になりたい!」と就学に期待をもつ姿が見られた。</li> <li>◎すぐそばにいる園児のことを気にかける子が多かった。全体の園児から個人の園児に目がいくようになり嬉しくなってきたことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎来年度も、年4回の交流(5月、6月、10~11月、1月)で行いたい。</li> <li>◎次年度の計画が他の方にも伝わるように教育課程に掲載できるようにしておく。</li> </ul>
園児	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎交流も4回目になり、振り返りでは「小学生の〇〇くんが教えてくれてうれしかった!」と具体的に1年生の名前を出す姿が見られ、かかわりが深まってきたことが伺える。</li> <li>◎さよならをする時に小学生が「待ってるよ!」と言ってくれたことが嬉しくて、「はやく1年生になりたい!」と就学に期待をもつ姿が見られた。</li> <li>◎すぐそばにいる園児のことを気にかける子が多かった。全体の園児から個人の園児に目がいくようになり嬉しくなってきたことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎交流も4回目になり、振り返りでは「小学生の〇〇くんが教えてくれてうれしかった!」と具体的に1年生の名前を出す姿が見られ、かかわりが深まってきたことが伺える。</li> <li>◎さよならをする時に小学生が「待ってるよ!」と言ってくれたことが嬉しくて、「はやく1年生になりたい!」と就学に期待をもつ姿が見られた。</li> <li>◎すぐそばにいる園児のことを気にかける子が多かった。全体の園児から個人の園児に目がいくようになり嬉しくなってきたことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎交流も4回目になり、振り返りでは「小学生の〇〇くんが教えてくれてうれしかった!」と具体的に1年生の名前を出す姿が見られ、かかわりが深まってきたことが伺える。</li> <li>◎さよならをする時に小学生が「待ってるよ!」と言ってくれたことが嬉しくて、「はやく1年生になりたい!」と就学に期待をもつ姿が見られた。</li> <li>◎すぐそばにいる園児のことを気にかける子が多かった。全体の園児から個人の園児に目がいくようになり嬉しくなってきたことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎来年度も、年4回の交流(5月、6月、10~11月、1月)で行いたい。</li> <li>◎次年度の計画が他の方にも伝わるように教育課程に掲載できるようにしておく。</li> </ul>
1年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎交流も4回目になり、振り返りでは「小学生の〇〇くんが教えてくれてうれしかった!」と具体的に1年生の名前を出す姿が見られ、かかわりが深まってきたことが伺える。</li> <li>◎さよならをする時に小学生が「待ってるよ!」と言ってくれたことが嬉しくて、「はやく1年生になりたい!」と就学に期待をもつ姿が見られた。</li> <li>◎すぐそばにいる園児のことを気にかける子が多かった。全体の園児から個人の園児に目がいくようになり嬉しくなってきたことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎交流も4回目になり、振り返りでは「小学生の〇〇くんが教えてくれてうれしかった!」と具体的に1年生の名前を出す姿が見られ、かかわりが深まってきたことが伺える。</li> <li>◎さよならをする時に小学生が「待ってるよ!」と言ってくれたことが嬉しくて、「はやく1年生になりたい!」と就学に期待をもつ姿が見られた。</li> <li>◎すぐそばにいる園児のことを気にかける子が多かった。全体の園児から個人の園児に目がいくようになり嬉しくなってきたことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎交流も4回目になり、振り返りでは「小学生の〇〇くんが教えてくれてうれしかった!」と具体的に1年生の名前を出す姿が見られ、かかわりが深まってきたことが伺える。</li> <li>◎さよならをする時に小学生が「待ってるよ!」と言ってくれたことが嬉しくて、「はやく1年生になりたい!」と就学に期待をもつ姿が見られた。</li> <li>◎すぐそばにいる園児のことを気にかける子が多かった。全体の園児から個人の園児に目がいくようになり嬉しくなってきたことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎来年度も、年4回の交流(5月、6月、10~11月、1月)で行いたい。</li> <li>◎次年度の計画が他の方にも伝わるように教育課程に掲載できるようにしておく。</li> </ul>
園児	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎交流も4回目になり、振り返りでは「小学生の〇〇くんが教えてくれてうれしかった!」と具体的に1年生の名前を出す姿が見られ、かかわりが深まってきたことが伺える。</li> <li>◎さよならをする時に小学生が「待ってるよ!」と言ってくれたことが嬉しくて、「はやく1年生になりたい!」と就学に期待をもつ姿が見られた。</li> <li>◎すぐそばにいる園児のことを気にかける子が多かった。全体の園児から個人の園児に目がいくようになり嬉しくなってきたことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎交流も4回目になり、振り返りでは「小学生の〇〇くんが教えてくれてうれしかった!」と具体的に1年生の名前を出す姿が見られ、かかわりが深まってきたことが伺える。</li> <li>◎さよならをする時に小学生が「待ってるよ!」と言ってくれたことが嬉しくて、「はやく1年生になりたい!」と就学に期待をもつ姿が見られた。</li> <li>◎すぐそばにいる園児のことを気にかける子が多かった。全体の園児から個人の園児に目がいくようになり嬉しくなってきたことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎交流も4回目になり、振り返りでは「小学生の〇〇くんが教えてくれてうれしかった!」と具体的に1年生の名前を出す姿が見られ、かかわりが深まってきたことが伺える。</li> <li>◎さよならをする時に小学生が「待ってるよ!」と言ってくれたことが嬉しくて、「はやく1年生になりたい!」と就学に期待をもつ姿が見られた。</li> <li>◎すぐそばにいる園児のことを気にかける子が多かった。全体の園児から個人の園児に目がいくようになり嬉しくなってきたことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎来年度も、年4回の交流(5月、6月、10~11月、1月)で行いたい。</li> <li>◎次年度の計画が他の方にも伝わるように教育課程に掲載できるようにしておく。</li> </ul>
1年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎交流も4回目になり、振り返りでは「小学生の〇〇くんが教えてくれてうれしかった!」と具体的に1年生の名前を出す姿が見られ、かかわりが深まってきたことが伺える。</li> <li>◎さよならをする時に小学生が「待ってるよ!」と言ってくれたことが嬉しくて、「はやく1年生になりたい!」と就学に期待をもつ姿が見られた。</li> <li>◎すぐそばにいる園児のことを気にかける子が多かった。全体の園児から個人の園児に目がいくようになり嬉しくなってきたことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎交流も4回目になり、振り返りでは「小学生の〇〇くんが教えてくれてうれしかった!」と具体的に1年生の名前を出す姿が見られ、かかわりが深まってきたことが伺える。</li> <li>◎さよならをする時に小学生が「待ってるよ!」と言ってくれたことが嬉しくて、「はやく1年生になりたい!」と就学に期待をもつ姿が見られた。</li> <li>◎すぐそばにいる園児のことを気にかける子が多かった。全体の園児から個人の園児に目がいくようになり嬉しくなってきたことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎交流も4回目になり、振り返りでは「小学生の〇〇くんが教えてくれてうれしかった!」と具体的に1年生の名前を出す姿が見られ、かかわりが深まってきたことが伺える。</li> <li>◎さよならをする時に小学生が「待ってるよ!」と言ってくれたことが嬉しくて、「はやく1年生になりたい!」と就学に期待をもつ姿が見られた。</li> <li>◎すぐそばにいる園児のことを気にかける子が多かった。全体の園児から個人の園児に目がいくようになり嬉しくなってきたことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎来年度も、年4回の交流(5月、6月、10~11月、1月)で行いたい。</li> <li>◎次年度の計画が他の方にも伝わるように教育課程に掲載できるようにしておく。</li> </ul>



「1年生やさしかったね。」  
「僕も棒のところは、自分でできたよ。」



「ほら、見て!見て!あがったよ!」



一緒にやってみよう



返します。そして、子ども同士で教え合う姿を認めたり、見守ったりしています。子どもだけではどうしても難しいときは、傍に行って手伝います。

一年生のA児は、自分の凧は竹ひごの一本をテープで付け、もう一本はビニールの上に置いたままにしながら、テープを貼るのに手間取っている隣の園児Bを見ています。そして、「どっちからする?」と声をかけ、そっと手を添えます。竹ひごの付け方がわかったB児は、自分でテープを貼り終えると、貼ったところを指で押さえながら、「1、2、3、4、5」と数え、5箇所貼ったことを確かめると、うなずきました。続けて、自分で縦にテープを貼る次の作業を終えました。でも、その後のつまようじでビニールの左右に穴をあけ、そこに凧糸を通す作業になると、なかなかできません。それをじっと見ていたA児は、「穴を通すの難しいね」と、一緒に始めました。B児も手でビニールを押さえています。その後、やっと2か所に穴をあけ、そこに糸が通り、共同作業が終わりました。笑顔で「やっとなんか」とつぶやくと、A児は自分の凧作りに戻りました。

全員の凧ができ上がると、外での凧あげが始まりました。前日に降った雪の影響で、地面は緩んでいましたが、子どもたちは、自分で作った凧を手に、「ほら、見て!見て!あがったよ!」「こんな高くあがったよ!」と言いながら、校庭を走り回りました。

終わりの会では、一年生も園児も話したい数人の子どもが前に出て、感想を発表しました。その後、それぞれ、教室と園に戻って、振り返りをしました。

一年生の振り返りの場では、「凧の棒を支えた」「糸を通すのを手伝った」「幼稚園生が困っているところに気付いて教えた」「僕のを後にして教えた」「幼稚園生が近くて凧をあげていたから、絡まらないように違うところでしたよ」などと感想が出されました。

園での振り返りの場では、「凧があがって楽しかった」「走ったら、凧があがった!」と、凧あげについての感想がたくさん出されました。保育者は、「凧あげが楽しかったんだね。じゃあ、作る時はどうだった?」と問いかけます。「一年生に教えてもらってうれしかった」「ひものところが難しかったから、手伝ってもらった」など、子どもたちは口々に言いました。「一年生ってやさしいね。」という保育者に、「うん!やさしかったです!」と応えます。「穴をあけるのが一年生は上手だった」「そうそう、一年生は上手だった」と他の子どもたちも話します。「本当に一年生は上手だったね」と言う保育者に、「でも、棒のところは自分でできたよ」「一年生のを手伝ったよ」と数人の子どもが話します。保育者も、「そうだね。みんなも先生のお話をよく聞いて上手に作っていたよね」と認めます。その後、「また、凧あげしたいね」とみんなで話し、翌日から凧あげを楽しむ姿が見られました。

この日での今年の交流会(全3回)は終わりです。来年は、今日のことを思い出して、今度は一年生になった子どもたちが、園児に寄り添う姿が目に見えます。

\* は、「自立心」につながる一年生の姿  
\* は、「社会生活とのかかわり」につながる一年生の姿

### 社会生活との関わり

一年生や他の園児と触れ合う中で、共に活動する楽しさを味わっている。また、次の人が使いやすいようにテープの切り口の向きを変えて渡す、そっと手を添える、「穴を通すの難しいね」と言葉をかけるなど、相手の気持ちを考えて関わる一年生の行動から、そのよさに気づき、うれしさや親しみを感じるとともに、自分もこうなりたいという憧れの気持ちをもっていると思われる。

このような体験が、相手の状況や気持ちを考えながらいろいろな人と関わることを楽しむ姿につながっていくと考える。

### 自立心・社会生活とのかかわり

#### 保育者や教師の援助・環境構成のポイント

- ・互いのねらいや留意点等を共有したり、今後や来年度の見通しをもったりできるように、幼小の教職員同士で、事前・事後の話し合いをもつ(別添『南部幼稚園・南部小学校交流活動計画』参照)
- ・安全に作業ができるように十分な広さのあるスペースを確保
- ・凧を作成する見通しがもてるように、見本を提示し、作成の手順を確認できるようにする
- ・子どもたちの目的が実現できるように、また、子ども同士で考え合ったり、教え合ったりできるように、保育者や教師は、見守る、様子を見ながら言葉をかける、手伝うなどする
- ・思いや気付きが共有できるように、幼小それぞれでも、振り返りの場を設ける

\*本シートは、竹田市立南部幼稚園(市町村幼児教育アドバイザー在籍)と同南部小学校の交流活動及びその事



# 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿とは？」

2023. 3. 20 大分県教育委員会



「どっちからする？」



話をよく聞いて、自分で作るぞ！

## CASE 41

5歳児・1年生

### 「凧をつくってあそぼう！」

(幼小交流活動)

協力園・校

竹田市立南部幼稚園・  
竹田市立南部小学校

(これまでの経緯)

12月。幼稚園では、『お正月』の歌をうたったり、『10ぴきのかえるのおしやうがつ』の絵本の読み聞かせをしたりする中で、「凧あげをしたいな」という思いが出され、「3学期になったら凧を作って凧あげしようね」と話していました。一方、1年生も生活科の「きせつと なかよし ふゆ」(「きたかぜとあそぼう」)で凧あげをしたいと話合っていました。園で凧を作った経験のある子どもたちも多く、自分たちで凧を作ってあげることになりました。「幼稚園生も凧を作るんだって」と聞いた1年生は、「教えてあげたいな」「一緒に作りたいな」という思いをもち、園児と1年生で一緒に凧を作つて、あげることになりました。どちらも、交流会の日までに、凧の材料のビニールの色を選び、そこに、自分の好きな絵を描いて準備をしています。

1月。交流会の日。小学校のホールでははじめの会が終わると、1年生教室前のワークスペースに移動しました。子どもたちの前には、凧の形をした大きなビニールが見本としてボードに貼られています。竹ひごを手にした保育者(以下幼稚園教員を保育者、小学校教員を教師と記載)から、凧の作り方について、説明が始まりました。子どもたちは、保育者と見本を見ながら、よく話を聞いています。保育者は、竹ひごの付け方を説明しながら、「ここは、友だちが手伝うといいかもね」と言葉を付け加えます。また、セロハンテープを貼る場面では、「何個付いている？」と問いかけ、子どもたちも一緒に「1！2！3個！」と数えます。「まだまだグラグラするから、あと2個付けます」と保育者。続けて「全部で何個？」と聞くと、子どもたちから、「5個！」と答えが返ってきました。「今度はテープを…」と言いかけると、数人の1年生が、「縦に付ける」「前にしたことある」と、声を上げました。保育者は、「よく覚えてるね。そう、縦に付けます」と説明を続けます。ひもの付け方を説明する場面でも、「穴をあける」「つまようじのことがった方であける」「糸を通す」と1年生が発言し、「わかる人は教えてあげてね。見本も置いてあるからね」と、保育者は皆に呼びかけました。

説明が終わると、子どもたちは、それぞれのグループの場所に移動しました。1年生は、「教え合うために、グループにした方がいい」「1年生だけで固まらず、幼稚園生の間に入った方が教えやすい」などと、事前に話し合っており、園児と1年生が交互にすわり、円になって凧作りが始まりました。

作っている途中で、「テープ回してよ」という声がありました。それを聞いた1年生は、順番を待つ次の人にテープの切り口を向けて回します。続けて、園児が切り、同様に切り口を次の人に向けました。「1、2、3、4、あと一個」と数えながら、テープを5つ、まとめて切っている子どももいます。

「できない。どうしたらいい？」「先生、手伝って！」と言う声がかかると、様子を見ながら、教師や保育者は、「見本を見てごらん。」「お友達に聞いてごらん。」「一度は

### 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿「10の姿」

数量・図形への関心・感覚

協同性

言葉による伝え合い

自立心

社会生活との関わり

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならぬことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

### 事例から見られる10の育ち

保育者や教師の話、自分の知っていることを伝えようとする1年生の発言をよく聞き、できることは自分の力で、凧を作り上げようとしている。また、難しいときには、自分から、「どうしたらいい？」「手伝って」と伝え、1年生や友達の力を借りたり励まされたりしながら、難しいことでも自分の力でやってみようとしていく。そして、自分で作り上げた凧があがったことうれしさと満足感を感じている。このような体験が、小学校以降の自分でできることは自分でしようとする積極的な取組んだり、わからないことや難しいことは、教師や友達に聞きながら粘り強く取り組んだりする姿につながっていくと思われる。

### 事例から見られる0の育ち

後の話し合いに、県幼児教育スーパーバイザーが参加し、作成したものです。

## 8. 家庭・地域との連携

## 幼小「学びの

(～竹田市立南部幼稚園)

幼児教育では、遊びを通して小学校以降につながる3つの資質・能力(「知識及び技能の基礎」・「思考力、判断力、表現力」・「主体的に学び、自ら表現し、創造的に活動する力」)を育ってほしい姿(「10の姿」)…①健康な心と体／②自立心／③協同性／④道徳性・規範意識の芽生えの関心・感覚／⑤言葉による伝え合い／⑥豊かな感性と表現)が見られるようになります。南部幼稚園では、次のよう

### ①「健康な心と体」



#### 「忍者ごっこ」(5月)

友だちと一緒に固定遊具などに挑戦する中で、自分なりに遊び方を考えたり友だちの姿に刺激を受けたりし、遊具の使い方に注意しながら身体を動かすことを楽しみます。

#### 《小学校では…》

見通しや自分なりのめあてをもって生活や学習をする力につながります。

### ②「自立心」



#### 「チャレンジあそび」(一年中)

友だち同士でコツを教え合いながら、ホッピングやフラフープ、なわとび、こま回しなどにくり返し挑戦します。上達して自信をつけ、自分たちで新しい遊び方も考えて楽しみます。

#### 《小学校では…》

自信をもって活動し、学習に粘り強く取り組む力につながります。

### ③「協同性」



#### 「カエルこ

クラスみんなでカエルイメージや願いを共有し、工夫したり協力(令和5年度はカエル屋さんごっこにまで発展)

#### 《小学校

学級での集団活動的に向かって友だちの姿につな

### ⑥「思考力の芽生え」



#### 「シャボン玉あそび」(6月)

自分なりに考えたり、予測したり、工夫したり、友だちの考えを取り入れたりしながらシャボン玉液作りやシャボン玉あそび用の道具作りを行い、くり返し試して楽しみます。

#### 《小学校では…》

探求心をもって考えたり試したりすることで、主体的に問題を解決しようとする態度につながります。

### ⑦「自然との関わり・生命尊重」



#### 「朝顔の栽培」(5月～7月)

5月に種をまきます。毎日水やりをする中で、気づいたことを友だちと伝え合い共感しながら朝顔の生長を楽しみます。7月になると、きれいな花が咲き、しぼんだ花を使って色水遊びも楽しめます。

#### 《小学校では…》

自然物への理解や知識が確かなものになり、命を大切にしようとする態度につながります。

### ⑧「数量や図形、構造的な関心」



#### 「お正月あそ

友だちと考えを出し合いカルタを作って遊ぶこみみます。そして、楽しく必要性に気づき、興味

#### 《小学校

学習に関心をもった伴った理解や、学んだ中で活用する態度

# 「つながり」シート

令和5年度の子どもの姿より～)

令和6年5月発行

\*毎年発行、保護者会で配付、小学校や地域の幼児教育施設と共有

「現力等の基礎」・「学びに向かう力、人間性等」)を育むことが求められています。この資質・能力が育まれると、「幼児  
⑤社会生活との関わり／⑥思考力の芽生え／⑦自然との関わり・生命尊重／⑧数量や図形、標識や文字などへ  
な教育活動を展開し、遊びを通した学びを小学校での生活や学習へとつなげています。

## ④「社会生活との関わり」



### 「ごっこ」(6月)

いになりきって遊ぶ中で  
互いに考えを出し  
たりして楽しみます。  
のお家づくりからお店  
発展していきました。)

#### 「小学校では…」

活動の中で、共通の目  
ちと協力し学び合  
ります。

## ④「道徳性・規範意識の芽生え」



### 「運動会ごっこ」(9月～10月)

幼小合同運動会の経験をもとに、クラスみんな  
で相談してやりたい競技を決めます。友だちと  
協力して遊びをすすめる中で、きまりの必要性  
に気づき、自分たちでルールを作り、守りなが  
らゲーム遊びを楽しみます。

#### 「小学校では…」

相手の事も考えて自分の気持ちや  
行動を調整し、学校生活を楽しく  
過ごすことにつながります。

## ⑤「社会生活との関わり」



### 「秋のお店屋さんごっこ」(11月)

クラスみんなでやりたいお店を相談し、秋の  
自然物を使って商品や看板など必要なもの  
を作ります。そして、本物のお店屋さんの様子  
を自分たちなりに再現しながら、お店屋さん  
とお客さんになって、やりとりを楽しみます。

#### 「小学校では…」

自分が関心を持った情報を積極的  
に取り入れ、学びを深めることにつ  
ながります。

## ⑧「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」



### 「ごっこ」(1月～2月)

い、一緒にすごろくや  
とで、文字や数字に親し  
遊ぶ中で、文字や数字の  
を持つようになります。

#### 「小学校では…」

って取り組み、実感を  
だことを日常生活の  
裏につながります。

## ⑨「言葉による伝え合い」



### 「振り返り」(毎日)

遊びの中で楽しかったことや困ったことを自分  
なりの言葉で伝え合い、クラスみんなで思いを共  
有することで、新しい内容を取り入れたたり、きま  
りを作ったりして、遊びをより発展させて楽しむ  
(あそび込む)ことが出来るようにしています。

#### 「小学校では…」

友だちと互いの考えを伝え合い、  
受け止めたり認め合ったりしながら  
学びを深めることにつながります。

## ⑩「豊かな感性と表現」



### 「表現あそび」(11月～12月)

劇のセリフや動き、リズムの隊形やポーズなど、  
自分たちで考えを出し合い、友だちと一緒に創  
りあげていくことを楽しみます。12月の発表会  
では、表現あそびをお家の人にも観てもらい、  
さらに達成感を味わいます。

#### 「小学校では…」

音楽や造形、身体を使った学習など、  
感性を働かせ、表現することを楽しむ  
活動につながります。

おわりに

園や小学校の代表、行政関係者、大学教授、保護者などが集まり、架け橋期のカリキュラム開発会議を通じて取組を検証した結果、それぞれの意見から幼保小接続の課題や解決策が見出された。これらの意見は、今後の取組の方向性を示す光である。引き続き立場を越えて共に研究を進めていく。

## カリキュラム開発会議委員～3年間の取組を振り返って～

当初事業説明を受けた時は、まったく理解ができず、保護者には関係のない話ではないのかと思っていたが、会議に参加していくことで事業の趣旨や目的、子どもたちの目指す姿が理解でき、先生方だけでなく、保護者の理解・協力も必要だと感じました。

このカリキュラムがスタンダードになるまでは、先生方、特に一年生の担任の先生の負担は多くなるのではと感じます。幼保の学び、それを踏まえての小学校での教育。今後も幼保小の交流、先生方も含めて継続し、子どもたちに係る全ての人達が協力していければと思います。（保護者）

幼保小架け橋プログラムに参加して幼児・児童に対する意識が変わりました。入学時の児童の発言や行動を「こうしなければ」という教師側の指導ではなく「どうしたい?」と児童主体に考えられるようになりました。カリキュラムを作成する中で、幼児期の育ちを生かす難しさ、そして大切さを感じました。またこれからも、校種を跨ぐ取組のため、市教委の支援も欠かせないと思います。今後も、この取組が幼保小中一貫と言われるような竹田市の教育の礎になる事を期待しています。（小学校）

幼児教育保育施設で子どもを預かった時から連携は始まっている。基本的な生活習慣から始まり。様々な体験をすることが、それ以降の学びに向かう力の土台に繋がっていく。一人ひとりの子どもに目を向けて寄り添い、支えていくことを考えていきながら、架け橋期の子どもたちの姿について幼保小の立場を超えて話し合うことが何より大切だと思う。3年間のモデル地域としての取組は終わるが、合同研修会などは引き続き開催して、みんなで学ぶ機会を作ってほしい。卒園児の小学校での様子なども聞いて、自園の保育や教育についてもふりかえりたい（幼児教育施設）

1年目はカリキュラムを作成する事が、目的と考える発言が見されたが、年度を重ね、子どもの学びを円滑に接続する事が、目的であるという事が浸透してきていると感じる。それを支えたのが、合同研修会だった。担当者だけでなく、多くの職員の参加を促したのが、効果的だったのではないだろうか。2年目からは、各校区で合同研修会が企画・運営されはじめ、持続的な取組への布石となっており、これをより自律的なものへとすることが大事だと考える。（小学校）

保育所勤務三十年以上の経験の中、小学校第一学年の担任の先生が、一年生の行動は予想を超えることが多く、捉え難いと思っていたことに驚いたことがあります。

就学前の子どもたちは、自分の始末ができ、排泄、会話等、お手伝いも上手です。一説によると3歳で80%人間形成ができるとも聞いています。就学前の子どもを知ってもらうために、幼保小の架け橋プログラムで連携を進め、もっともっと、子どものチカラをいろいろな分野から引き出していけるように活動していたらと思います。（幼児教育施設）

本プログラムを通し、十人の年長児を対象に運動や学習の基礎となるバランス能力の変化に有意差が見られる成果を得た。しかし、課題として、数名の児童に対しては効果の低さが見られたため、全ての児童に有効とは言いがたい結果となった。しかしながら、幼保小時代に医学的な知見に基づき運動を行うことは、子ども達に良い変化を与えることが実感できた。（医療関係者）

3年間を振り返って、質の高い専門的支援ができたか不安ですが、私にとっては良い経験であり、子どもたちの成長に携わることができ、嬉しく思います。一言でいうと、「楽しかった」です。この活動は、専門家が幼保小に入るだけでは前に進みません。先生方の協力があってこそ、子どもたちの成長につながる活動だと思います。3年前から比較すると、先生方が専門的な視点で子どもの話をする事が増え、子どもたちの成長だけでなく、先生方の吸収力の高さにも驚きました。ご協力にとっても感謝しています。今後も継続して、このような活動ができたらと思うと同時に、必要性も感じています。（作業療法士）

この3年間の事業がどれだけ竹田市の教育保育施設に浸透し、継続していけるかが課題になると思います。幼保小でカリキュラムを作成し、それぞれの地区で交流会や連絡会を進めていき、振り返りや意見交換を充実させていくことが架け橋の第一歩になると思います。まだまだ幼保小の連携について理解や知識が浅いので、協議会でも研修や公開保育を実施し、子どもの学びや育ちについて勉強できる機会を設けていきたいです。（幼児教育施設）

国のモデル地域として令和4年度から始まった「架け橋期のカリキュラム」の開発は、南部幼稚園と南部小学校をモデル校園に設定したことが大きなポイントだったと思います。この南部幼小のモデルカリキュラムが先行事例となり、竹田市のみならず、大分県全体の「架け橋期のカリキュラム」の充実につながっています。とても感謝しています。これからも、架け橋期の教育の充実に向けて、継続・進化させていくことを願っています。（県幼児教育センター）

自治体が掲げる目指す子ども像を「幼児教育施設」と「小学校」が共有し、その実現に向けて架け橋期カリキュラムを作成することで、個々の学校園に留まらず、竹田市全体での取組として進めることができたと思います。今後は、モデル校園の実践を踏まえて作成された架け橋期カリキュラムを踏まえ、すべての校園でカリキュラムの作成・実施がなされることを期待します。そして、今回の事業をきっかけに、竹田市で架け橋期カリキュラムの作成、実施、改善のサイクルが「文化」として根付くことを願っています。（大学教授）

幼児期から小学校までの育ちや学びを連続性という視点から捉え直し、カリキュラムを作り上げたことが大きな成果と考えています。また、架け橋期に育てたい資質や能力を共有することで、保育活動や学校での学習活動のめざす方向性がより明確になったのではないかと思います。

本研究を通して小学校教職員の意識にも変容が見られ、幼児教育施設での遊びを通じた学びを意識した指導が見られるようになりました。今後は、この取組が持続的に取り組まれるようにその体制づくりをしていきたいと考えています。（小学校）

これまで、竹田市の架け橋期のコーディネーターとして、モデル校園である南部幼小の皆さんと一緒に試行錯誤しながら「架け橋期のカリキュラム」作成に取り組んできました。作って終わりではなく、このカリキュラムを真ん中に置いて、園と小学校が協働して子どもたちの学びをつないでいくことが大切です。「しんけん遊ぶ子」から「しんけん学ぶ子」へ、「つなぐ・つながる」を合言葉に、持続可能な取組となることを願っています。（県幼児教育センター・架け橋期のコーディネーター）

幼保小架け橋プログラムの開発は、幼稚園・保育所等から小学校への円滑な接続を図るために、園と小学校が各々の役割を理解し連携してこどもの育成に関わるための、大切な道しるべになるものです。

全てのお子さんにとって成長の一助となるよう、今後も継続して見直しを図っていく取組が必要と考えます。これまで教育・保育関係者の多くがその必要性を漠然と感じながらも役割の違いから実現できなかった切れ目ない支援が、架け橋カリキュラムを機に大きく前進していくことを期待します。（市こども家庭センター）

2年間しているとわかってくるもんだな。そういう趣旨でそういう取組をしているんだ。保護者も理解できるんだなと思いました。しかし、そこまで来るのに、すごく時間が掛かります。課題としては、今後も子どもを取り巻く様々な家庭環境を考えながら保護者にきちんと伝えていく努力をすることだと思っています。保護者にとってわかりやすい取組にする必要があります。（保護者）

## 竹田市架け橋期のカリキュラム開発会議 委員名簿 (R4~R6)

志賀 哲哉	竹田市教育長
加藤 陽一 吉岡 次郎	南部小学校 校長
麻生 良太	大分大学教育学部 教授
小林 里絵 真田 貴弘	大分県教育庁幼児教育センター 課長補佐
武津 智美	大分県教育庁幼児教育センター スーパーバイザー 架け橋期のコーディネーター
阿部 優樹	保護者 (しらゆり幼・南部小)
古澤 尊士	保護者 (竹田幼・竹田小)
森 ひろみ 甲斐 美紀	荻げんきこども園 園長 なおいりこども園 園長
工藤 智子 伊井 雪江	都野保育所 所長 竹田保育所 所長
吉岡 洋子	しらゆり幼稚園 園長
猪股 良継	都野小学校 校長 (前南部小学校教頭 元指導主事)
釘宮 公美	南部小学校 教諭
吉野由希子	南部幼稚園 主幹教諭
兒玉 敬祐	どんぐりの杜クリニック 作業療法士 ビジョントレーナー
永井 知佳	府内大橋こどもクリニック 作業療法士
後藤いずみ	竹田市社会福祉課長
渡邊 早苗 渡邊 幸美	竹田市教育委員会 学校教育課長
森 淳史 小川 南	竹田市社会福祉課 係長 竹田市社会福祉課 主査
田辺 秀樹	竹田市教育委員会 学校教育課 指導主事

本資料及びその他の資料については、大分県教育庁幼児教育センターのHPに掲載されています。そちらもぜひご参照ください。



令和4年度～令和6年度  
文部科学省委託  
幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業に係る  
竹田市「幼保小の円滑な接続」推進プログラム  
(幼保小の架け橋プログラム)